

平成30年度 社会福祉法人えどがわ評議員会・理事会

| 実施日 | 議案 | 場所 | 出席人数 |
|--------------------------------|--|--------------------------|------|
| 平成30年 6月6日(水) 第86回理事会 | ①平成29年度事業報告について ②平成29年度決算報告について ③平成31年度民営化予定園の園名について ④住宅借上げ事業実施要領の改正(案)について ⑤定時評議員会の招集について | 社会福祉法人 えどがわ 事務局会議室 | 10名 |
| 平成30年 6月28日(木) 第74回評議員会 | ①平成29年度事業報告について ②平成29年度決算報告について ③平成31年度民営化予定園の園名について ④住宅借上げ事業実施要領の改正(案)について | グリーンパレス 高砂・羽衣 | 13名 |
| 平成30年 9月19日(水) 第75回評議員会 | ①平成30年度事業報告(中間報告)について ②平成30年度補正予算(案)について ③規程等の改正(案)について ④平成32年度民営化予定園について | グリーンパレス 高砂・羽衣 | 12名 |
| 平成30年 9月19日(水) 第87回理事会 | ①平成30年度事業報告(中間報告)について ②平成30年度補正予算(案)について ③規程等の改正(案)について ④平成32年度民営化予定園について | グリーンパレス 高砂・羽衣 | 10名 |
| 平成30年 12月13日(木) 第76回評議員会 | ①平成31年度事業計画(案)について ②給食調理業務委託者の選定について | グリーンパレス 孔雀1 | 10名 |
| 平成30年 12月13日(木) 第88回理事会 | ①平成31年度事業計画(案)について ②給食調理業務委託者の選定について | グリーンパレス 孔雀1 | 10名 |
| 平成31年 3月18日(月) 第77回評議員会 | ①平成30年度補正予算(案)について ②平成31年度当初予算(案)について ③園長級異動及び昇任(案)について ④規程の改正(案)について | グリーンパレス 千歳・芙蓉 | 11名 |
| 平成31年 3月18日(月) 第89回理事会 | ①平成30年度補正予算(案)について ②平成31年度当初予算(案)について ③園長級異動及び昇任(案)について ④規程の改正(案)について | グリーンパレス 千歳・芙蓉 | 9名 |

○保育指針改定を踏まえた法人理念の見直し

- ・新保育指針に沿った表現に改定
- ・保育の質の向上と「おひさま保育園」らしい保育の探求 ※研修の充実

○職員健康管理の充実

- ・生活習慣病健診実施機関の一本化（経年記録） ※対象35歳以上の職員
- ・保健師の巡回指導(健診結果の指導及び健康管理・衛生管理等の研修)
- ・ストレスチェックの実施とその後の対応 ※高ストレス割合 12.3%(73名)

○子育てと仕事の両立支援

- ・固定勤務の制度化(勤務時間を原則として午前9時から午後6時に固定化)
- ・短時間勤務の期間延長(法定では子が満3歳に到達するまで)
平成30年度より子が3歳になった年度末まで延長
平成31年度より就学前の子に延長

○ICT化の本格稼働

- ・Surface376台 PC81台 計457台 ※実質一人一台体制を実現
- ・e-Govに向けた取組(社会保険・雇用保険・労働保険のオンライン申請)
- ・各システム間の連携強化(勤怠・人事給与・会計・グループウェア・園児管理・給食)

○交流研修の実施

- ・副主任級職員による他園との交流研修
- ・見込まれる効果：保育の質の向上、おひさま保育園の標準化

○部会の再編と副園長の参画

- ・副園長級が参画し、7部会から13部会に拡大 ※平成31年度は10部会に統合
- ・社会的な課題と法人の課題に対応
重要課題：発達障害、児童虐待、おひさま保育園標準化、保育の質の向上など

○会計監査人の導入

- ・決算監査と各園巡回指導検査(年2回) ※現金管理及び固定資産管理

○住宅借上げ制度の見直し

- ・月額補助を75千円から82千円に拡大し、補助金のロスを削減
- ・30年度実績：利用者154名 事業費155,041千円(うち補助金122,784千円)

○使用済みオムツの園内処理

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 20 人 | 24 人 | 35 人 | 35 人 | 35 人 | 149 人 |
| 運用定員 | 20 人 | 24 人 | 35 人 | 32 人 | 35 人 | 146 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 3 人 | 0 人 | 3 人 |
| 男女児 | 10 人 10 人 | 16 人 8 人 | 18 人 17 人 | 22 人 10 人 | 21 人 14 人 | 87 人 59 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な生活を保障する。 心身の発達を促しながら、意欲的に生活する。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育室の環境を見直し、子ども達がじっくりと遊びこめる遊具を提供。落ち着いて遊べるようになった。 日々の保育で子どもが様々な事に興味を持ち、意欲的に活動出来るよう配慮することが出来た。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 感性を大切に、伸びやかに表現しようとする。 身近な人と関わりを深め合いながら一緒に活動する楽しさを味わう | <ul style="list-style-type: none"> 和太鼓、リトミック、英語を通し、色々な表現活動をそれぞれを楽しみ、意欲を持って取り組んでいた。 様々な人と関わりを持つ事で、気づき、発見、挑戦したり、頑張ろうとする姿がみられた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズに沿って支援する機能を高めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭の状況に寄り添い情報を全職員で共有。保護者とのコミュニケーションを大切に対応。必要に応じ、個別の面談を設け、丁寧な向きあいで不安を解消した。 子育てひろばは、利用者数が少なく、内容等を考え工夫。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|------|----------|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 94 名 | 伝染性紅斑 | 22 名 | 溶連菌・手足口病 | 17 名 |
|-----|---------|------|-------|------|----------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 11 名 | 内単品 | 6 名 | 内複合 | 5 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 9 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | | |
|-----|------|----|------|-------|------|---|--|
| 和太鼓 | 28 回 | 英語 | 14 回 | リトミック | 15 回 | 他 | |
|-----|------|----|------|-------|------|---|--|

5. 家庭支援

一時保育は、リピーターや新規も増え予約日には20分ほどで埋まってしまう状況であった。子育てひろばでは在園児と交流し、親子で制作や手遊びなどを楽しむ活動や保育園の行事に気軽に参加できるものも用意し、保育所を身近に感じてもらえる場になるよう努めた。

6. 第三者評価、保護者評価

今後の課題として「職員同士の伝達事項を正確にしてほしい」「保育園の行事やイベントを見直してほしい」という意見があった。職員で話し合い、保護者の方にねらいや目的を伝え満足頂けるように努力していく。子どもの様子や伝達については、漏れのないように職員間の連携を深めると共に、職員のコミュニケーション力を高め日常の会話・笑顔を大切にしていきたい。

7. 第三者評価、職員評価

「子どものことを一番に考えた保育をしている」「職員の雰囲気が良い」という自己評価は良かった。改善していきたい事として、各保育室内の環境の改善、落ち着いて遊べるよう工夫、遊べる環境を考えていきたいと思う。働き方改革で保育士の抱える仕事の量への負担感について、効率よく改善していく必要があることを実感した。

8. 第三者評価を受けて

第三者評価の結果を全職員で共有。保護者からも職員からも、保育園を良くしようと自由意見の中で改善向けて様々な意見があった。少しでも改善できるよう、職員で話し合い、問題点を減らす努力をしていく。また、職員の働き方改革として、細目に職員とコミュニケーションをとり、どうしたら、働きやすくなるか全職員で解決していきたい。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 28名 | 25名 | 28名 | 26名 | 27名 | 26名 | 28名 | 31名 | 29名 | 29名 | 28名 | 29名 | 334名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 16日 | 16日 | 13日 | 15日 | 14日 | 9日 | 13日 | 14日 | 10日 | 15日 | 15日 | 13日 | 163日 |
| | 35名 | 32名 | 23名 | 30名 | 28名 | 21名 | 29名 | 36名 | 22名 | 28名 | 30名 | 32名 | 346名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|--------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 24回 | 参加人数 | 693名 | 制作、アスレチック遊び、リズム遊び他 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 3名 | 3名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症スペクトラム ・知的障害 ・発達遅滞の疑い | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| | |
|--------|--|
| 主だった主訴 | |
| | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|------|------|------|------|------|------|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 158名 | 225名 | 184名 | 226名 | 155名 | 948名 |
| | 女 | 95名 | 25名 | 53名 | 20名 | 41名 | 234名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 15名 | 998名 | 118名 | 48名 | 3名 | 1182名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|------|-------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 86件 | 96件 | 91件 | 106件 | 95件 | 95件 | 114件 | 104件 | 98件 | 99件 | 94件 | 104件 | 1182名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | <ul style="list-style-type: none"> ・園庭の危険箇所や危険物の整備と、職員間での共有事項・ルール決め ・廊下や室内では走らない約束の徹底、掲示物での啓発 ・室内の問題箇所や、玩具・遊具の見直しや修理等 ・プール中の遊び方、注意事項の周知・統一（法人指定の内容） |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 11月20日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 15:30 | 保護者が早めにお迎えに来て謝恩会で使用する写真を撮っていた際、本児は荷物を持ちホールの舞台裏で転んでしまい左耳上部の軟骨を切り出血。整形外科に受診し10針縫い化膿止め軟膏を処方し処置。保護者との連携の必要を感じた。 |
| | 年齢 5歳 性別 男 | |
| 2 | 12月10日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 13:30 | 体調不良により事務所で静養。入眠。睡眠中突然痙攣を起こす。痙攣の時間を計り園児の上体を横向きにし気道確保。救急車で病院に搬送。抗痙攣薬座薬を投与し落ち着く。その後こまめに保護者と連携をとる。状態の把握を細目にしていく。 |
| | 年齢 4歳 性別 男 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 4校 | 6名 | 3校 | 14名 | 24回 | 4名 |

13. 一年を振り返り

開園してから17年目、施設の老朽化も進み1階トイレの改修工事及び、外掲示板の更新、園庭側の園門設置、非常階段の塗装を実施。夏には空調機が急に故障、冬には給食室の空調機が故障。江戸川区と相談し空調機の改修工事を全面的に行うこととなる。
職場環境の向上として、職員が働きやすくするため業務の見直し、効率化を行ったが、更なる工夫と改善の為、意見を聞き、働きやすい職場にするよう心掛ける。
保育環境を見直し落ち着いて遊べるようになり、今後、生理的欲求が満たされるよう見直しが必要。保育が楽しいと思えるよう、保育所保育指針の読み合わせや研修等でスキルアップが必要である。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|
| 認可定員 | 20 人 | 23 人 | 23 人 | 23 人 | 23 人 | 112 人 |
| 運用定員 | 20 人 | 23 人 | 21 人 | 23 人 | 21 人 | 108 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 2 人 | 0 人 | 2 人 | 4 人 |
| 男女児 | 9 人 11 人 | 12 人 11 人 | 12 人 9 人 | 5 人 18 人 | 12 人 9 人 | 99 人 99 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもが安定感をもって過ごせるようにする。 子どもたちが安心して健やかな生活ができる環境を整える。 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども達に、いつも笑顔で気持ちを受け止め、接することで不安な気持ちを取り除くように心掛けた。 子ども達が自分の気持ちを出すようになり引き続き一人ひとりの気持ちを大切にしたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 自分で考え、自分で行動できるような環境設定をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 行事等を通し、後ろから手助けをしながら自分で考え出来るようにすることで、自信を持ち、失敗を成功に繋げることが出来、楽しさ感じられるようにした。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるよう努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 目立つ子、目立たない子など差が出がちなので気を付けて意識し、保護者に一日の様子やエピソード等を話す事で園の様子を伝えるように心掛けた。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|------|-----|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 55 名 | 伝染性紅斑 | 31 名 | 溶連菌 | 19 名 |
|-----|---------|------|-------|------|-----|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 4 名 | 内単品 | 0 名 | 内複合 | 4 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|----|------|----|------|---|
| 体育 | 41 回 | 音楽 | 20 回 | 英語 | 18 回 | 他 |
|----|------|----|------|----|------|---|

5. 家庭支援

子どもの成長、子育ての悩みなど個別に話す場を作り、保育園での様子を話し一緒に考えて保護者の気持ちに寄り添うようにした。
少し心配な子どもに対して心理士に相談し、個別に指導を受け、それを職員全体で共有、対応した。

6. 第三者評価、保護者評価

保育園の雰囲気や、行事や子どもたちに対して配慮をしてくれている。先生たちが一生懸命で子どもたちを安心して預けられる等、お褒めの言葉を頂く反面、「行事が簡素化している」「子どもの様子をもっと伝えて欲しい」「先生の人数が足りてないのでは」という意見があった。他、感染性など危機管理の意識が薄いとの意見があったことを受け、改善していく。

7. 第三者評価、職員評価

会議等、子どもの様子が共有できたことや保育の方向を示したことで少しずつ共通理解できたことは評価される。人間関係で悩んでいる職員、仕事の量の多さに苦労していること等が多い。また、保育の向上や自主的に動こうと意識している気持ちが伝わってきた。

8. 第三者評価を受けて

保護者に、行事についての説明不足な為理解されていないことを感じる。また保護者とのコミュニケーションを十分に図れるよう努力していく。
職員に対しては個別で話す時間を多く取り入れ、聞くことの大切さを感じました。また仕事の取り組み方や人間関係の難しさを感じたので改善していくようする。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 23名 | 26名 | 26名 | 26名 | 27名 | 26名 | 25名 | 23名 | 23名 | 23名 | 25名 | 23名 | 296名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 22回 | 参加人数 | 211名 | 園行事参加 親子ふれあい遊び・製作等 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 名 | 1名 | 名 | 1名 |
| | 女 | 名 | 名 | 1名 | 名 | 名 | 1名 |

| | |
|-------------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・発達障害 ・言語、運動障害 | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | |
|-------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・ ・ ・ | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 40名 | 48名 | 18名 | 2名 | 36名 | 144名 |
| | 女 | 35名 | 11名 | 6名 | 8名 | 16名 | 76名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 17名 | 144名 | 1名 | 57名 | 1名 | 220名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 20件 | 15件 | 11件 | 16件 | 22件 | 23件 | 30件 | 23件 | 13件 | 17件 | 9件 | 21件 | 220名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 全体を見る事やトラブルになる前の子どもの動きなどの気付きが弱かったため、子ども同士のトラブルからの怪我や噛みつきが多かった。その為、振り返りをし保育士の立ち位置や、遊びの環境を再確認した。園庭内に死角となる場所があったので立ち入らない様にふさいだ。 |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 10月23日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 15:30 | 室内遊び中に友達とトラブルになり顔をひっかかれ、ひっかき傷が3ヶ所できる。皮膚科に通院し軟膏を塗る。子どもたちのトラブルになる前の前兆を見逃さない事と子どもたちには言葉で伝えられる様、指導していく。 |
| | 年齢 3歳 性別 女 | |
| 2 | 11月20日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10:40 | 園庭遊び中にバランスを崩し転倒した際、水道の枠に顎をぶつけ切ってしまった。病院にて受診。3針縫い塗薬と飲み薬を処方された。水道の裏には入れないようにガードするものを置き、角にコーナーガードを付ける。 |
| | 年齢 2歳 性別 男 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 3校 | 3名 | 2校 | 6名 | 15回 | 16名 |

13. 一年を振り返り

乳児保育の大切さを伝え勉強し合う環境を作った。乳児保育は担当制を取り入れたが担当制を経験している保育士が少なく、不安に思う保育士とぶつかり合いながら試行錯誤しながら進めていった。まだまだではあるが少しずつ乳児保育を理解し乳児保育が楽しいという保育士も増えてきて良かった。行事に追われることで余裕がなくなり、職員たちが保育を楽しめているか不安になることがある。行事の見直しや行事に対する思いや進め方について話し合った。少しずつやり方を考えて変えていく必要があると感じる。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 12 人 | 18 人 | 22 人 | 24 人 | 24 人 | 100 人 |
| 運用定員 | 17 人 | 22 人 | 24 人 | 24 人 | 24 人 | 111 人 |
| 過不足 | 0 人 | 1 人 | 1 人 | 1 人 | 0 人 | 3 人 |
| 男女児 | 7 人 10 人 | 12 人 9 人 | 16 人 7 人 | 14 人 9 人 | 12 人 12 人 | 61 人 47 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 園児一人一人が安心して過ごす。 園児の安全確保と衛生管理を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 会議等で日頃の子どもの様子を話し合い子どもの気持ちや欲求を受け止め、寄り添い保育した。健康状態の把握に努め、感染症が流行した場合注意喚起、衛生管理に努めた。 避難、不審者訓練を行い、安全確保に努めた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> あそびや散歩等を通して、ルールを学んでいく。 豊かな自然環境を活用した保育を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 散歩等を通して、ルールを学ぶ事ができた。園内においても、遊び等を通して人間関係を養った。 恵まれた環境で、植物などを使いや制作等にも活用する事ができた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ホームページでの情報提供を充実させ、保護者への支援と連携を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 参観や保育士体験を通して、保育園の様子をわかりやすく伝えると共に、1年を通して日常の様子をブログ等を通して情報発信をした。それにより保育園を理解してもらう事ができた。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|-----|------|------|-----|
| 感染症 | インフルエンザ | 16 名 | 溶連菌 | 16 名 | 手足口病 | 9 名 |
|-----|---------|------|-----|------|------|-----|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 4 名 | 内単品 | 3 名 | 内複合 | 1 名 | エピペン対応 | 1 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不審者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|-------|------|-----|------|---|
| 英語 | 23 回 | リトミック | 24 回 | 和太鼓 | 36 回 | 他 |
|----|------|-------|------|-----|------|---|

5. 家庭支援

一時保育については、例年通り600名弱の利用があり、予約で埋まっている状況が続いており、地域の需要の高さを感じている。入園の為の見学も年間を通して多く、個別に対応した。

6. 第三者評価、保護者評価

総合満足度は、有効回答数の83.6%が大変満足、残りの16.4%が満足と高い評価を受けた。設問に対しても、ほとんどの項目で100%もしくは90%以上となっている。その中で安全対策の項目がやや低かったので、次年度の事業計画の中に園庭門の安全対策を講じている。

7. 第三者評価、職員評価

全体的には、仕事等に対する取り組みに理解がある。但し、職員の構成上、育成面に不安があり、職員評価で結果に表れている。一人一人の職員に合った人材育成が今後の課題となる為、研修や面談等を通して職員にあった育成計画を作成していきたい。なお、休暇の取得については、おおむね満足を得られている事が見受けられ、職場環境は改善されている。

8. 第三者評価を受けて

結果については、職員全員で共有。今年度の結果を受け止め、改めて保育園の様子や取り組みを保護者に伝え、理解してもらう大切さを共有した。今後も継続していく。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 10名 | 10名 | 11名 | 11名 | 11名 | 10名 | 11名 | 12名 | 13名 | 13名 | 13名 | 13名 | 138名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 20日 | 21日 | 20日 | 18日 | 20日 | 16日 | 20日 | 19日 | 18日 | 13日 | 19日 | 20日 | 224日 |
| | 46名 | 54名 | 55名 | 48名 | 47名 | 47名 | 60名 | 52名 | 44名 | 36名 | 51名 | 57名 | 597名 |

| | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|-----|--------|--------|-------|----------|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | |
| 実施回数 | 23回 | 参加人数 | 288 | ・製作 | ・ホール遊び | ・園庭遊び | ・園行事への参加 |
| | | | ・散歩 | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |
| | 女 | 1名 | 0名 | 1名 | 1名 | 0名 |

| |
|---------------------------|
| 主だった主訴 |
| ・発達遅滞 ・糖源病1B型 ・ダウン症 |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 1名 | 1名 |

| |
|--------|
| 主だった主訴 |
| ・就学相談 |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|------|------|------|------|------|------|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 111名 | 134名 | 161名 | 142名 | 139名 | 687名 |
| | 女 | 96名 | 46名 | 27名 | 62名 | 52名 | 283名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 42名 | 824名 | 84名 | 19名 | 1名 | 970名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|------|-----|-----|-----|------|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 18件 | 50件 | 51件 | 52件 | 114件 | 92件 | 107件 | 108件 | 92件 | 91件 | 95件 | 100件 | 970名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 転倒が多い。自ら避けられずいたり、手が出ずに顔をぶつけ、前歯からの出血が目立ったので、危険回避や、遊ぶ前にウォーミングアップをする等を心掛けた。 |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|-------|----------|--|
| 1 | 5月28日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 11:00 | ホール内で、しっぽとりゲームをしていて、前で走っていた友達が転倒し、その上に覆いかぶさる様に転倒し、前歯を打った。歯茎と上唇より出血。周りを見て行動するようにと、遊ぶスペースの確保が必要。 |
| | 年齢 4歳 | |
| 性別 男児 | | |
| 2 | 3月22日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 16:00 | 絵本を読んでいる最中、友達に腕を引っ張られ肘を痛めた。脱臼ではなく、筋が伸びて痛かった。絵本を読むときの約束事を徹底する。引っ張ることは、しないように話をする。 |
| | 年齢 5歳 | |
| 性別 女児 | | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 4校 | 4名 | 2校 | 10名 | 1回 | 2名 |

13. 一年を振り返り

おひさま保育園の中では規模の小さい保育園であるが、新卒3名異動者4名を受け入れ、それを機に日常保育や行事を全職員で見直した。また、園児、保護者、職員が一体となって保育園を形成するという事を年間を通して職員に伝え続けた。その事もあり、第三者評価や行事毎のアンケート等をみると、保護者からは一定の評価を受け、よい関係を築く事ができた。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 26 人 | 28 人 | 31 人 | 32 人 | 33 人 | 150 人 |
| 運用定員 | 28 人 | 30 人 | 30 人 | 31 人 | 31 人 | 150 人 |
| 過不足 | 2 人 | 2 人 | -1 人 | -1 人 | -2 人 | 0 人 |
| 男女児 | 14 人 14 人 | 21 人 9 人 | 19 人 11 人 | 14 人 17 人 | 16 人 15 人 | 84 人 66 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人が自己肯定感を持てる保育 快適な保育環境を提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> 温かい気持ちで保育を行い、信頼関係を築けた。受容さることで安心感が感じられる姿が多く見られた。 各クラスの環境を整備したことにより、子どもが落ち着きトラブルも軽減した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人一人が遊び込める環境作りをする。 自然の事象に触れ、感じたり気づいたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 乳児は安心して遊べるように少人数で丁寧に関わり、遊びが持続するようになり。幼児は遊びの発展のタイミング観て適した声掛け、玩具の提供はチャレンジと反省となった。 自然事象には一年を通して散歩、食育等で触れられた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 保護者との相互理解をしっかりと図る。 地域の子育て中の親子とプレママの支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 登降園時でのコミュニケーションを積極的に行うように努めたが、登降園で保護者が集中し図れない場面もあった。 子育てひろば、保育所体験を通して園児と地域のお子さんと触れ合うことができた。 |

3. 養護 (H30年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|--------|------|------|------|---------|------|
| 感染症 | 溶連菌感染症 | 41 名 | 手足口病 | 40 名 | インフルエンザ | 29 名 |
|-----|--------|------|------|------|---------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 7 名 | 内単品 | 5 名 | 内複合 | 2 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 0 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育 (教室事業) (H30年度のべ数)

| | | | | | | | |
|------|------|------|------|---------|-----|---|--|
| 体育遊び | 12 回 | 英語遊び | 22 回 | 音楽・楽器遊び | 4 回 | 他 | |
|------|------|------|------|---------|-----|---|--|

5. 家庭支援

各家庭で抱えている子育ての悩み等は違い、保護者が保育者に気兼ねなく相談し、話したり出来る環境に務めた。登降園時には限られた時間の中でも丁寧に接するよう心掛け、連絡帳や保護者のつぶやきなど心配な保護者に対しては全職員で共有し対応。特に関係諸機関の支援が必要な家庭についてはこまめに連携を図った。

6. 第三者評価、保護者評価

- 活動、給食は高評価を得られた。保育者に対しても元気で明るく話しやすいと思われているが、登降園時の声掛けに「変わりありません」という言葉に不満あり。職員全体で対応スキルをあげることが必要である。
- 行事の見直し等で、日々の保育でプラスになっていることをより多く伝えきれず不満あり。

7. 第三者評価、職員評価

- 保育についてみんなで話し合う時間を持ち、学べたことに対してはプラスに思っている。
- 保育者が抱える子どもの人数が多いことで日々の業務に追われ、余裕がないことに不満あり。
- 経験が長い職員が後輩を進んで育てようとしないうこと、指導が甘いので経験の浅い職員が育っていない。

8. 第三者評価を受けて

- 保護者との信頼関係は概ねできているが、一部の不満が園全体に及ぼすことが大きい。日々の保育の積み重ねと保護者に保育内容を知ってもらうことで信頼度が増すよう努めたい。
- 園舎等老朽化して快適さに欠けるところがあるが、已む得ないと思わず、改善出来ることは改善していく。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長 保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 19名 | 19名 | 22名 | 23名 | 22名 | 21名 | 20名 | 20名 | 21名 | 20名 | 20名 | 20名 | 247名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 一時 保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|-----|--------|------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 21回 | 参加人数 | 107 | ・乳児 | 園庭遊び、巧技台遊び、ふれあい遊び、クリスマス会、ベビーマッサージ等 | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 2名 | 名 | 1名 | 名 | 3名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 1名 | 名 | 1名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由 ・自閉症 ・精神運動発達遅滞 | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 1名 | 1名 | 名 | 名 | 2名 | 4名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 2名 | 1名 | 3名 |

| | |
|--|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・虐待の疑い ・母がうつで育児困難 | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|------|------|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 38名 | 78名 | 100名 | 80名 | 40名 | 336名 |
| | 女 | 61名 | 109名 | 67名 | 43名 | 22名 | 302名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 58名 | 425名 | 17名 | 134名 | 4名 | 638名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 85件 | 76件 | 51件 | 48件 | 49件 | 43件 | 57件 | 52件 | 39件 | 44件 | 42件 | 52件 | 638名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | <ul style="list-style-type: none"> ・保育者が「これはヒヤリである」と気づく意識づけを会議、園内研修で行った。又日々の昼礼時に報告、共有。他クラスでのヒヤリは自分のクラスでも起こりうることであるので保育環境や職員の配置の見直しを一人ひとり考え、意識を高めることが園全体の安全管理に結びついた。 ・乳児の保育環境の見直しで噛みつき、引っ掻きは激減した。 |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | | |
|---|---------------|---|--|
| 1 | 4月23日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 10:30 | 公園の木の根元付近でバランスを崩し転倒。丸太型の椅子の角におでこを強打し切れた。形成外科に通院し、5針縫った。公園の危険個所を再度把握し、子どもの動きに目を配り、危険個所付近には保育者が付くことを徹底した。 | |
| | 年齢 2歳 性別 女 | | |
| 2 | 12月25日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 10:45 | 友達と手をつないで散歩中、本児が不意に違うところに行こうとしたため友達が引き戻した際に顔から転倒し、前歯が少し欠けた。通院し、欠けたところを補った。不意の行動がある本児には必ず保育者がついて散歩する。 | |
| | 年齢 2歳 性別 男 | | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 4校 | 8名 | 3校 | 11名 | 1回 | 1名 |

13. 一年を振り返り

指針が改定され、それに沿った保育を行うため全職員で学んだ一年であった。園内研修や課題本等、保育の専門家として学び続けることの大切さを職員一人一人に伝えていった。日々の保育や保育室の設定の改善に努めたことで子どもが変わったことで自信につながった。保育の見える化の一つとして昨年度よりブログを多く配信したことは評価されたが、日々の対応に対してはまだ改善の余地を感じる。保育者一人当たりの子どもの人数が多いことは職員の不満の種になっている。それでも保育の楽しさを多く味わうことと専門家としての喜びがより多く得られる職場環境を作っていきたいと思う。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 24 人 | 27 人 | 31 人 | 31 人 | 31 人 | 144 人 |
| 運用定員 | 23 人 | 27 人 | 31 人 | 31 人 | 31 人 | 143 人 |
| 過不足 | 1 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 1 人 |
| 男女児 | 12 人 11 人 | 15 人 12 人 | 19 人 12 人 | 18 人 13 人 | 17 人 14 人 | 81 人 63 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|---|
| ・子ども主体の遊びと環境設定の見直し | ・各職員が子ども達の興味や関心を受け止め、遊びが広がるよう工夫する様子が見られ、日々の遊びや製作、行事等の中に活かされていた。法人主催の玩具研修も非常に参考になり、乳児保育の見直しへと繋がった。 |
| ・全年齢の育て欲しい姿（小学校移行に向けての取り組み）を考慮しながらの、活動や取り組みの実施 | ・10の姿への取り組みは、毎月のクラス状況報告会議の中でそれぞれの実践を伝え合い、気づきと学びの場になるよう行った。年度末には1年を振り返り、次年度へ向けてアドバイス等、取り組みが継続するよう配慮した。 |
| ・園庭開放・保育所体験等、地域の子育て支援の取り入れ | ・子育てひろば、一時保育に加え、年度の後半より園庭開放と行事と一緒に参加する形で、保育所体験を実施。在園児の様子や職員との関わりを見て頂くことで、保育園の活動や子どもの理解を深める場となった。 |

3. 養護 (H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|---------|------|--------|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 45 名 | 流行性角結膜炎 | 27 名 | 溶連菌感染症 | 24 名 |
|-----|---------|------|---------|------|--------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 9 名 | 内単品 | 5 名 | 内複合 | 4 名 | エピペン対応 | 2 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 3 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不審者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育 (教室事業) (H31年度のべ数)

| | | | | | | | |
|------|------|-------|------|--|---|---|--|
| 体育教室 | 37 回 | 英語あそび | 17 回 | | 回 | 他 | |
|------|------|-------|------|--|---|---|--|

5. 家庭支援

療育が必要か悩んでいる保護者に対して、個人面談や個別の参観で保育園の様子を把握してもらい、他、保護者の状況に応じ、月に一度来ている臨床心理士との面談を行い、具体的に対応方法や療育利用について支援をした。

6. 第三者評価、保護者評価

保育園での活動は子どもにとって興味、関心が持てるものであり、心身の発達に役立っているという項目や、自然や社会との関わりも多く、十分に戸外遊びの時間を設けているという点でも高評価を得た。安全対策面では1階保育室が駐輪場に面していて心配とのご意見を頂き、駐輪場の門の開閉時間を決める等の対応を行った。今後も更なる安全対策を考えていきたい。

7. 第三者評価、職員評価

子ども主体で保育が行われている。子ども第一で考えているという評価や、職員同士の助け合いの気持ちが強く、連携が取れているとの評価が多かった反面、育休、固定時短勤務職員が多く体制が厳しい為、日々の保育に余裕がないという意見も上がっていた。効率よく出来る部分は見直しを進め、より働きやすい職場作りを目指していく。

8. 第三者評価を受けて

保護者からの様々な意見は納得できる内容で、子ども、保護者に対する職員の関わり方の振り返りとして改善点を見出した。励ましの言葉と共に真摯に受け止め今後に繋げていく。職員からの評価は、ここ数年異動等で大きくメンバーが変わり、保育園の活動等に対して疑問点が生じている事もあり、意見交換をしながらより良い職場作りを協力して行っていきたい。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長 保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 20名 | 20名 | 22名 | 21名 | 22名 | 22名 | 19名 | 19名 | 20名 | 21名 | 22名 | 21名 | 249名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 一時 保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 20日 | 18日 | 18日 | 18日 | 16日 | 12日 | 17日 | 15日 | 14日 | 14日 | 14日 | 14日 | ##日 |
| | 37名 | 33名 | 35名 | 33名 | 30名 | 22名 | 32名 | 29名 | 24名 | 23名 | 25名 | 25名 | 348名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 27回 | 参加人数 | 533名 | ・季節や伝統行事に合わせた製作 ・巧技台遊び・風船遊び・絵本の読みきかせ | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 1名 | 名 | 2名 | 3名 |
| | 女 | 名 | 名 | 1名 | 名 | 名 | 1名 |

| | |
|--------------------------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・自閉症スペクトラム ・内反足及び膀胱障がい ・ | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | |
|-------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・ ・ ・ | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|------|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 40名 | 52名 | 125名 | 44名 | 49名 | 310名 |
| | 女 | 55名 | 46名 | 67名 | 10名 | 43名 | 221名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 48名 | 331名 | 25名 | 108名 | 19名 | 531名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 45件 | 44件 | 33件 | 39件 | 35件 | 33件 | 67件 | 55件 | 49件 | 42件 | 54件 | 35件 | 531名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 顔や顎をぶつけ唇を切る等の怪我やその一步手前等が多く、都度各保育室の棚の位置や玩具等の置き場所、机、椅子の配置等の見直しを行っていった。薬の預かり伝達ミスからの服用忘れになりそうなのが有った為、全職員で伝達の仕方を改めて再確認、各クラスでもボードに明記するようにし、職員同士声を掛け合っ気をつけるよう改善した。 |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | | |
|---|---------------|---|--|
| 1 | 6月22日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 10:30 | 公園で遊んでいる時、広場の野球ボードの下をくぐろうとし、額中央をぶつけ出血。通院しホチキスで1針縫う処置を実施。改善点として、公園内の危険箇所について職員間で周知し、それをもとに活動内容を考慮していく。 | |
| | 年齢 4歳 性別 男 | | |
| 2 | 7月27日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 9:30 | ホールでの鉄棒練習中、着地時に鉄棒に顎をぶつけ、前歯の歯茎から出血。上唇小帯も切れた。歯科医にて消毒の処置を行った。改善点として、鉄棒での注意点を子ども達に再度伝え、個々に応じた補助の仕方を再確認した。 | |
| | 年齢 6歳 性別 男 | | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 6校 | 7名 | 0校 | 0名 | 5回 | 5名 |

13. 一年を振り返り

配慮が必要な子ども達が多く対応に不安があったが、月に一度臨床心理士がクラスに入り見て頂けることで、職員も方向性が明確になり、保護者対応もスムーズになった。又、保護者からすすんで療育を利用する傾向が増え、情報を共有することで子どもの成長も著しく、クラスの状況も改善されてきている。職員構成が変わったことで様々な意見が出て、見直しが必要な点が多々出てきている。個々の意見を聞き、園の状況を見ながら、より良い方向へいくよう皆で考えていきたい。新規職員が2名入ったが、保育士の仕事を心底楽しみながら、意欲的に学んで成長していく姿が見られ、指導する職員の喜びにも繋がり、共に良い関係が築けていた。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 21 人 | 24 人 | 26 人 | 25 人 | 28 人 | 124 人 |
| 運用定員 | 21 人 | 24 人 | 26 人 | 25 人 | 28 人 | 124 人 |
| 過不足 | 0 人 | 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 8 人 13 人 | 10 人 14 人 | 14 人 12 人 | 16 人 9 人 | 11 人 17 人 | 59 人 65 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・清潔で安全な環境を整える。 ・ひとり一人が安心感を持って過ごせるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に危険力所や玩具の点検をい、昼礼でヒヤリハットを報告し合い安全に対する思いを共通にしていた。受け入れの際笑顔で名前を呼び、顔を見ながらの挨拶を徹底した結果、視診がしっかりと行えるようになった。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる力を養う。 ・あそび込む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳児は保育士との丁寧な関わりを軸に信頼関係を築いた。幼児は縦割り保育を充実させ、異年齢の関わりの中から優しさを学ぶことが出来た。 ・主体性を学び、遊び込む事の出来る環境を意識した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの成長を保護者と共に感じ合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真を付けたお知らせ掲示を有効に活用し、お迎え時に日々の出来事を具体的に知らせる事を大切にしたい。 ・難しい伝達は昼礼等で、伝え方のヒントを職員間で見つけ保護者対応の苦手意識を取り除けるようにした。 |

3. 養護 (H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|---------|------|---------|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 26 名 | 流行性角結膜炎 | 20 名 | ヘルパンギーナ | 15 名 |
|-----|---------|------|---------|------|---------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|---|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 2 名 | 内単品 | 2 | 内複合 | 0 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|---|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育 (教室事業) (H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|-------|------|-------|------|--------|------|---|
| 英語あそび | 20 回 | 体育あそび | 12 回 | リズムあそび | 11 回 | 他 |
|-------|------|-------|------|--------|------|---|

5. 家庭支援

勤務によりお迎え時間に変更が出た場合、可能な限り柔軟に対応した。園だよりの他に園長発行のチーム葛西2の手紙を発行した。お知らせの他に子育てのヒントや親としての心もちも合わせて掲載。保護者からの実践した感想等反響をもらった。保護者との会話を多く持つ事を意識し、保護者の喜びや悩みに即対応できるように心掛けた。

6. 第三者評価、保護者評価

職員が明るく、担任以外の職員も子どもの名前を憶えていてくれるとの意見が多数であったが言葉使い、態度が気になる職員もいるとの意見もあった。送迎時のコミュニケーションが足りず、園での子どもの様子がわからないという意見は特に幼児クラスの保護者に多かった。楽しんで子ども達と向き合っている。職員間の雰囲気良くチームワークが取れていると評価あり。

7. 第三者評価、職員評価

風通しが良く、働きやすいと感じている職員が多い。気になる子や保護者対応も担当職員が抱え込むことなく、保育園の問題としてみんなで考える姿勢が良いとの意見あり。保育の話が沢山出来る。ITC化は業務短縮、負担と意見が分かれているが、様々な場面で業務の改革が行われていると感じている。時間内に仕事が終わらない事が多い。

8. 第三者評価を受けて

保護者は子どもの日常を知りたいという思いが強い。送迎時の伝達、ブログの更新が少ないとの意見が複数あった。伝達は保護者へのコミュニケーションの取り方を意識、またブログは更新回数を増やす計画を立てる。職員の意見をうけ業務改善の課題を明確にし、振り返った時にひとつでも達成できた取り組み方をしていきたい。業務、雰囲気共に働きやすい職場を目指す。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 16名 | 16名 | 16名 | 16名 | 17名 | 16名 | 16名 | 16名 | 16名 | 16名 | 16名 | 15名 | 192名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 10日 | 21日 | 21日 | 19日 | 16日 | 18日 | 20日 | 21日 | 17日 | 18日 | 19日 | 19日 | ##日 |
| | 17名 | 22名 | 28名 | 29名 | 24名 | 31名 | 33名 | 34名 | 30名 | 29名 | 32名 | 35名 | 344名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 22回 | 参加人数 | 119名 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てひろばおたより発行。 ・保育所体験（乳児クラスの活動に参加） ・親子でのふれあいあそび（わらべうたの伝承） | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |
| | 女 | 0名 | 1名 | 0名 | 1名 | 3名 |

| | |
|--|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・多動 ・集団への不参加 ・他児への攻撃的な行為 | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31. 3. 31現在)

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |
| | 女 | 1名 | 0名 | 1名 | 0名 | 2名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・母、精神疾患 子どもへの虐待傾向（姉妹） ・ ・ | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|------|------|-----|-----|-----|------|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 88名 | 131名 | 73名 | 39名 | 44名 | 375名 |
| | 女 | 113名 | 94名 | 25名 | 15名 | 40名 | 287名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 24名 | 487名 | 66名 | 84名 | 1名 | 662名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 67件 | 68件 | 53件 | 73件 | 80件 | 85件 | 68件 | 41件 | 60件 | 27件 | 21件 | 19件 | 662名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | <p>プールあそびでのヒヤリハットは即時解決した。安全を最優先し、監視の人数を増やし役割の徹底を図った。水道からの水が熱くてびっくりした足元のコンクリートが高温だったなどの報告により、即対応し危険回避に繋がった。園で負った傷か自宅からの傷か不明なことで、保護者に伝達が出来ない事があり。朝の視診の際、顔を重点的に視診を行う事を徹底し、傷の有無を確実に把握する習慣をつけた。</p> |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | | |
|---|----------|---|--|
| 1 | 7月19日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 9:40 | 男児と玩具でのトラブルがあり、ブロックで額を叩かれる。出血が多かったため受診。軟膏とガーゼ対応で済んだ。子ども達には玩具も使い方でも人を傷つけてしまうという事をしっかりと伝えた。 | |
| | 年齢 4歳 | | |
| 2 | 12月18日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 10:30 | 室内遊びの際、室内を走り転倒。ままごとのキッチンの角に左耳をぶつかる。出血はなかったが耳たぶが青くなり腫れも見られたため受診。室内での過ごし方の指導。コーナーガードの強化。 | |
| | 年齢 5歳 | | |
| | 性別 男 | | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 5校 | 7名 | 1校 | 4名 | 8回 | 4名 |

13. 一年を振り返り

職員の意識の統一に昼礼を活用した。危機管理では職員間で温度差が出ないようにヒヤリハットを昼礼で報告、その件について即話し合いを持てるようにした。保育では「気づき」という項目を設け、クラスの取り組み等伝え合っている。また保育士個人の考え悩みもオープンにしその場でアドバイスを受けて気持ちを共有できるようにした。「ひとりで悩まない」を目標にしたことで、チームワーク向上に繋がった。チームワークこそ職員育成の要であると感じている。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 24 人 | 27 人 | 34 人 | 36 人 | 36 人 | 157 人 |
| 運用定員 | 24 人 | 27 人 | 31 人 | 35 人 | 35 人 | 152 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 3 人 | 1 人 | 1 人 | 5 人 |
| 男女児 | 12 人 12 人 | 13 人 14 人 | 15 人 16 人 | 19 人 16 人 | 15 人 20 人 | 62 人 78 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 発達を促した生活環境や遊び、保育士との関りから、情緒の安定を図り、健康に過ごせる基礎を培っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 枝豆やさつま芋の栽培を通して、植物の生長を感じ、記録をし、生育する食べ物への興味を持ち、情緒の安定に繋がった。保育士とのやり取りや視診について、保育士の個々の意識を高めていける様、引き続き努めていきたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 自然や地域の環境などを通して生活や遊びが豊かに展開されるよう援助していく。 | <ul style="list-style-type: none"> 散歩や園庭遊び等の戸外遊びは、積極的に園全体で取り組み、体を使った遊びを中心に実施した。固定遊具の利用も異年齢と遊ぶことも多く、ルールを再確認し、周知徹底した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 登降園時の言葉かけやお便り、ブログ等で保育園の日常を発信し保育の意図を伝えていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ブログでの情報発信が少なかったことは、大きな反省である。日々の保護者への対応は、個々の工夫は見られた。情報共有や伝達について、子どもの育ちを喜び合えるような関係作りに努めていきたい。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|------|-----|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 52 名 | 伝染性紅斑 | 31 名 | 溶連菌 | 11 名 |
|-----|---------|------|-------|------|-----|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 6 名 | 内単品 | 4 名 | 内複合 | 2 名 | エピペン対応 | 1 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|--|---|--|---|---|
| 体操 | 30 回 | | 回 | | 回 | 他 |
|----|------|--|---|--|---|---|

5. 家庭支援

生活困難ケースについては、小学校と児童相談所からの連絡から在園児(女児)と保護者の様子を伝え、情報共有をした。他のケースに関しては、ほぼ落ち着いているとして、打ち切りの連絡をもらった。子育てひろばが定着し、園の行事と重ね、在園児との交流を深めることで、保育園を知ってもらえるよい機会になっていると思う。

6. 第三者評価、保護者評価

保育園の活動等についての質問は、子どもの心身の発達に役立っている、子どもへの対応についても良い、との高評価の回答を得た。しかし、保育内容の説明について不満のあった際の対応、第三者委員の存在について、保護者への周知が不十分だったという結果があった。今後、職員の保護者への対応等考えていく課題である。

7. 第三者評価、職員評価

保育について、みんなで考える機会が増え、子どもへの声掛けも変わってきている等の意見がある一方、職員会議が多く、書類をやる時間がない。定時に上がれない等の意見がある。また、休みが取りやすくなったという意見と、体制が厳しいという意見もあった。今後考えていく課題である。

8. 第三者評価を受けて

保護者への情報発信については、保育内容と子ども達の生活や遊びの姿を様々な形で知らせる手立てを考えていきたい。対応についても、まだまだ、職員の意識にばらつきがあり、高めていける様職員会議や資料を通して、全体で研修等を重ねていきたい。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 11名 | 12名 | 12名 | 13名 | 13名 | 14名 | 12名 | 14名 | 14名 | 14名 | 16名 | 16名 | 161名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 15回 | 参加人数 | 275名 | 在園児との関りを持てるよう工夫をしている。制作やリズム、体操等を実施。また、行事と重ねて職員劇をみたり、観劇の機会も設けている。掲示を医院や共育プラザに依頼。 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 1名 | 1名 | 名 | 2名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | |
|------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・自閉症スペクトラム | |
| ・ | |
| ・ | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 1名 | 1名 |

| | |
|--------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・ネグレクト | |
| ・ | |
| ・ | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|------|------|------|------|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 240名 | 193名 | 193名 | 190名 | 95名 | 911名 |
| | 女 | 190名 | 55名 | 100名 | 119名 | 88名 | 552名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 98名 | 1174名 | 84名 | 99名 | 8名 | 1463名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 123件 | 132件 | 136件 | 124件 | 126件 | 116件 | 135件 | 141件 | 116件 | 106件 | 105件 | 103件 | 1463名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 職員同士の声掛けや、異年齢児での合同遊びの際のルール確認を再度行い、共通認識をもつことで、危険や怪我のリスクを減らしてけるよう意識をもっていった。昼礼の際には、部屋や公園の危険個所の気づいた点は、報告をしあい確認をしていくようにした。 |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | | |
|---|----------|---|--|
| 1 | 8月7日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 12:00 | 給食中、椅子から立ち上がり走りだそうとして滑り、近くに座っていた友達の椅子にぶつけ、右下唇を切る。障害のある子なので、傍に付き声掛けをしていく。 | |
| | 年齢 3歳 | | |
| 2 | 2月22日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 10:00 | スクーターで遊んでいて、転倒しハンドルの先端が目につかり、目の下をぶつけた。白目が充血し眼下に通院。スピードは出さない事、エリアを決めるなどして、他の事の交錯を減らしていく。 | |
| | 年齢 2歳 | | |
| | 性別 男 | | |
| | 性別 女 | | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 4校 | 6名 | 2校 | 2名 | 1回 | 4名 |

13. 一年を振り返り

戸外遊びを中心に体づくりをした。体操で経験した遊びを保育の中に取り入れ遊ぶことで、子ども達から鉄棒や太鼓橋に関わって遊ぶことが、幼児全体に広がった。触れる機会が多くなったことで、ぶら下がりや逆上がりができる子どもも増えている等、バランスを崩し頭や顔の怪我が減ってきたと思える。異年齢の関りも増えたが、遊び方についてルールを決め、より安全に過ごせるよう注意をしたい。保育について、子どもが主体的に遊べる環境とは？を念頭に工夫をする職員の意識が増え、遊び方や子どもへの声掛けなどに変化が見られている。今後も職員会議や打ち合わせで、子どもの姿にあった保育を考える事を大切にしていきたい。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|------|------|------|------|------|---------|
| 認可定員 | 17 人 | 20 人 | 24 人 | 26 人 | 26 人 | 113 人 |
| 運用定員 | 21 人 | 22 人 | 23 人 | 24 人 | 25 人 | 115 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 0 人 0 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 子ども達の生理的欲求や発達過程に応じた保育 子ども達が健康で安全に過ごせる環境 | <ul style="list-style-type: none"> 受容、応答的を心掛け、子どもの目線や心身の成長を大切に。月反省等を通して子どもの育ちを全職員で共有、全職員が統一して取り組んだ。安全面では、日々の点検安全な環境に心掛けた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 子ども達の主体的豊かなあそびや活動 多様な運動遊びを経験し身体機能の基礎作りや意欲自主性を育む | <ul style="list-style-type: none"> 乳児は子ども達の成長に合わせ手作り玩具を保育に取り入れ、好きな遊びを見つけ豊かに遊ぶ事が出来た。幼児は体操遊びを通し身体様々な機能を使い、活動を経験する事が出来、自立心協同性道徳性や豊かな感性、表現を育んだ |
| <ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズに対応出来る子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者との信頼関係を築く為に日々の会話の他に保護者会でのコミュニケーションやほっとタイムも重点とした。保護者の悩みは、一人ひとりの保護者の目線にたち、育ちや家庭の状況を共有、対応するよう職員一同心掛けた。 |

3. 養護 (H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|------|------|--------|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 71 名 | 手足口病 | 15 名 | 感染性胃腸炎 | 12 名 |
|-----|---------|------|------|------|--------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 6 名 | 内単品 | 3 名 | 内複合 | 3 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不審者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育 (教室事業) (H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|--|---|--|---|---|
| 体操 | 14 回 | | 回 | | 回 | 他 |
|----|------|--|---|--|---|---|

5. 家庭支援

保護者との関係を深め、育児の悩みや意見・要望等、話しやすい環境を作る事を心掛けた。また就業の状況も様々な為、各家庭に応じたサポートが出来るようにも心掛けた。保護連活動での研修会の情報を共有できるように全家庭に資料を配布し参考となるようにした。感染症が出た際は早急に掲示、全家庭に感染症の症状等の手紙を配布し、参考になるよう努めた。

6. 第三者評価、保護者評価

「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「保護者に配慮した行事日程」な高評価を得ている。自由意見では「先日の火災の際、誘導で避難する事ができ、とても感謝している」の意見を頂いた。避難訓練は全て実地で行ったこともあり、その成果と思われる。更なる向上としては、日々の伝達の際に、その日の様子を伝達する工夫をしていきたい。

7. 第三者評価、職員評価

経営層合議用チェックにおいて全項目マルであり、経営層と職員層の認識に大きなギャップがないという事を確認出来た。しかし100%以外の項目において1人ないし2人がそう思わない又はわからないという回答をしているので、全職員で振り返っていききたい。また、ICTの効率の良い活用法や仕事の進め方等も共有し、働きやすい環境をチームになり更に作っていききたい。

8. 第三者評価を受けて

総合的な満足度で高評価を得ている。様々な意見も参考にし、良い面は継続または向上するように努め、改善点は職員間で話し合い進めていききたいと思う。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 15名 | 16名 | 14名 | 13名 | 14名 | 13名 | 13名 | 14名 | 14名 | 13名 | 12名 | 12名 | 163名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 26回 | 参加人数 | 210名 | 誕生日会・園庭開放・製作 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 1名 | 名 | 名 | 1名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 1名 | 名 | 1名 |

| |
|--------------------------|
| 主だった主訴 |
| ・発達遅滞 ・中程度知的障がい（手帳あり） |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31. 3. 31現在)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| |
|-------------|
| 主だった主訴 |
| ・ ・ ・ |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|------|------|-----|-----|-----|------|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 106名 | 112名 | 54名 | 32名 | 57名 | 361名 |
| | 女 | 18名 | 28名 | 49名 | 55名 | 48名 | 198名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 4名 | 521名 | 9名 | 23名 | 2名 | 559名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 44件 | 42件 | 34件 | 46件 | 51件 | 49件 | 64件 | 48件 | 50件 | 49件 | 39件 | 43件 | 559名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | ヒヤリハットは、その日のうちに各クラス内で声に出し共通理解した後、職員会議や月反省等で全体報告をするようにした。早番遅番等の当番活動で利用する場所の場合は、朝昼礼で伝え、職員全員が留意しすぐに保育で活かせるようにした。特に1歳児クラスはクッション性の高いマットを怪我の予測される場所に前もって貼付けるようにし、怪我に備えた。 |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|---------------|--|
| 1 | 6月8日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10:35 | 室内遊びにて坂マットを利用し歩行を楽しんでいた所バランスを崩し、その際に木製棚へ倒れ込んだ。その際右目脇を8mm程切り出血した為、形成外科通院となった。その後坂マットの設定位置を見直し、活動中の保育士の位置も話合った。 |
| | 年齢 1歳 性別 男 | |
| 2 | 5月17日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10:30 | 2階テラスを走り前傾姿勢で転倒した際、テラス外周の淵に下唇をぶつけた。その際下唇を前歯で噛み出血した為、歯科通院となった。その後テラス外周にクッション性のあるマットを付け、そこに近付けないよう職員が配慮するようになった。 |
| | 年齢 2歳 性別 女 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 3校 | 3名 | 4校 | 8名 | 0回 | 0名 |

13. 一年を振り返り

保育所保育指針改定に伴い、朝礼で指針の読み合わせや受容的・応答的保育について月反省等で振り返りを行い、また、会議の中で付箋会議を取り入れたり、人権擁護の為にチェックリストを活用する等、子どもの目線で保育を進める事が出来た。来年度も継続し、より深めていけるようにする。保護者対応については保護者会や個人面談だけでなく、保護者の目線に立って対応するように心掛けた。相手の目線に立つという事はとても重要な事だという事を再認識した。職場環境の向上については今後も一人ひとりが自分の役割を認識し、チームとして動く事を前提としながら、お互いの得意分野の向上・苦手分野の改善にチームとして取り組んでいきたい。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 20 人 | 23 人 | 25 人 | 26 人 | 26 人 | 120 人 |
| 運用定員 | 20 人 | 24 人 | 26 人 | 26 人 | 26 人 | 122 人 |
| 過不足 | 0 人 | 1 人 | 1 人 | 0 人 | 0 人 | 2 人 |
| 男女児 | 7 人 13 人 | 14 人 10 人 | 13 人 13 人 | 11 人 15 人 | 11 人 15 人 | ## 人 ## 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の心をしっかりと受け止めて見通しを持って生活が出来る環境づくり 子どもが主体的に遊びを展開する | <ul style="list-style-type: none"> 生活遊びのコーナーなど環境を整えることができた。子ども達も生活の流れを理解し見通しをもって活動が出来るようになった。子ども達が好きな遊びを存分に楽しめる環境を整備したが発展継続して遊ぶまでには至らなかった。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 友だちと関わりながら進んで、身体を動かし心地よさや大切さを感じ、助け合い最後までより遂げる 異年齢児交流を多く設ける | <ul style="list-style-type: none"> 戸外遊びや体操遊び、異年齢児合同保育を通して、身体を動かす活動を組み込み子ども同士と一緒に活動することで助け合うことや共に頑張る経験をする事ができた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 子育ての悩み、不安に思っている保護者に寄り添い話を聞いていく | <ul style="list-style-type: none"> 子育てに不安や悩みを持っている保護者に、個別で話を聞き、心理士へ相談を行い、少しでも悩みが軽減できるよう働きかけた。また、保護者会や機会があるときに、子育ての話や子ども達の成長についての話をした。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|---------|------|--------|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 75 名 | 流行性耳下腺炎 | 26 名 | 流行性胃腸炎 | 25 名 |
|-----|---------|------|---------|------|--------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 5 名 | 内单品 | 5 名 | 内複合 | 0 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 13 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|----|------|-------|------|---|
| 英語 | 23 回 | 体操 | 23 回 | 子育て英語 | 23 回 | 他 |
|----|------|----|------|-------|------|---|

5. 家庭支援

保護者が心の病気をもっている方が多く、子育ての大変さに寄り添い、細やかに声をかけて話を聞いたりアドバイスを行った。園だよりや保護者会等で保育を取り巻く環境の変化や子育てについての話をした。子育てひろばには、毎回沢山の方の参加があり、さまざまな年齢の子ども達と関われる内容の活動をした。一時保育は毎日2名、電話予約はすぐに埋まってしまいう状態だった。

6. 第三者評価、保護者評価

昨年よりも回収率はあがったが、満足度は低下した。保護者の意見の中では、「もっと子供の様子を伝えてほしい」「行事等の変更の説明をもっと詳しくしてほしい」「職員があいさつをしない、言葉使い」等の意見があった。また、苦情相談窓口があることを知らなかった等の意見が多かった。話を聞いてくれる、子どもが大切にされている、様々な遊びを経験できる等の意見もあった。

7. 第三者評価、職員評価

休憩や有休が取得しやすくなった、取りにくくなったとの両方の意見があった。学びたい研修に行くことが出来た。行事の負担が大きい、日々の書類や保育を評価してもらえないなどの意見もあった。職員が意見が言いやすい環境づくりや協力できる体制を整える、組織力が低く報連相が出来ていない。職員同士は仲がよく相談ができる人や助けてもらえる人がいるとの意見があった。

8. 第三者評価を受けて

日々の保育の様子を毎日伝えるように心がけ一人一人を園全体でみる体制を整えるようにする。また、行事の変更点や内容等、保護者会で説明をしていくようにしていく。園内研修の充実によって、職員のやる気が向上することで、職員自身が学び保育を楽しみ、子ども達が自主的に遊べる環境をつくり保育を進めるようにする。組織としての報連相が出来る体制を整える。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 12名 | 14名 | 14名 | 14名 | 14名 | 14名 | 148名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 10日 | 20日 | 18日 | 20日 | 18日 | 17日 | 20日 | 18日 | 17日 | 16日 | 16日 | 19日 | 209日 |
| | 22名 | 25名 | 21名 | 24名 | 23名 | 18名 | 28名 | 18名 | 18名 | 22名 | 28名 | 24名 | 271名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 20回 | 参加人数 | 150名 | 製作・リズム遊び・子育てお話し会など 体操・サーキット遊びなど | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 2名 | 1名 | 1名 | 5名 | 9名 |
| | 女 | 0名 | 1名 | 1名 | 0名 | 0名 | 2名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・多動 ・こだわりが強い ・暴力的 | |

9 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31. 3. 31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 5名 | 5名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 1名 | 0名 | 0名 | 1名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・育児不安 ・ ・ | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|------|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 9名 | 73名 | 117名 | 44名 | 73名 | 316名 |
| | 女 | 4名 | 20名 | 37名 | 56名 | 20名 | 137名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 37名 | 377名 | 21名 | 15名 | 3名 | 453名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 28件 | 72件 | 47件 | 47件 | 58件 | 36件 | 48件 | 30件 | 28件 | 23件 | 18件 | 18件 | 453名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 各学年の具体的な日常の危険予測、活動中での職員配置、職員間の伝達など、その都度、ヒヤリハットの原因を確認、園全体で周知徹底させた。また保育室の中での危険な場所、思いもよらない場所の確認もし、安全に過ごせるようコーナーガードの設置をした。 |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 8月9日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10:00 | はさみを使う製作コーナーの中で友達のハサミが目当たり傷がついた。現場の職員は把握がなく、子どもの訴えにより発覚。→ハサミを使う時には机ですること。また必ず職員が見える位置につくことなどを徹底させた。 |
| | 年齢 5歳 性別 男 | |
| 2 | 1月24日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 11:00 | ドッジボール中にボールを拾おうとした本児の指を友達が誤って蹴り中指にひびが入る。本児の訴えに職員が指を確認せず一度帰園させている。保護者からの訴えにより通院。必ず子どもの訴えには、耳を傾け確認をすることを徹底。 |
| | 年齢 5歳 性別 男 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 6校 | 7名 | 1校 | 5名 | 6回 | 6名 |

13. 一年を振り返り

一時保育は、常に予約一杯の状態です。沢山の利用者がおり、キャンセル待ちも多く、利用者が増加しています。子育てひろばは、参加者が減少。ヒヤリハットは5月が一番多く新年度が始まって落ち着いた頃に多くあることがみられる、また時間は午前中の活動中が多く起きている事がみられる。怪我に関しては、遊び方や指導の方法で防ぐ事ができる怪我だったので職員の危機管理意識を高めていく必要がある。ボランティア、実習生、職場体験は、積極的に受け入れを行った。気になる子どもに対しての対応を職員が学び少しだけだが、その子どもにあった対応を考えるようになった。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 27 人 | 30 人 | 35 人 | 36 人 | 37 人 | 165 人 |
| 運用定員 | 27 人 | 31 人 | 35 人 | 36 人 | 35 人 | 164 人 |
| 過不足 | 0 人 | 1 人 | 0 人 | 0 人 | 2 人 | 1 人 |
| 男女児 | 12 人 15 人 | 16 人 15 人 | 18 人 17 人 | 20 人 16 人 | 22 人 13 人 | 88 人 76 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・保育計画の見直し及び実践 ・生活環境の改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育指針改定による内容の理解を深めるため、職員会議の議題にて検討を行った。乳児保育における保育内容に重点をおくが、乳児から幼児への移行や卒園後の小学校生活を見据えた保育展開となるよう今後も検討が必要である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・健康へと繋がる体力と運動能力の向上 ・集団生活、行動の基礎を身に付ける | <ul style="list-style-type: none"> ・体育計画（講師指導計画）における活動内容を保育計画に取入れ、経験を重ねることにより全体の運動量を増やすことに繋がられた。又、集団活動の基礎となるルールの理解や他児への思いやりを伝え、今後も継続していく。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設の役割を地域に繋げる活動行う | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちや育児に関わる内容を園外掲示板を利用し発信してきたが、その反応は把握する方法はないが、今後も継続していく予定である。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|------|-----|----|-----|
| 感染症 | インフルエンザ | 50 名 | 手足口病 | 4 名 | 水痘 | 3 名 |
|-----|---------|------|------|-----|----|-----|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 8 名 | 内単品 | 4 名 | 内複合 | 4 名 | エピペン対応 | 1 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|----|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|----|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|--|---|--|---|---|
| 体育 | 24 回 | | 回 | | 回 | 他 |
|----|------|--|---|--|---|---|

5. 家庭支援

個人面談において家庭での様子を伺うことができるが、他児との関わり方や年齢における発達状況を気にされる保護者が多くなっている。他児との比較で差を感じてしまうようで、クラス懇談会では幅を持たせた発達状況や傾向を伝え、特に気になる保護者については、個別に保育参観(見学)勧め、必要に応じて心理士に繋げるようにした。

6. 第三者評価、保護者評価

近隣で傷害事件が度重なり、安全対策についての意見が多く聞かれた。園庭門の工事やフェンスの取替え工事を実施、約2か月間は一時的に設置した門を利用していたことで不安感を与えてしまったが、12月より園庭門等がオートロックとなり、全ての時間帯が施錠されたことにより問題を解決することができた。

7. 第三者評価、職員評価

事務的な作業の量と取り組める時間のバランスや休憩時間の設定を全職員が平等に取れるよう改善が必要である。残務整理における超過勤務考え方を明確にしても、解決には繋がっていないのが現状である。全体な考え方を把握し、意思疎通や協力関係を更に築くことが今後の課題としていきたい。

8. 第三者評価を受けて

アンケートを実施することにより様々な意見を伺うことができ、子どもや保護者にとって何が必要かが課題として明確になり、改善に繋げることができる。又、職員の言葉では伝えられない思いや考え方を把握することで問題点を把握し、連携を図っていく。保護者、職員の要望や意見をまとめ「何をいつまでに行うか」を翌年の課題とする。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 28名 | 32名 | 32名 | 33名 | 33名 | 31名 | 30名 | 29名 | 28名 | 28名 | 28名 | 29名 | 361名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 18日 | 20日 | 21日 | 19日 | 17日 | 17日 | 19日 | 18日 | 17日 | 17日 | 17日 | 15日 | ##日 |
| | 20名 | 28名 | 23名 | 23名 | 20名 | 18名 | 26名 | 26名 | 30名 | 28名 | 31名 | 27名 | 300名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 22回 | 参加人数 | 242名 | 親子体操・運動遊び・製作活動・リトミック 等 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 2名 | 1名 | 2名 | 5名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 1名 | 2名 | 0名 | 3名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・多動傾向 ・暴力 ・集団への拒否傾向 | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 1名 | 0名 | 1名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 1名 | 1名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・育児困難 ・虐待 ・ | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 42名 | 65名 | 24名 | 22名 | 21名 | 174名 |
| | 女 | 34名 | 36名 | 27名 | 20名 | 23名 | 140名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 23名 | 195名 | 39名 | 37名 | 20名 | 314名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 43件 | 38件 | 68件 | 22件 | 31件 | 32件 | 18件 | 22件 | 11件 | 11件 | 9件 | 9件 | 314名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 園内において転倒や園児同士がぶつかる事例が多く、その要因として保育室や廊下を走ってしまう事を確認。職員会議において基本的な統一の約束「園内は走らない」ことを徹底するようにした。その後、件数が減少傾向になった。 |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | | |
|---|---------------|---|--|
| 1 | 10月23日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 11:00 | パラバルーン実施中、バランスを崩し転倒。床に顔面をぶつけ、冷却し経過を見ていたが、徐々に右目瞼の周辺が青くなり通院した。 | |
| | 年齢 4歳 性別 男 | 実施前に持ち方や姿勢をの声掛け、実施中の全体把握を徹底することを確認した。 | |
| 2 | 11月5日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 16:00 | 室内を走り、本棚にぶつかり転倒。右肘に強い痛みの訴えがあり、冷却し通院した。「走らない」約束を再確認し、常に職員の声掛けを徹底することを確認した。 | |
| | 年齢 3歳 性別 女 | | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 3校 | 5名 | 3校 | 8名 | 1回 | 1名 |

13. 一年を振り返り

保育計画は全年齢が繋がりが持てるよう2年間をかけ実施してきたことにより、1歳から卒園までの内容を整えることができた。繋がりのある保育の大切さを保育士が理解を深め、全体の取り組みを把握することで職員間の連携が図れるようになった。保育態勢については、これまでのクラスリーダー制から学年リーダー制に変更したことにより、各学年ごとの保育内容が整うようになり、計画性のある保育が展開できた。

保護者より保育に対する職員への率直な意見を全体で把握し、子どもへの接し方、適切な言葉づかい等の確認を行い、意識の改善に努めた。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 認可定員 | 17 人 | 20 人 | 25 人 | 27 人 | 27 人 | 116 人 |
| 運用定員 | 22 人 | 22 人 | 24 人 | 24 人 | 25 人 | 117 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 10 人 12 人 | 8 人 14 人 | 11 人 13 人 | 14 人 10 人 | 16 人 9 人 | 59 人 58 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・生命の保持 ・情緒の安定 | <ul style="list-style-type: none"> ・清潔で安全な環境を整える為、常に保育室をまわり掃除がされているか、危険箇所はないか等見て回る事で、環境が整ってきた。 ・語彙力を学び声掛けを工夫し子供との信頼関係を築いた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・育みたい資質・能力 ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 | <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がけや関わり方を常に意識し、子どもとの信頼関係を築く中で子供が主体的に言葉を交わせるように心がけた。日々の生活を通しのびのび育っている様子が感じられた。 ・目標を年度末に話し、育ちを確認、共有した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実 ・地域交流活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームへ訪問し、歌を唄うなどの交流を通し地域との関わりや、公園ボランティアの参加で花壇の花植など経験を通し、子ども達の社会に繋がっている。 ・小学校との交流を行い、就学への準備活動を実施できた。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|--------|------|---------|------|--------|------|
| 感染症 | 溶連菌感染症 | 58 名 | インフルエンザ | 22 名 | 感染性胃腸炎 | 13 名 |
|-----|--------|------|---------|------|--------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 3 名 | 内単品 | 2 名 | 内複合 | 1 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 2 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|-----|------|----|------|---|
| 体操 | 12 回 | 和太鼓 | 19 回 | 英語 | 12 回 | 他 |
|----|------|-----|------|----|------|---|

5. 家庭支援

登園、降園時、保護者との関わりを大切に声を掛けるなどしてコミュニケーションをとるよう心がけ信頼関係を築くようにした。個人面談、保育参観、保護者会だけでなく保護者の育児相談には柔軟に対応し不安を解決していける場となった。子ども達が楽しく園生活を送る事で、保護者の安心に繋がった。

6. 第三者評価、保護者評価

先生方がいつも笑顔で園が明るく感じる。又、他クラスの先生も声を掛けてくれたり相談にのってくれてありがたいと思うという評価の反面、言葉づかいが乱暴だという意見もあり、語彙力を学び今後活かしていく。職員紹介の写真と名前が知りたいとの声が数件あり新たに作成し紹介した。

7. 第三者評価、職員評価

保育室全体の雰囲気良く先生同士がそれぞれの性格を理解しコミュニケーションがとれている。また経験の浅い職員が多い中、お互いに考え相談しながら保育を行った。しかし、保育力の強化は必要である。さまざまな角度からの研修に参加し保育に活かしていけるとよい。研修で学んだことや子どもの姿について全体で共有する十分な時間を作ることが課題になっている。

8. 第三者評価を受けて

結果を職員全員で共有する。良い評価に対しては引き続きおこない、要望、苦情に関しては改善していけるように意識を持って行動していく。保育士間の雰囲気は良いので継続していけるよう毎月のリーダー会議を通して気になる事や改善すべきことは常に話し合いを通し解決していく。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 11名 | 12名 | 13名 | 16名 | 15名 | 16名 | 14名 | 13名 | 14名 | 15名 | 16名 | 16名 | 171名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 8日 | 18日 | 19日 | 17日 | 9日 | 6日 | 11日 | 16日 | 13日 | 14日 | 12日 | 12日 | ##日 |
| | 14名 | 28名 | 35名 | 34名 | 14名 | 12名 | 21名 | 30名 | 21名 | 23名 | 19名 | 18名 | 269名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 24回 | 参加人数 | 321名 | 季節に合わせた製作作り。新聞紙遊び、小麦粉粘土、園庭遊び、巧技台遊び等。在園児と一緒に人形劇を鑑賞。 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 1名 | 0名 | 2名 | 2名 | 4名 | 9名 |
| | 女 | 2名 | 0名 | 1名 | 0名 | 2名 | 5名 |

| | |
|--|--|
| 主だった主訴 | |
| ・衝動的、多動的な行動、落ち着きなく離席退出。気持ちの切り替えに時間が掛る。 | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31. 3. 31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 2名 | 1名 | 1名 | 4名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 1名 | 0名 | 0名 | 1名 |

| | |
|--------------------------------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・発達相談に定期的実施、言語相談に行つて摂食指導、訪問指導に定期的通所。 | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 54名 | 13名 | 33名 | 10名 | 3名 | 113名 |
| | 女 | 49名 | 11名 | 26名 | 5名 | 7名 | 98名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 43名 | 121名 | 2名 | 21名 | 24名 | 211名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 16件 | 14件 | 14件 | 16件 | 19件 | 33件 | 16件 | 22件 | 12件 | 22件 | 13件 | 14件 | 211名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 乳児クラスでは、友達との関わりの中で嘔みつき、ひっかきが目立った。環境構成や職員配置を見直した。一年を通して多かったのが9月である。遊具を使用する際の転倒、敷物がはがれから、引っかかり転倒等環境面での配慮に欠けていた。遊具の使い方を再度伝え、敷物はテープを貼るなどして補強し、保育室の危険箇所、職員体制の見直しを行い改善した。 |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | | |
|---|---------------|---|--|
| 1 | 11月1日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 10:00 | 自由遊びの時、お友達が振り回した指が目の中に入ってしまった、赤い斑点(出血)ができて通院した。症状は自然に治るのを待つとの事で1回の通院でした。環境構成を見直し子ども達には、落ち着いて遊べるよう声を掛けるなどして改善した。 | |
| | 年齢 3歳 性別 男 | | |
| 2 | 11月7日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 15:15 | おやつの時、ふざけて椅子に座り転倒したところ、机の角に目じりをぶつけ裂傷し通院した。椅子の座り方や食事のマナーを伝えた。又、事前に防げるよう危険と気づいた時は保育士が声を掛ける等、早め早めの対応を心掛け改善していく。 | |
| | 年齢 3歳 性別 男 | | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 5校 | 5名 | 4校 | 13名 | 0回 | 0名 |

13. 一年を振り返り

園の雰囲気が良いことが、子ども達に良い影響となり、のびのびと保育園生活を送れていると感じている。保護者主体の役員会も安定して活動して下さり保護者と共に子ども達の為の活動が良い方向に進んでいる。引き続き、保護者の気持ちを常に感じとり関わっていききたい。各クラス、リーダー会議を通し、良いことも問題点もその都度話し合いを重ねてきた。その結果少しずつではあるが良い方向に変化が見られ成果を感じている。職員からの相談には柔軟に対応し面談を行った。リーダー層の先生に動いてもらい解決の方向で対応し職員の育成に努めた。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 18 人 | 26 人 | 30 人 | 31 人 | 31 人 | 136 人 |
| 運用定員 | 18 人 | 26 人 | 30 人 | 31 人 | 31 人 | 136 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 10 人 8 人 | 12 人 14 人 | 19 人 11 人 | 10 人 21 人 | 16 人 15 人 | 67 人 69 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|------------------------|--|
| ・子ども一人ひとりに丁寧に関わる保育に努める | ・個々の成長や健康状態に合わせて生活できるように、対応を考えた。特に外国籍の子どもに対して安心して保育園で過ごせるよう配慮、生活面全般の発達の遅れが見られる乳児に対しても丁寧に関わり成長を保護者と共に喜んだ。 |
| ・子ども主体の遊びの充実に努める | ・体を動かす遊びを積極的に保育に取り入れ、遊具の準備や環境を整えた。縄跳びや竹馬、こままわしに加えて、わくわくデーで剣玉名人に来てもらうことで興味関心が向き、集中し遊びこめる姿が観られた。 |
| ・子育て家庭及び地域との連携を図る | ・朝夕のコミュニケーションを第一に、保護者会や個人面談参観など子どもの成長を共に考えるよう心がけた。地域の方々を招いてオカリナの演奏や観劇等行い沢山の参加者があり、地域の中での保育園の役割を改めて感じた。 |

3. 養護 (H30年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|-----|------|-----|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 51 名 | 溶連菌 | 27 名 | 胃腸炎 | 17 名 |
|-----|---------|------|-----|------|-----|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 3 名 | 内単品 | 2 名 | 内複合 | 1 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不審者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育 (教室事業) (H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|----|-----|-----|-----|-----------|
| 体操 | 12 回 | 英語 | 4 回 | リズム | 5 回 | 他 素話よみきかせ |
|----|------|----|-----|-----|-----|-----------|

5. 家庭支援

家庭の実態を踏まえ保護者を理解し、子どもの成長を共に喜ぶことで、子育てに自信をもてるよう支援した。外国籍、発達課題を持つ家庭や、地域性もあるのか保護者自身の疾病やDV等、個別の支援をプライバシーを尊重しながら行うことが多かった。地域の家庭には子育てひろば、保育所体験など多数の参加があった。

6. 第三者評価、保護者評価

朝夕に声を掛けて積極的に調査に参加してもらうことからのスタートではあるが、回収率も年々わずかだが上がってきている。総合的に満足との評価、特に園の清掃、園庭や園外での遊び、異年齢の遊び、園全体の職員の雰囲気感謝や高評価を得た反面、保護者への対応や、保護者理解に対する意見もあった。

7. 第三者評価、職員評価

組織内のコミュニケーションや相互理解、働きやすさ、保護者との関係について特に良いと職員が感じており、保育実践の工夫についても積極的に行おうとしている。しかし、書類作成や業務を計画的に遂行するところでは改善したいという意見があった。

8. 第三者評価を受けて

リーダー層だけでなく一般の職員層にも、情報の共有や保護者対応、地域への支援などの課題に対する解決意欲も見えてきたので、各自目標をしっかりと持ち意識を高め、チームとして全員で問題解決に臨んでいきたい。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|------|
| 延長 保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 8名 | 9名 | 9名 | 8名 | 9名 | 10名 | 7名 | 7名 | 8名 | 10名 | 10名 | 9名 | 104名 |
| 一時 保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 19回 | 参加人数 | 253名 | ホール、園庭遊び。親子でクラスに入り保育園の生活を知ってもらおう。保護者同士の語らいの時間、在園児との関わりを持つ。 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 1名 | 1名 | 1名 | 3名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | |
|-----------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・ダウン症 ・ ・ | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども(H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 1名 | 1名 | 0名 | 0名 | 0名 | 2名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | |
|--------------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・養育困難 ・要保護 ・ | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 35名 | 62名 | 43名 | 17名 | 25名 | 182名 |
| | 女 | 10名 | 43名 | 12名 | 23名 | 4名 | 92名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 33名 | 189名 | 18名 | 53名 | 4名 | 297名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 26件 | 32件 | 27件 | 22件 | 32件 | 25件 | 27件 | 33件 | 21件 | 15件 | 19件 | 18件 | 297名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 階段手すりにまたがった園児がいたことから落下防止の為、階段手すりに木製の突起物をつけた。 出会いがしらの衝突や廊下での怪我をなくす為、マークや観葉植物を置くなど環境から予防した。 合同保育の怪我をなくすため、職員の配置や体制を検討した。 |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | | |
|---|----------|---|--|
| 1 | 4月10日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 10:30 | 口論の末、他児の振り上げた鉛筆で右目下を切る。皮膚科にてテープを貼る治療。 | |
| | 年齢 5歳 | 合同保育の際の遊びが落ち着いて出来るよう話し合い、体制や職員配置を改善した。 | |
| | 性別 男児 | | |
| 2 | 3月22日 | 通院等事故内容改善点 | |
| | 時間 9:00 | 散歩の際、列をつめる為走り転倒。片手しか地面につかなかった為、おでこを打つ。青く晴れ上がり受診。散歩での歩き方など会議にて確認し、並ぶ順や歩幅を考え手をつなぐペアなど留意点を話し合った。 | |
| | 年齢 3歳 | | |
| | 性別 女児 | | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 3校 | 5名 | 2校 | 5名 | 8回 | 11名 |

13. 一年を振り返り

重点目標に対し職員が同じ思いで保育に向かえるよう話し合いを重ね、柔軟に対応し保育を行った。安全対策については施設の整備として外灯、防犯カメラを設置し、数年計画で行った保育室の机や椅子の購入も全クラス終了した。ICT化に関わる作業では試行錯誤し、少しずつスムーズに稼働するようになってきた。職員の努力を評価したい。職員の育成については、法人の研修、外部研修に参加し、園内で共有し自主的に学び合えるよう実施してきたが、チーム全体の力量には十分とは言えず、より保育の実践面での自己研鑽が必要といえる。今後も各々得意分野を活かして心も体も元気な子どもと保育士、選ばれる園をめざして保育実践を行っていききたい。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 20 人 | 23 人 | 28 人 | 29 人 | 29 人 | 129 人 |
| 運用定員 | 24 人 | 25 人 | 28 人 | 29 人 | 29 人 | 135 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 15 人 9 人 | 10 人 15 人 | 17 人 11 人 | 19 人 10 人 | 17 人 12 人 | 78 人 57 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が健康で安全に過ごし、生理的欲求が十分に満たされ快適に生活出来るようにする。 育ちを巡る環境の変化を踏まえた乳児保育を手厚く行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の状況に応じ保育するために、個々をしっかりと把握し思いを受け止め、生活習慣の自立を支援した。 子どもの育ちに欠かせない家庭環境や生活のリズムを把握し、安心して過ごせるように自己肯定感を育めるような言葉かけや接し方に配慮しながら保育を進めた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 戸外活動を重視し、幼児の主体的な遊びを中心にし教育を実践し養護と教育を一体的に行う。 専門講師と連携し、日々の保育の中で継続して特色を生かす。 | <ul style="list-style-type: none"> 天気の良い日には積極的に戸外での活動を取り入れ、四季の変化や自然物との触れ合い、地域交流を目的とした子ども達が主体的に活動出来るように、環境設定に努めた。 リズム、英語、心理の講師の方と連携を図り、保育士と一緒に日々の保育中で特色ある保育活動の展開を図った。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 保育園と保護者相互の信頼関係を基盤に保護者支援を行う。 子育て支援に関する地域との連携を図り、充実した支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者との信頼関係作りを大切に、コミュニケーションを図るように努めた。子ども達の様子をブログやクラスノートなどを活用し、知らせることにより基盤作りになった。 子育て広場や地域のふれあいまつりなどに参加し、在園児以外の家庭支援を行ったところ利用者の増加がみられた。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

| | | | | | | | |
|-------------|---------|------|--------|------|---------|-------------|-----|
| 健康・病気 | | | | | | (年間上位3件他) | |
| 感染症 | インフルエンザ | 82 名 | 感染性胃腸炎 | 37 名 | ヘルパンギーナ | 44 名 | |
| 給食・アレルギー | | | | | | (2019年3月実数) | |
| アレルギー児 | 12 名 | 内単品 | 10 名 | 内複合 | 2 名 | エピペン対応 | 0 名 |
| | | | | | | エピペン使用回数 | 0 回 |
| 危機管理(防災・防犯) | | | | | | | |
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 |
| | | | | | | 不審者訓練 | 1 回 |

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | | |
|----|------|-----|------|----|------|---|---------|
| 英語 | 21 回 | リズム | 24 回 | 体育 | 24 回 | 他 | 臨床心理士巡回 |
|----|------|-----|------|----|------|---|---------|

5. 家庭支援

保護者との信頼関係の構築に力を入れ、コミュニケーションをとることに園全体として取り組んだ。また、保護者の話に耳を傾け、それぞれの家庭の状況に応じて育児の軽減が図れるようにした。担任クラス以外の職員でも園児の状況が解るようにし、全職員で全園児を見守り育てていくようにした。

6. 第三者評価、保護者評価

全体的に保護者の満足度は高かったが、安全管理の中で防犯の部分で心配であるという意見も多かった。また、第三者の苦情窓口があることも知らないという保護者が多かった。

7. 第三者評価、職員評価

職員間の信頼関係が出来ている、助け合いや相談がしやすいなどの意見が多かった反面、行事の負担感や書類の軽減を図りたい。すべてが電子化して不便であるという意見もあった。

8. 第三者評価を受けて

防犯上の問題については、登降園時は開錠していた電気施錠を常時施錠し、その都度開錠してもらうように保護者会で説明。2019年4月1日より実施。
職員から、良い部分は継続し、書類の電子化に関しては法人統一部分もあるために職員には説明し同意を求め、行事に関しては保育指針を踏まえ、都度行事の在り方を職員と話し合い進める。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長 保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 29名 | 29名 | 28名 | 29名 | 28名 | 29名 | 29名 | 29名 | 28名 | 27名 | 27名 | 28名 | 340名 |
| 一時 保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 23回 | 参加人数 | 591名 | 園庭遊び、水遊び、巧技台遊び、製作、食育講話、ベビーマッサージ、行事への参加など | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 4名 | 5名 | 5名 | 14名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| |
|--------------------|
| 主だった主訴 |
| ・ADHD ・自閉症、発達遅滞 |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 3名 | 1名 | 4名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| |
|-------------------------|
| 主だった主訴 |
| ・ダウン症 ・発達遅滞 ・ADHD |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 99名 | 39名 | 37名 | 33名 | 48名 | 256名 |
| | 女 | 58名 | 28名 | 25名 | 20名 | 26名 | 157名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 124名 | 194名 | 86名 | 21名 | 14名 | 439名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 42件 | 49件 | 32件 | 34件 | 21件 | 25件 | 36件 | 38件 | 38件 | 37件 | 42件 | 45件 | 439名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 子どもの発達段階や状況に応じて、職員の立ち位置や園外活動において引率の仕方を再度見直した。 |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|----------------|--|
| 1 | 7月30日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 9:30 | プール後の着替えの際に滑って転倒し、保育室内の棚におでこをぶつけた。 |
| | 年齢 1歳 性別 女児 | 床が濡れていたことも原因の一つと考えられるため、常に乾拭きすることの徹底と、保育士の立ち位置の再確認をした。 |
| 2 | 10月31日 | |
| | 時間 11:00 | 食事前の手洗いの際に園児が四つん這いになって歩いていた際に滑り歯をぶつけた。 |
| | 年齢 1歳 性別 男児 | 部屋の中の過ごし方を担任間でも話し合い、少人数つづ異動出来るように保育の流れを再確認した。 |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 4校 | 6名 | 3校 | 15名 | 7回 | 7名 |

13. 一年を振り返り

保育経験の少ない職員も多く、会議や研修を重ねてスキルアップを図れるようにした。また、職員間の情報の共有と気づきを大切に、家と園との双方で子どもの育ちを見守るようにした。保育園での子どもたちの様子を知ることが安心や園への信頼へとつながるので、ブログやクラスノートなどのツールを活用し出来るだけ園の状況を発信することを心掛けた。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 認可定員 | 24 人 | 25 人 | 27 人 | 27 人 | 26 人 | 129 人 |
| 運用定員 | 26 人 | 26 人 | 27 人 | 27 人 | 26 人 | 132 人 |
| 過不足 | 人 | 人 | 1 人 | 人 | 人 | 1 人 |
| 男女児 | 9 人 17 人 | 17 人 9 人 | 16 人 10 人 | 16 人 11 人 | 13 人 13 人 | 118 人 122 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な生活環境を作る。 身近な人に親しみが持てるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 室内外の環境の整備、清掃を心掛けた。今後工夫する。 園全体で子どもを見守る意識を持ち、安心にも繋がっている。意識したコミュニケーションを図っていききたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 子ども自らの気付きを大切にす 豊かな感性を育む。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に活動する事を意識した結果、一呼吸置いて子どもに話し掛けたり、子どもの気持ちに寄り添うようになって来ている。今後は小学校を見据え、発達に応じた保育の取り組みを意識していききたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 保護者の気持ちを受け止めながら、一緒に子どもを見守り、成長の喜びを共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> 園での様子が見えるよう、職員がクラスでの活動を写真で掲示する等、工夫した。降園時写真を見ながら、親子で園での活動を話す姿が見られた。次年度は保護者が保育に参加出来るような企画をしていききたい。 |

3. 養護 (H30年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|------|-----|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 30 名 | 伝染性紅斑 | 25 名 | 胃腸炎 | 16 名 |
|-----|---------|------|-------|------|-----|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 11 名 | 内单品 | 8 名 | 内複合 | 3 名 | エピペン対応 | 1 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不審者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育 (教室事業) (H30年度のべ数)

| | | | | |
|------|------|------|------|-----|
| 体育遊び | 23 回 | 英語遊び | 23 回 | 回 他 |
|------|------|------|------|-----|

5. 家庭支援

通常の面談の他、希望される方は心理士による相談を行った。個別の支援が必要な子どもは、関連機関とも連絡、連携を図った。保護者会では保護者同士が声を交わす時間を設け、年齢ごとの子どもの姿や園で意図的に行っている等伝えた。特に初めてのお子さんを持つ保護者の方は分からない事や不安が有り、保護者会がコミュニケーションの場となったようだ。

6. 第三者評価、保護者評価

駅から近く、自然の多い環境、職員の人柄等全体的に満足との評価を得ている。一方で子育てに関して相談したいが登降園時は話しづらい等の声もあり、日頃より意識的に保護者の方に声を掛け、個別に対応していききたい。また、行事等の連絡をもう少し早目に出して欲しいとの声もあるので、対応していききたい。

7. 第三者評価、職員評価

職員の関係性が良好であると感じられた。今後は会議の場でも活発に意見交換出来るような工夫を職員と共に考えていききたい。アンケートの回答に有給が取りやすいとの声がある一方、残業の申請がしづらいと感じている意見があり、打ち合わせ等が時間内でできるように考慮し、仕事の進み具合がどうか声を掛け、必要に応じて申請するようにしていききたい。

8. 第三者評価を受けて

一人ひとりのご意見の中で、保護者会等の全体の話だけでなく、保護者の方と個別に話をしながら思いを汲んだり、伝えたりする必要性を感じた。引き続き、園での活動を伝えていくと共に、保護者の方の気持ちに寄り添うよう、心掛けた。また、今後も職員の関係性を活かし過ごしやすい環境を作っていきたい。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 17名 | 18名 | 18名 | 19名 | 19名 | 18名 | 16名 | 18名 | 20名 | 20名 | 21名 | 21名 | 225名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 14日 | 14日 | 21日 | 20日 | 23日 | 18日 | 19日 | 16日 | 12日 | 13日 | 18日 | 15日 | 203日 |
| | 26名 | 26名 | 32名 | 33名 | 45名 | 33名 | 32名 | 29名 | 26名 | 23名 | 35名 | 29名 | 369名 |

| | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|---|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験（年間のべ） | | | | 具体的な内容 | | | |
| 実施回数 | 23回 | 参加人数 | 291名 | ・プール開放 ・運動遊び ・制作 ・ふれあい遊び ・散歩 ・お店屋さんごっこ ・アスレチック遊び | | | |

8. 気になる子ども（年間延べ人数）

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 1名 | 1名 | 1名 | 3名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| |
|----------------------|
| 主だった主訴 |
| ・自閉症スペクトラム ・発達の遅れ |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども（H31.3.31現在）

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| |
|--------|
| 主だった主訴 |
| |

10. ヒヤリハット（園児）（年間延べ人数）

| | | | | | | | |
|----|-----|------|------|------|------|------|------|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 154名 | 109名 | 139名 | 233名 | 129名 | 764名 |
| | 女 | 146名 | 57名 | 30名 | 44名 | 89名 | 366名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 37名 | 999名 | 39名 | 55名 | 0名 | 1130名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 72件 | 65件 | 59件 | 91件 | 102件 | 89件 | 118件 | 104件 | 72件 | 97件 | 72件 | 81件 | 1022名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 子ども同士のトラブルに関して、子どもの導線や職員の配置環境の見直しを行った。環境では子どもが集中して遊び込めるような玩具を増やし、コーナーごとに置く玩具を調整した。 1歳児クラスは水道前での転倒が多く見られたので、床が濡れていないよう、雑巾を常に置き、こまめに拭く事で転倒を防いでいった。 |
|------------------|---|

11. 事故報告（主だったもの）

| | | |
|---|---------------|--|
| 1 | 5月16日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 9:20 | 床の上にあった玩具を掴もうとして玩具に手を付く。体重が掛かった為、玩具が滑り転倒。床に口をぶつけ上唇帯を切る。転倒する恐れがあることを頭に入れ、子どもに手が届く位置で見守るように心掛けた。 |
| | 年齢 1歳 性別 女 | |
| 2 | 11月9日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 9:10 | 線路に電車を走らせていたが、進行方向の違いで喧嘩になり鼻上引っ搔かれる。電車で遊ぶ人数が多かったため、他の遊びに誘ったり、側に付き怪我の防止に努めた。 |
| | 年齢 2歳 性別 男 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 6校 | 7名 | 1校 | 3名 | 10回 | 3名 |

13. 一年を振り返り

リーダー職員を中心として、意見を交わすようになった。意見を出し合うには、日頃から保育について考え、学ぶ姿勢がないと話し合いとして成立しない。知識に基づいた経験が、子どもの健やかな成長や保護者の方の安心に繋がると改めて感じた。今後も園内外の研修を通してスキルアップを図ると共に、マニュアルを整備し共通の認識を持って保育していきたい。また、第三者評価を通じて保護者の方が関わりを求めていると感じたので、意識的に声を掛けていきたい。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 認可定員 | 16 人 | 23 人 | 25 人 | 27 人 | 27 人 | 118 人 |
| 運用定員 | 20 人 | 23 人 | 25 人 | 25 人 | 25 人 | 118 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 10 人 10 人 | 8 人 15 人 | 15 人 10 人 | 15 人 10 人 | 14 人 10 人 | 107 人 107 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ニヤリホット、ヒヤリハット報告からの気づきを増やし、日々の保育の質の向上(きめ細やかな保育)と危機管理に繋げていく | <ul style="list-style-type: none"> 危険に対する予測や意識向上だけでなく、子ども一人ひとりの発達へも目を向ける機会となった。また、個人では気付かない事も他の話を聞くことで、自身に置き換え考え、職員間で考え方を共有する機会となった。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもを第一に考え、心を動かす遊びや様々な体験が出来る保育を展開し、新たな能力を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育の中で子ども達の発達を意識した遊びに目を向け、保育士一人ひとりが保育のアイデアを出し合い、子ども達の遊びが広がった。また職員同士互いに認め合う機会となった。今後も子ども達が主体的に遊ぶ保育を行う。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 地域の子育て家庭の相談、育児のアイデアの提供の場となるよう子育て広場を充実させ、相談しやすい環境を整えていく | <ul style="list-style-type: none"> 子育てひろばでの在園児との触れ合い遊びの充実を図り、楽しむ事で同じ年齢児の発達を知る機会となった。園での生活を身近に感じ、生活習慣等の相談も増えた。保育士自身も研修で得た知識を活かし充実を図っていききたい。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|--------|------|-----------|------|---------|------|
| 感染症 | 感染性胃腸炎 | 28 名 | インフルエンザA型 | 21 名 | ヘルパンギーナ | 20 名 |
|-----|--------|------|-----------|------|---------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|---|----------|---|
| アレルギー児 | 5 名 | 内単品 | 4 名 | 内複合 | 1 名 | エピペン対応 | 名 | エピペン使用回数 | 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|---|----------|---|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 13 回 | 通報訓練 | 6 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | |
|------|------|------|------|---|---|
| 英語遊び | 22 回 | 体育遊び | 12 回 | 回 | 他 |
|------|------|------|------|---|---|

5. 家庭支援

保護者会時に年齢に応じた子ども達の発達の話や、保護者同士で子育ての悩みを共有しながら相談し合える場を作り行った。保護者同士のコミュニケーションの場となり、現状にある問題に対し、一緒に考えアドバイスし合い、良い機会になった。また、園としてもクラスの様子を伝えながらも、園児個々の理解に繋がり、保護者もクラス全体の成長を見守るの機会となった。

6. 第三者評価、保護者評価

園での活動や身近な自然との関わり、体調変化の対応は評価が高かった。特に戸外での遊びでは自然に触れる機会が多くあると評価を受けた。しかし登降園での声掛けで、一方的な声掛けが多く、また質問等において確認してからの返事が多いとあった。全体での報告、相談、連絡を密にし、職員一人一人が責任を持って返答が出来る様に心掛けていきたい。

7. 第三者評価、職員評価

何でも相談できるという意見が多く、チームとしての仕事を意識し話し合いを進めた。また、ICT化により書類作成等時間短縮に繋がっているとの事。その反面、超過勤務申請のしづらさが有り仕事の取り組みや経験、計画に立て方、時間意識の違い等もあり、職員間での仕事としての意識改革も必要となっている。

8. 第三者評価を受けて

結果をふまえて、報告、連絡、相談の大切を改めて感じた職員が多かった。また、保護者対応として登降園時の声のかけ方等、相手側に立ち、知らせる配慮を行っていくことを、再確認できた。また、今後も限られた時間を有効的に使い、メリハリある働き方を心掛けながら、子ども達の目線に立った主体的な保育を行っていききたいと思う。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 22名 | 22名 | 23名 | 23名 | 22名 | 23名 | 22名 | 23名 | 23名 | 23名 | 25名 | 24名 | 275名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 23回 | 参加人数 | 56名 | ・園庭にて在園児との触れ合い遊び ・ホールにて巧技台を使つてのサーキット遊び ・夏祭り、お月見等行事制作 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 0名 | 1名 | 0名 | 1名 | 1名 | 3名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| |
|------------|
| 主だった主訴 |
| ・自閉症スペクトラム |
| ・ |
| ・ |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| |
|--------|
| 主だった主訴 |
| ・ |
| ・ |
| ・ |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|------|------|------|------|------|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 61名 | 125名 | 110名 | 146名 | 131名 | 573名 |
| | 女 | 39名 | 59名 | 73名 | 72名 | 52名 | 295名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 45名 | 700名 | 101名 | 21名 | 1名 | 868名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 72件 | 56件 | 45件 | 61件 | 93件 | 85件 | 102件 | 83件 | 68件 | 62件 | 64件 | 77件 | 868名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 室内遊びの中で物を持つての転倒や他児との衝突等が多いことが分かった。朝終礼や会議にて予防を行い、環境に目を向け、机や椅子の配置、子ども達の発達によって、動きが異なる事等に注意していけるよう話し合いを持つことが出来た。その他として、発達に課題のある子どもの行動により怪我に繋がりそうになる事が多く発生している。対象児の動きの対応を、全職員にて共通認識した。 |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 11月16日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 11:00 | 園庭遊び中に追いかけてっこをしている際、後方から追いかけた他児に押され、前方にいた他児と接触転倒。下唇と前上歯を打ち通院。子ども達へのルール確認や開始前の準備運動等、園児の行動予測をした保育展開や準備を行うようにした。 |
| | 年齢 4歳 性別 男 | |
| 2 | 11月19日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10:30 | 園庭遊びにてホッピングを行っていたところ、バランスを崩し転倒した。その際、近くに合った鉄柱に後頭部を打ち裂傷となり通院。遊具の使い方や園児の行動を予測した安全確認の仕方等、全職員で話し合いをし再確認を行った。 |
| | 年齢 5歳 性別 女 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 6校 | 6名 | 3校 | 6名 | 0回 | 0名 |

13. 一年を振り返り

職員体制が変わり、職員間でのコミュニケーション作りとして話し合いの時間を取るよう心掛けた。職員同士、互いを知る機会となり、相談し易い雰囲気作りが出来た。また、体制が変わったことで、職員間において共通認識する為に様々な事に丁寧な説明が必要となり、今までの当たり前だった事を見直し、再確認する良い機会となった。また、チームとしての仕事の進め方について意識しながら、互いの意見を聞き、受け入れながら主張と受け入れのバランスが取れたチーム作りが出来る様、更なる話し合いの機会を作っていきたいと思う。また、保育の見直しを進め、主体的な保育への保育技術向上に向け、今後も全職員にて努力していきたいと思う。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 25 人 | 26 人 | 27 人 | 30 人 | 30 人 | 138 人 |
| 運用定員 | 25 人 | 26 人 | 27 人 | 30 人 | 30 人 | 138 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 13 人 12 人 | 11 人 15 人 | 5 人 22 人 | 18 人 12 人 | 20 人 10 人 | 67 人 71 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが安心して笑顔で過ごせる環境を大切にする。 安全で健やかな生活を心掛ける。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達に合わせた無理のない保育計画を作成、一人ひとりの成長を全職員、保護者とも共有した。感染症対策として嘔吐処理の園内研修や玩具の消毒、施設内を清潔に保てるよう努めた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 夢中になってあそべる環境、あそびの芽が大きく育つ工夫をする。 異年齢の関わりを通じて、あそびの深まりや広がりを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的に玩具や絵本の入れ替えを行い、子ども達が興味を持ってじっくり取り組める環境を意識した。散歩等で子ども達が見つけたり感じたことを製作等に繋げ、連続性のある保育を心掛けた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 保護者の思いに耳を傾け寄り添いながら、其々の就労と子育てを支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> 親の気持ちに寄り添い、育児の楽しさ喜びだけでなく、育児の不安や大変さに共感しながら、親が元気であることが子どもにとって大切なことと考えサポートした。 |

3. 養護 (H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|-----|---------|-----|
| 感染症 | インフルエンザ | 55 名 | 突発性発疹 | 9 名 | ヘルパンギーナ | 5 名 |
|-----|---------|------|-------|-----|---------|-----|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 5 名 | 内単品 | 4 名 | 内複合 | 1 名 | エピペン対応 | 1 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業) (H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|------|------|--|---|--|---|---|
| 体育指導 | 24 回 | | 回 | | 回 | 他 |
|------|------|--|---|--|---|---|

5. 家庭支援

育児の悩み等、其々の家庭状況に応じ相談に乗り、少しでも不安が解消されるように丁寧な対応を心掛けた。保護者会や園だよりを通して、子どもの様子を伝えた。降園時には一日の様子をもう少し聞きたいとの要望もあり、今後の課題として丁寧に伝えていきたい。

6. 第三者評価、保護者評価

園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っているという項目と提供される食事、おやつに関する項目の評価は高かったが、急な利用時間の変更や柔軟な対応、行事の日程(曜日など)に配慮が欲しいとの意見もあり、保護者対応の改善や行事の企画など職員と検討しながら工夫していく。

7. 第三者評価、職員評価

子どもの様々な表現を楽しめる様になっているという自己評価は100%。夢中になって遊べる環境作りや異年齢との関わりの中での育ちを大切にしてきた。職員の意識や日々の子ども達の様子から評価に繋がったと思う。研修等の機会が与えられているという項目も高い評価であった。今後も多くの研修に参加し職員のスキルアップに繋げ、日々の保育に活かしていきたい。

8. 第三者評価を受けて

結果を受けて、職員会議にて内容を共有した。子どもの気持ちを大切にしている、怪我をしたり体調が悪くなった時の職員の対応は信頼できる等の子どもに関わる評価は頂いている。保護者に対する柔軟な対応など評価結果を真摯に受けとめ今後の課題として、より一層保護者の気持ちに寄り添い柔軟な対応に心がけていきたい。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 25名 | 26名 | 25名 | 25名 | 27名 | 27名 | 25名 | 25名 | 25名 | 26名 | 26名 | 26名 | 308名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 16回 | 参加人数 | 381名 | <ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせて親子で楽しく遊ぼう 親子で一緒に制作を楽しもう 園庭で楽しく身体を動かそう | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 2名 | 1名 | 3名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| |
|--|
| 主だった主訴 |
| <ul style="list-style-type: none"> 発達遅滞 多動的傾向 衝動的行動 |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども(H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 1名 | 0名 | 1名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| |
|--|
| 主だった主訴 |
| <ul style="list-style-type: none"> 育児困難 虐待 |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|------|-----|-----|-----|------|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 126名 | 33名 | 24名 | 33名 | 139名 | 355名 |
| | 女 | 127名 | 26名 | 35名 | 25名 | 22名 | 235名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 19名 | 486名 | 11名 | 66名 | 8名 | 590名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 13件 | 12件 | 47件 | 63件 | 64件 | 48件 | 59件 | 52件 | 54件 | 61件 | 48件 | 69件 | 590名 |

| | |
|------------------|--|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | <p>乳児では噛みつきや棚にぶつけるなどの件数が多かった為、環境の見直しを行った。(玩具の配置、子どもの動線を考えた棚の設定)</p> <p>幼児では、園庭遊びでの約束事や注意すべき点を会議等を通じて職員で共有した。(鉄棒・太鼓橋では下にマットを敷く、ブランコを使用する際は白線を引くなど他の子ども達も安全に遊べる工夫)</p> |
|------------------|--|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|--------|--|
| 1 | 11月26日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10時 | ジャングルジムに上唇をぶつけ、上唇帯から出血し受診。上唇帯に傷を確認。塗り薬の処方あり。前歯等には異常無かった。園庭で遊ぶ時には見守れる範囲、使用する遊具についてクラス担任で相談する。 |
| | 年齢 1歳 | |
| 2 | 3月26日 | 手洗いの後、席に戻る際に小走りで行きテーブルの脚に左足を引っ掛け転倒。床に顔をぶつけ下唇を噛んだ。下の歯にぐらつきがある為受診。下の歯を固定した。落ち着いた環境を心掛け、走らず歩いて席に戻るように声をかけていく。 |
| | 時間 15時 | |
| | 年齢 2歳 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 6校 | 10名 | 3校 | 15名 | 2回 | 3名 |

13. 一年を振り返り

子ども達の”やってみよう!”という興味、関心の広がる活動や自由な発想が広がる関わりを大切にしてきた。今年度は、おたまじゃくしを飼育してカエルになるまでの成長を見守り、年長児がバケツ稲作りに挑戦した。稲が育つ様子を楽しみながら収穫を迎え、米は炊飯し、自分達で作った味噌で味噌汁を作り一緒に食べた。粃殻・稲藁、捨てることなく制作物に使用した。一粒の種粃から様々な活動に広がり興味を持って取り組んだ。メンター制度では、先輩保育士の継続した支援によって互いの理解が深まり相互支援的な関係が出来た。保護者からの意見や要望についてはその都度検討し応える努力をした。これからも課題である急な状況変更時の柔軟な対応について改善していく。

1. 利用定員(2019/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-------------|
| 認可定員 | 27 人 | 28 人 | 28 人 | 28 人 | 28 人 | 139 人 |
| 運用定員 | 27 人 | 28 人 | 28 人 | 28 人 | 28 人 | 139 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女 | 14 人 13 人 | 14 人 14 人 | 16 人 12 人 | 19 人 9 人 | 14 人 14 人 | 125 人 125 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 健康な身体づくり 安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> 体操や散歩等日常の習慣として意識的に機会を増やした。運動遊びは目標と期日を設定し、保護者へ行事を通して成果を伝えることが出来た。救命救急、プール、熱中症、感染症等園内研修で共通理解を深め危機管理意識を高めた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 挨拶 異年齢児交流の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 笑顔で挨拶を職員が今まで以上に意識をし、子どもに伝えることが出来た。その成果か、園内の雰囲気も良好に感じる。行事、散歩、日々の当番活動等を通し、異年齢児で関わる計画、実施。思いやりの気持ちは育っている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 保護者との良好な関係 | <ul style="list-style-type: none"> 「気軽に相談できる、意見を言える」関係作りに努めた。声を掛けてくれるので経緯や園の方針も伝えることが出来た。また園便りを活用し、園の考えを明確にし理解を深める様心掛けた。保護者会への参加率も高く関心がある。 |

3. 養護

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|-------|------|---------|------|--------|------|
| 感染症 | 伝染性紅斑 | 42 名 | インフルエンザ | 37 名 | 溶連菌感染症 | 19 名 |
|-----|-------|------|---------|------|--------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 11 名 | 内単品 | 6 名 | 内複合 | 4 名 | エピペン対応 | 1 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 2 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)

| | | | | |
|------|------|------|------|-----|
| 体操教室 | 24 回 | サッカー | 12 回 | 回 他 |
|------|------|------|------|-----|

5. 家庭支援

子育てひろばは毎回様々なプログラムを設定し、親子で楽しんで頂いた。在園児との関わりが持てる時間を確保し、園生活や年齢発達を理解できる様支援している。コミュニケーションの時間も用意しているので、母親同士の友達作り、保育士への相談も気軽に出来るよう配慮している。

6. 第三者評価、保護者評価

「先生が親しみ易くアットホーム」「問題に対する園の誠実な対応、細やかな通達が良く安心」などの意見有、職員間の関係の良さが園内の雰囲気として伝わっており、意見も言い易い環境であることを評価頂いた。反面、職員によっては連絡帳や帰りの伝達等の対応に差があり、日中の様子をもっと知りたいとの意見が目立った。また、工事についてのご意見が目立った。

7. 第三者評価、職員評価

「ICT導入で効率が上がり残業が減った」「助け合い進められている」「明るくチームとして和がある」と働き易い環境に満足の意見が多かった。スキルアップでは「園内研修等を全体で取り組み危機管理意識が高まった」「行事反省を活かし改善している」「保護者や地域の意見に迅速に対応している」など管理者の思いを感じてくれている。シフトが多いと改善の要望もあった。

8. 第三者評価を受けて

開園4年目にして保護者理解、園の方針の明確化、職員関係や仕事の進め方等積み重ね進めてきたことが評価として見えた。チームで共有出来る事も増えたが、全員に伝えきれていない事、細かな配慮が課題となった。門の改修工事に際しては業者との調整が思うように進まず、期間が伸びてしまった。園として出来る限りの努力をしたが、不安の声も多かった。2月には完了した。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 20名 | 23名 | 23名 | 25名 | 23名 | 22名 | 22名 | 23名 | 22名 | 23名 | 21名 | 21名 | 268名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----|------|------|-----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 19回 | 参加人数 | 176名 | 運動遊び・季節の製作・お話し会 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 名 | 名 | 2名 | 名 | 1名 | 3名 |
| | 女 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| |
|---------------------------|
| 主だった主訴 |
| ・自閉症スペクトラム障害 ・精神運動発達遅滞 |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども（年度末合計）

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 名 | 名 | 名 | 1名 | 名 | 1名 |
| | 女 名 | 1名 | 名 | 1名 | 1名 | 3名 |

| |
|--------------------------|
| 主だった主訴 |
| ・ネグレクト ・虐待 ・母子愛着不足 |

10. ヒヤリハット（園児）

| | | | | | | |
|----|-------|-----|-----|-----|-----|------|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 40名 | 48名 | 52名 | 22名 | 19名 | 181名 |
| | 女 40名 | 37名 | 39名 | 12名 | 5名 | 133名 |

| | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 |
| | 28名 | 217名 | 26名 | 42名 | 1名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 27件 | 18件 | 23件 | 32件 | 29件 | 16件 | 39件 | 24件 | 27件 | 21件 | 34件 | 24件 | 314名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 保育室の環境設定（コーナー設定）、各クラスの安全基準、玩具の見直し、アレルギー提供の確認方法と職員の位置を都度行った。 |
|------------------|---|

11. 事故報告（主だったもの）

| | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 2月18日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 11:00 | 公園にて鬼ごっこをしている時にトイレ（建物の角・タイル）の壁にぶつかる。右額を切創。止血をして病院で処置。傷口を縫合（3針）消毒し3週間通院した。公園で遊ぶ時の約束（建物の裏側にはいかない等）を改めて伝え、職員の配置位置もお互いに確認した。 |
| | 年齢 5歳 性別 男 | |
| 2 | 7月13日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 11:30 | プール活動中、友だちとぶつかりその反動でプールの壁に頭部を打ち、舌を噛み裂傷。通院し、消毒。ゲーム中だった為、気持ちが高揚していた。監視の職員は全体を把握し、危険を事前に察知できるよう神経を注いで注視する。楽しみながらも、危険を伴うことを事前に伝え、人数の制限などを設ける。 |
| | 年齢 5歳 性別 男 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 7校 | 11名 | 3校 | 11名 | 1回 | 1名 |

13. 一年を振り返り

一人一人が子どもに丁寧に関わり、保育の工夫、危機管理意識などスキルアップしてきた。職員の気付きが、園全体の協力体制や連携に影響を与え保護者が感じるように、職員関係の良さが園の雰囲気を作っている。お互いに助け合い、有休や休憩取得等職場環境の改善に繋がった。駐輪場の設置や通用門工事等ハード面の整備は時間を要したが、安全な利用、地域住民との関係等の面で改善できた。熱中症、プール事故、感染症等は迅速に園内研修やマニュアルの見直しが出来、共通理解のもと、子どもたちを守ることが出来た。職員の連携の重要性を改めて感じた1年であった。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 認可定員 | 19 人 | 21 人 | 25 人 | 26 人 | 26 人 | 117 人 |
| 運用定員 | 19 人 | 21 人 | 25 人 | 26 人 | 26 人 | 117 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 9 人 10 人 | 16 人 5 人 | 15 人 10 人 | 10 人 16 人 | 14 人 12 人 | 64 人 53 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 安全管理 環境 | <ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中で清掃、消毒を徹底し、感染症に対応した。怪我、事故等に関しては、ヒヤリハット報告により検証する事で、大きな怪我は無かった。年齢に応じた玩具等を職員で話し合い導入した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 保育の資質向上 組織力の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 乳児、幼児会議で、発達の研修等を行い遊びの展開や年齢に合った玩具選び主体性をどのように持たせるか等全体会議にて話し合った。 報告、連絡、相談の基本をバイザー方式で行った。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 地域子育て 近隣地域の交流 | <ul style="list-style-type: none"> 園のブログの配信や掲示版掲示で、子育てひろばに参加する子育て世代が参加昨年より増加した。 地域連合会や近隣施設の訪問により施設のブログ等に子ども達様子を紹介や町会の方々と交流が出来た。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|------|------|--------|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 52 名 | 手足口病 | 27 名 | 溶連菌感染症 | 10 名 |
|-----|---------|------|------|------|--------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 4 名 | 内単品 | 4 名 | 内複合 | 0 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|------|------|--------|------|--|--|-----|
| 相撲体操 | 11 回 | 英語でダンス | 24 回 | | | 回 他 |
|------|------|--------|------|--|--|-----|

5. 家庭支援

子育てひろばへの参加者が、入園希望と言う事で保育内容や保育士の対応等を観に来ることが多く、一層責任を実感した。在園児保護者が生活のストレスが溜まってしまふとの事で声掛けをし事務所に寄り話を聞きストレス解消の場となっている。

6. 第三者評価、保護者評価

園での保育活動での取り組みや、雰囲気への評価は高かったが、職員の伝達不足や、急な仕事での登園やお迎えが遅れる際等の対応を柔軟にしてほしいという意見、防犯を不安に思う自由意見が多かった。保護者からの伝達を確実に伝える方法、仕事が休みの際の登園やお迎えの対応については、職員間で共通の対応出来るよう改善。防犯については保護者へ説明し、安心に繋げる

7. 第三者評価、職員評価

休憩有休が取れること、職員同士の人間関係の良さから、保育実践の場として穏やかな気持ちで保育出来る、働きやすさを感じている職員が多かった。子どもに対しても優しい気持ちで対応出来ていると感じる。担任だけでなく他クラスとも連携を取り相談し合いたい、会議で活発な議論がない等、より一層保育の質向上を目指す意見もあり、環境を整え、質の向上に努める。

8. 第三者評価を受けて

保護者の評価や職員の評価を受け、全体的に見えていない部分もありご意見に対して真摯に受け改善できる所は、改善し職員の組織に対しての想いを無駄にすることない働き方を目指したい。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 16名 | 16名 | 16名 | 16名 | 16名 | 16名 | 14名 | 14名 | 14名 | 14名 | 14名 | 15名 | 181名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験（年間のべ） | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 24回 | 参加人数 | 140名 | 園庭遊び・ホール遊び（巧技台等）・室内遊び（触れ合い遊び等）・季節の製作・水遊び・クリスマス会・ひな祭り会 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども（年間延べ人数）

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 1名 | 1名 | 0名 | 0名 | 2名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 1名 | 0名 | 1名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・発達の遅れ ・自閉傾向（集団の中に入れない） ・ | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども（H31. 3. 31現在）

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ | |

10. ヒヤリハット（園児）（年間延べ人数）

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 29名 | 54名 | 24名 | 21名 | 23名 | 148名 |
| | 女 | 29名 | 10名 | 10名 | 14名 | 11名 | 74名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 8名 | 174名 | 8名 | 35名 | 1名 | 226名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 18件 | 18件 | 18件 | 24件 | 20件 | 16件 | 22件 | 13件 | 18件 | 21件 | 21件 | 17件 | 226名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 乳児クラスの噛みつき、引っ掻きが目立つ。又、乳幼児共に段差や障害物によるつまずき、転倒、夏の時期はプールサイドで滑って転倒する内容が多かった。噛みつき等は、子どもの発達を十分に理解した環境設定を行い、保育士が側に付くことで未然に防げるようにした。又、遊ぶ場所の点検や段差等の声かけをこまめに行い、特にプール時は、約束事の共通理解や保育士の配置等を話し合い見直しを行った。 |
|------------------|---|

11. 事故報告（主だったもの）

| | | |
|---|---------------|--|
| 1 | 10月30日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 16:30 | 床に落ちていたおままごとのお皿を踏み転倒。側にあったテーブルにぶつかり右眼目尻を切り出血し通院。2針縫合。担任との引継ぎの時、子どもから目を離さない。又、環境設定を見直し、転倒を防ぐ為玩具等が床に落ちていない状態にする。 |
| | 年齢 1歳 性別 男 | |
| 2 | 1月4日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10:30 | 園庭にて羽根つきをしていた際、他児が持っていた羽子板が左目尻にあたる。擦り傷になり出血、通院。羽根つき等玩具を使う際には他児との間隔をあける等環境を整え、玩具の扱い方を子ども達に分かりやすく説明した。 |
| | 年齢 3歳 性別 男 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 2校 | 2名 | 2校 | 83名 | 5回 | 2名 |

13. 一年を振り返り

保育の資質の向上を目標に挙げ徐々ではあるが、保育指針に沿って（園内研修を行い）年齢や発達自発的に行えるような環境を話し合い実生活の中にもどのように生かしていくかをグループ事に話し合えるようになって来た。職員同士が、当たり前の事だが、相手の事を思い、事を運びコミュニケーションを上手に図っていた。近隣地域の交流は、美術館館長や町会の方々のお世話になる事もあったが、近隣のリハビリホーム等に訪問し交流を図れるように計画を立てるようにしたい。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|----------|-----------|----------|----------|-----------|
| 認可定員 | 22 人 | 23 人 | 23 人 | 23 人 | 23 人 | 114 人 |
| 運用定員 | 22 人 | 23 人 | 23 人 | 23 人 | 21 人 | 112 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 2 人 | 2 人 |
| 男女児 | 7 人 15 人 | 17 人 6 人 | 13 人 10 人 | 9 人 14 人 | 12 人 9 人 | 58 人 54 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|---|--|
| ・子ども一人一人の発達を把握し、個々の状態に合わせた保育を進めていく。子どもにとって安心して遊べる環境づくりの徹底を図る。 | ・会議の中で子ども達の状態を全職員が把握し保育を進める事ができた。安全面においては子ども同士の突発的なトラブル（引っ掻いたり、叩いたり等）の危険予測を更に身に付けていく必要性を感じる。 |
| ・体育遊びの実践 | ・体育遊びを通して体力（特に持久力）や精神面（意欲等）が身に付き体育以外でも、積極的に動く姿が家庭内においても見られる様になったとご意見もあり保護者の方からの支持も頂いた。 |
| ・子育てひろば、保育所体験の実施 | ・毎月1回の子育てひろばを実施し少しずつではあるが参加者が増え、その中で保護者同士の関わりが深まったり、子育てに関する悩み等の相談があったりと良い雰囲気の中で進める事ができた。 |

3. 養護 (H30年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|--------|------|---------|------|
| 感染症 | インフルエンザ | 41 名 | 感染性胃腸炎 | 18 名 | ヘルパンギーナ | 17 名 |
|-----|---------|------|--------|------|---------|------|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 5 名 | 内単品 | 3 名 | 内複合 | 2 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 12 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不審者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育 (教室事業) (H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|----|------|--|---|--|---|---|
| 英語 | 12 回 | | 回 | | 回 | 他 |
|----|------|--|---|--|---|---|

5. 家庭支援

急な残業等であらかじめ決められた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれ助かるというご意見を多く頂く。子どもの子育てや悩み等があった場合は状況によって関係機関へつなげ、家庭と保育の対応が一緒になるようしっかりと話し合いを設け進める事ができた。その際、十分に保護者の気持ちを十分に配慮し言葉に注意しながら進められた。

6. 第三者評価、保護者評価

開園3年が経ち、総合評価は毎年上がっているが、他児とのトラブルや擦り傷等の小さな怪我に対して保護者へ報告する際、職員間の伝達ミスや翌日対応、時系列を迫った説明（処置等も含）などが不十分もあり、保護者からのご指摘を頂き全職員で改善点を話し合い保育を進めた。

7. 第三者評価、職員評価

全園児を全職員で保育していく姿勢は情報を細目に共有していく事でより深まってきた。また、職員間のまとまりや共通した処遇で保育ができるようになってきた。物腰が柔らかく穏やかで優しい職員達が、多くチームワークが良い。お互いに「気配り」や配慮を行い保育を進めている。

8. 第三者評価を受けて

総体的には高い評価は頂いているが、今回の結果を踏まえて昨年度と比較して評価が低い部分や低くなった部分については、全職員で何故低くなったかの原因考え、それに対しての改善点等を話し合い保護者会の中で伝え保育を進めた。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 10名 | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|-----|-------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 12回 | 参加人数 | 57名 | 季節行事の製作・園庭及びホール遊び | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 1名 | 1名 | 1名 | 1名 | 4名 |
| | 女 | 0名 | 1名 | 0名 | 0名 | 0名 | 1名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・発達遅滞 ・注意欠陥多動障害の疑い | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31. 3. 31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 1名 | 1名 |
| | 女 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害 | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 11名 | 28名 | 22名 | 14名 | 22名 | 97名 |
| | 女 | 12名 | 8名 | 11名 | 17名 | 8名 | 56名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 6名 | 103名 | 26名 | 18名 | 0名 | 153名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 28件 | 21件 | 23件 | 18件 | 5件 | 7件 | 10件 | 12件 | 7件 | 9件 | 5件 | 8件 | 153名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 他児との遊びの中でのトラブルが多く、各クラスの中でヒヤリハットや問題点等が出た場合、職員会議の中で他クラスの職員からの助言や解決案等を出し合いそれを参考とし進めていく。また、次の会議の中で中間報告を行い更なる改善を図った。また、テーブル等の角にはクッション等の補修を行った。 |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|----------|--|
| 1 | 12月26日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10:00 | 室内遊び中、遊具を持って移動し転倒。テーブルに左唇ぶつけ裂傷。整形外科へ通院。テーブルの角等をクッションで補修。 |
| | 年齢 2歳 | |
| | 性別 男 | |
| 2 | 月 日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 | |
| | 年齢 歳 | |
| | 性別 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 4校 | 10名 | 2校 | 6名 | 2回 | 2名 |

13. 一年を振り返り

総体的に園児達も保護者も職員も当園の基本方針をはじめ保育目標や保育の進め方や行事等において地に足をつけ安定的に進められるようになってきた。地域や関係機関とのつながりも良好な関係を持ち進めている。また、職員については、多くの職員が会議や話し合いに参加し、朝礼で「保育目標」を唱和したり「業務テスト」を実施した事で当園の必要最小限度の知識を身に付け共通認識が持てるようになってきた。しかし、保育士一人一人の保育の質の向上(保護者への会話術や園児をまとめる力、根拠のある保育)は更なる努力が必要であると共に働き方改革の中で権利を主張する事により、人との関わりや温かさが薄くなった様に感じた。

1. 利用定員(H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|----------|----------|----------|-----------|-------------|
| 認可定員 | 15 人 | 23 人 | 24 人 | 25 人 | 26 人 | 113 人 |
| 運用定員 | 15 人 | 23 人 | 25 人 | 25 人 | 26 人 | 114 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 男女児 | 12 人 3 人 | 7 人 16 人 | 15 人 9 人 | 16 人 9 人 | 13 人 13 人 | 100 人 101 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門性の強化 ・安心、安全な環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・保育経験者は多いが、保育指針改訂に伴う認識が十分であり、読み込みの不足がある、今後も課題としていきたい。 ・不審者対応研修、警察署への見学を通し職員、園児共々認識が深まった事は評価できる点できた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢の発達を十分に理解し、就学へと繋げていく | <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢の遊具を十分に見直し、遊び方も改善できたことは評価したい。 ・一年ごとの一人ひとりの成長を職員が把握し、目標や成果を理解し行事などに活かせることは評価したい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援の充実 ・近隣地域との交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の区施設で、支援ステーションがあり、そこで子育てひろばを開催していることもあり、参加人数が少ない。保育所体験を充実させることにより、保護者に保育園のあり方を理解して頂けるよう工夫していきたい。 |

3. 養護(H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|-----|-----|-------|-----|
| 感染症 | インフルエンザ | 12 名 | 溶連菌 | 7 名 | 伝染性紅斑 | 2 名 |
|-----|---------|------|-----|-----|-------|-----|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|---|----------|---|
| アレルギー児 | 5 名 | 内単品 | 4 名 | 内複合 | 1 名 | エピペン対応 | 名 | エピペン使用回数 | 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|---|----------|---|

危機管理(防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 1 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|-----|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業)(H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|--|---|--|---|--|---|---|
| | 回 | | 回 | | 回 | 他 |
|--|---|--|---|--|---|---|

5. 家庭支援

・長期にわたる無断欠席があり、電話連絡がとれない為家庭訪問をしたり、支援課に報告、相談している。

6. 第三者評価、保護者評価

・園内の清潔さ、子どもの怪我対応、そして園での活動が心身の発達に役立っているなど、高く評価されている。しかし職員の態度、言葉遣いに関して少々、昨年より低くなっているのを改善したい。

7. 第三者評価、職員評価

・子ども一人ひとりに向き合った保育を進め、利用者のニーズに応じた保育をしている点に自信を持っている。又、研修にも積極的に参加し、意識を高めようと自覚している。働きやすい職場は改善できている。

8. 第三者評価を受けて

・今回は利用者アンケートのみだが、昨年度より高く評価された点、低くなった点を職員全員で共有し、改善していきたい。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 9名 | 9名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 11名 | 11名 | 120名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|-----|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 14回 | 参加人数 | 97名 | | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 名 | 1名 | 1名 | 2名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | |
|----------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・ダウン症 ・発達遅滞 | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |
| | 女 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | |
|-------------|--|
| 主だった主訴 | |
| ・ ・ ・ | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
| 人数 | 男 | 97名 | 39名 | 37名 | 20名 | 35名 | 228名 |
| | 女 | 39名 | 54名 | 8名 | 15名 | 22名 | 138名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| | ~9:00 | ~12:00 | ~15:00 | ~18:00 | ~19:30 | 合計 |
| 時間 | 27名 | 235名 | 17名 | 85名 | 2名 | 366名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 11件 | 18件 | 33件 | 22件 | 27件 | 70件 | 47件 | 19件 | 38件 | 34件 | 22件 | 25件 | 366名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | 室内を走り回ってぶつかったり、ボールや玩具などの取り合いで、怪我に繋がりがねないヒヤリハットが多かった。遊び方のルールや、順番を守ることなど、しっかり身に付けるように改善したい。 |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|----------------|---|
| 1 | 4月12日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 10:00 | 進級したばかりであったが、散歩に出掛け、歩道を歩いている際に転倒し、すぐに手をつくことが出来ず、点字ブロックに額を打ち通院した。止血しその後消毒に通った。散歩の開始が、早すぎたため、まだ落ち着かなかったと思われる。 |
| | 年齢 5歳 性別 男児 | |
| 2 | 10月18日 | 園周辺を散歩中、歩道で転倒し眉間を強く打った。すぐに園医に行き見て頂く。その後通院はしなかったが、かなりの腫れであった。散歩中、友達と手を繋いだことで顔から転んでしまった。歩き方をしっかり身に付けていきたい。 |
| | 時間 10:25 | |
| | 年齢 3歳 性別 男児 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 2校 | 4名 | 2校 | 6名 | 回 | 名 |

13. 一年を振り返り

職員一人一人は職務にも慣れ、共通理解をもって保育にあたっている。しかしながら、チームワークと言う点で相手を思いやることや、協力していこうとすることに欠けている。努力次第でもう少しレベルアップできたのではないかと思う。退職者もなく新採もいなかったのが2年目として、北小岩おひさま保育園の目指す理念が課題である。

1. 利用定員 (H31/3/31現在)

| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|------|----------|-----------|----------|----------|-----------|------------|
| 認可定員 | 20 人 | 23 人 | 24 人 | 24 人 | 24 人 | 115 人 |
| 運用定員 | 20 人 | 23 人 | 21 人 | 20 人 | 22 人 | 106 人 |
| 過不足 | 0 人 | 0 人 | 3 人 | 4 人 | 2 人 | 9 人 |
| 男女児 | 6 人 14 人 | 12 人 11 人 | 12 人 9 人 | 8 人 12 人 | 11 人 11 人 | 95 人 100 人 |

2. 重点目標

| 重点目標 | 評価・反省 |
|--|---|
| ・一人ひとりを大切にしながら、保育園生活が安心、快適に過ごせるようにするよう環境を整える | ・一人ひとりの状況を各会議で細やかに伝達を行ない、職員が共通認識を持って接することで子どもの気持ちの安定を図るように努めた。特に配慮が必要な子に関しては、クラス担任を中心に取り組んだ。 |
| ・体力向上 ・保育の工夫 | ・ラジオ体操を毎朝行い習慣づいてきた。保育の中で、各クラスが意識しリズム、運動遊びなどを組み込み体力向上に努めた。生活や遊びの環境を整え子どもたちが過ごしやすくじっくりと遊びを楽しめるように取り組んだ。 |
| ・在園保護者との信頼関係の構築 | ・各家庭の状況をしっかりと引き継ぐことで必要に応じた細やかな対応や必要な援助を行うことができたように感じる。特に個別支援が必要な保護者に対しては職員が同じ意識を持ち接してきた。 |

3. 養護 (H31年度のべ数)

健康・病気

(年間上位3件他)

| | | | | | | |
|-----|---------|------|--------|------|------|-----|
| 感染症 | インフルエンザ | 46 名 | 感染性胃腸炎 | 21 名 | 手足口病 | 8 名 |
|-----|---------|------|--------|------|------|-----|

給食・アレルギー

(2019年3月実数)

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|
| アレルギー児 | 6 名 | 内単品 | 4 名 | 内複合 | 2 名 | エピペン対応 | 0 名 | エピペン使用回数 | 0 回 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|----------|-----|

危機管理 (防災・防犯)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|-----|
| 防災訓練 | 12 回 | 通報訓練 | 12 回 | 消火訓練 | 12 回 | 引取り訓練 | 1 回 | 不信者訓練 | 1 回 |
|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|-----|

4. 教育(教室事業) (H31年度のべ数)

| | | | | | | |
|--|---|--|---|--|---|---|
| | 回 | | 回 | | 回 | 他 |
|--|---|--|---|--|---|---|

5. 家庭支援

民営化1年目ということもあり引き継いだ内容を職員間で丁寧に共有し対応できるように心掛けた。希望があれば個別の面談を随時行い、気持ちに寄り添うことで親子共々安心して過ごせるように配慮をした。個別支援が必要な家庭も増えてきているので、話を十分に聞き職員が同じ対応が出来るように情報共有を行っていく。

6. 第三者評価、保護者評価

園庭周囲の柵に関して、心配な声が多く挙がっていたため、江戸川区、法人事務局に相談し早急に改善を行った。どの職員も担任以外の子どもでも丁寧に対応している姿があり、安心するとの声もある反面、お迎えの際に挨拶がない、何も話してくれないという意見も頂いたので、挨拶をしっかりと行うこと、出来るだけひとこと伝えられるように意識できるように周知した。

7. 第三者評価、職員評価

職員一人ひとりが子どもや保育の事を丁寧に引継ぎ、子どもに向き合う保育を行っている。保育や取組みの中で細やかに話し合う機会や職員同士の連携が必要と感じた。各種会議のみではなく、日頃から様々な話や検討が出来るような環境を作れるよう改善をしていく。

8. 第三者評価を受けて

結果を職員で共有し、良い点は継続、さらに伸ばしていけるよう取り組み、意見や要望については丁寧に見直し出来ることから改善できるように取り組んでいく。特に子どもの接し方や向き合い方については良い評価も多かったのも、一人ひとりの気持ちに寄り添った保育を大切にしていきたい。お迎え時の子どもの様子の伝達については出来るだけ丁寧に丁寧に行なうよう周知した。

7. 延長保育（登録人数）・一時保育（のべ利用人数）・子育てひろば利用実績（自主事業）

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 延長保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 4名 | 4名 | 6名 | 8名 | 8名 | 8名 | 8名 | 8名 | 8名 | 9名 | 9名 | 9名 | 89名 |
| 一時保育 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 0日 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 0名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|------|------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 子育てひろば、保育所体験(年間のべ) | | | | 具体的な内容 | | | | | | | | | |
| 実施回数 | 10回 | 参加人数 | 115名 | 運動遊び、新年お楽しみ会、節分、新聞紙遊び、おひな祭り会、園庭遊び、制作遊び、 | | | | | | | | | |

8. 気になる子ども(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 名 | 1名 | 2名 | 名 | 名 | 3名 |
| | 女 | 名 | 1名 | 名 | 1名 | 1名 | 3名 |

| | |
|---|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症スペクトラム、軽度知的がい ・自閉症中度発達障がい ・多動傾向 | |

9. 支援センター、児童相談所に係る子ども (H31.3.31現在)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 名 | 1名 | 名 | 1名 | 名 | 2名 |
| | 女 | 1名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 1名 |

| | |
|--|--|
| 主だった主訴 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の精神不安 ・育児支援 | |

10. ヒヤリハット(園児)(年間延べ人数)

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 人数 | 男 | 18名 | 28名 | 10名 | 12名 | 5名 | 73名 |
| | 女 | 18名 | 10名 | 7名 | 7名 | 3名 | 45名 |

| | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 時間 | ～9:00 | ～12:00 | ～15:00 | ～18:00 | ～19:30 | 合計 |
| | 5名 | 86名 | 16名 | 9名 | 2名 | 118名 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 発生時期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 7件 | 3件 | 8件 | 14件 | 15件 | 14件 | 12件 | 12件 | 13件 | 8件 | 4件 | 8件 | 118名 |

| | |
|------------------|---|
| ヒヤリハットを通して改善したこと | <ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた玩具の見直し、破損箇所の点検 ・職員の立ち位置を確認 ・使用していた椅子の取りやめ ・柵ではなく、登ってもよい功技台などの環境設定 等 |
|------------------|---|

11. 事故報告(主だったもの)

| | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 4月17日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 午前中 | ゴムチップ上にあるすべり台と砂場の間を歩行中に転倒しすべり台縁石に額をぶつけ出血と痣が出来た。冷却し通院。テープ止めにて処置。縁石が鋭角であったので、業者依頼し研磨し角を削ると共に、ゴムチップの上は走らないことの徹底。 |
| | 年齢 2歳 性別 女 | |
| 2 | 6月19日 | 通院等事故内容改善点 |
| | 時間 午前中 | 木登りを行い降りるときに手を滑らせ、着地の際に肘と顎を地面にぶつけ、出血、裂傷。流水で洗い通院し消毒処置。職員の援助の仕方について再度確認し周知した。 |
| | 年齢 3歳 性別 男 | |

12. 実習・ボランティア

| | | | | | |
|------|------|--------|------|--------|------|
| 実習 | | 学生職業体験 | | ボランティア | |
| 受入校数 | 受入人数 | 受入校数 | 受入人数 | 実施回数 | 受入人数 |
| 3校 | 3名 | 0校 | 0名 | 5回 | 11名 |

13. 一年を振り返り

延長保育は、利用登録人数が定員に達することはなかった。気になる子については引継ぎ中より申し送りを大切にしながら、家庭と連携を図りながら職員も同じように援助できるよう取り組んでいった。開園初年度のため、実習生の受け入れ、ボランティアの受け入れなどは少ないが、11月より取り組んだ子育てひろばに関しては予想人数を上回りたくさんの方に遊びに来ていただけたと感じる。周知方法を確認しながら地域に根差した保育園になるよう目指していく。職員の資質向上については個人研修計画を作成し希望研修に参加できるように調整、研修報告会を行い、共通認識を持ち、資質向上に努めていった。今後も個々の研修計画を作成し個々、職員全体の知識向上に繋げていく。

平成30年度報告資料

1. 定員等

| No. | 拠点名 | 認可定員 | | | | 運用定員 | H31.3現在 | | | | 保育標準時間 | | | | 在籍割合 | | | | | | |
|-----|--------------|------------|-----|-------|-------|-------|---------|-----|-------|-------|--------|-----|------|-----|-------|-------|------|----|-----|-----|-------|
| | | 在籍児童数(年度末) | | | | | 在籍割合 | | | | 保育短時間 | | | | 在籍割合 | | | | | | |
| | | 1.2歳 | 3歳 | 4.5歳 | 計 | | 1.2歳 | 3歳 | 4.5歳 | 計 | 1.2歳 | 3歳 | 4.5歳 | 計 | 1.2歳 | 3歳 | 4.5歳 | 計 | | | |
| 1 | 葛西 おひさま保育園 | 44 | 35 | 70 | 149 | 149 | 44 | 35 | 67 | 146 | 98.0% | 35 | 29 | 66 | 130 | 89.0% | 9 | 6 | 1 | 16 | 11.0% |
| 2 | 新堀 おひさま保育園 | 43 | 23 | 46 | 112 | 112 | 43 | 21 | 44 | 108 | 96.4% | 38 | 16 | 39 | 93 | 86.1% | 5 | 5 | 5 | 15 | 13.9% |
| 3 | 東小松川 おひさま保育園 | 30 | 22 | 48 | 100 | 111 | 38 | 23 | 47 | 108 | 108.0% | 33 | 17 | 38 | 88 | 81.5% | 5 | 6 | 9 | 20 | 18.5% |
| 4 | 鹿骨 おひさま保育園 | 54 | 31 | 65 | 150 | 150 | 58 | 30 | 62 | 150 | 100.0% | 49 | 22 | 52 | 123 | 82.0% | 9 | 8 | 10 | 27 | 18.0% |
| 5 | 北葛西 おひさま保育園 | 51 | 31 | 62 | 144 | 144 | 50 | 31 | 62 | 143 | 99.3% | 48 | 30 | 56 | 134 | 93.7% | 2 | 1 | 6 | 9 | 6.3% |
| 6 | 葛西第二 おひさま保育園 | 45 | 26 | 53 | 124 | 124 | 45 | 26 | 53 | 124 | 100.0% | 36 | 21 | 44 | 101 | 81.5% | 9 | 5 | 9 | 23 | 18.5% |
| 7 | 春江 おひさま保育園 | 51 | 34 | 72 | 157 | 157 | 51 | 31 | 70 | 152 | 96.8% | 46 | 26 | 54 | 126 | 82.9% | 5 | 5 | 16 | 26 | 17.1% |
| 8 | 東小岩 おひさま保育園 | 37 | 24 | 52 | 113 | 115 | 43 | 24 | 48 | 115 | 101.8% | 36 | 23 | 40 | 99 | 86.1% | 7 | 1 | 8 | 16 | 13.9% |
| 9 | 西篠崎 おひさま保育園 | 43 | 25 | 52 | 120 | 122 | 44 | 26 | 52 | 122 | 101.7% | 41 | 25 | 46 | 112 | 91.8% | 3 | 1 | 6 | 10 | 8.2% |
| 10 | 西小岩 おひさま保育園 | 57 | 35 | 73 | 165 | 165 | 58 | 35 | 71 | 164 | 99.4% | 46 | 30 | 62 | 138 | 84.1% | 12 | 5 | 9 | 26 | 15.9% |
| 11 | 松江 おひさま保育園 | 37 | 25 | 54 | 116 | 116 | 44 | 24 | 49 | 117 | 100.9% | 41 | 19 | 45 | 105 | 89.7% | 3 | 5 | 4 | 12 | 10.3% |
| 12 | 松本 おひさま保育園 | 44 | 30 | 62 | 136 | 136 | 44 | 30 | 62 | 136 | 100.0% | 39 | 24 | 50 | 113 | 83.1% | 5 | 6 | 12 | 23 | 16.9% |
| 13 | 清新 おひさま保育園 | 43 | 28 | 58 | 129 | 135 | 49 | 28 | 58 | 135 | 104.7% | 48 | 25 | 53 | 126 | 93.3% | 1 | 3 | 5 | 9 | 6.7% |
| 14 | 小松川 おひさま保育園 | 49 | 27 | 53 | 129 | 132 | 52 | 26 | 53 | 131 | 101.6% | 43 | 21 | 43 | 107 | 81.7% | 9 | 5 | 10 | 24 | 18.3% |
| 15 | 南葛西 おひさま保育園 | 39 | 25 | 54 | 118 | 118 | 43 | 25 | 47 | 115 | 97.5% | 34 | 20 | 36 | 90 | 78.3% | 9 | 5 | 11 | 25 | 21.7% |
| 16 | 西葛西 おひさま保育園 | 51 | 27 | 60 | 138 | 138 | 51 | 27 | 60 | 138 | 100.0% | 45 | 25 | 54 | 124 | 89.9% | 6 | 2 | 6 | 14 | 10.1% |
| 17 | 中葛西 おひさま保育園 | 55 | 28 | 56 | 139 | 139 | 55 | 28 | 56 | 139 | 100.0% | 48 | 24 | 45 | 117 | 84.2% | 7 | 4 | 11 | 22 | 15.8% |
| 18 | 松島 おひさま保育園 | 40 | 25 | 52 | 117 | 117 | 40 | 25 | 52 | 117 | 100.0% | 36 | 23 | 48 | 107 | 91.5% | 4 | 2 | 4 | 10 | 8.5% |
| 19 | 清新第二 おひさま保育園 | 45 | 23 | 46 | 114 | 114 | 45 | 23 | 44 | 112 | 98.2% | 36 | 16 | 35 | 87 | 77.7% | 9 | 7 | 9 | 25 | 21.9% |
| 20 | 北小岩 おひさま保育園 | 38 | 25 | 51 | 114 | 114 | 38 | 25 | 51 | 114 | 100.0% | 32 | 22 | 42 | 96 | 84.2% | 6 | 3 | 9 | 18 | 15.8% |
| 21 | 南篠崎 おひさま保育園 | 43 | 24 | 48 | 115 | 110 | 43 | 21 | 42 | 106 | 92.2% | 38 | 16 | 32 | 86 | 81.1% | 5 | 5 | 10 | 20 | 18.9% |
| | 計 | 939 | 573 | 1,187 | 2,699 | 2,718 | 978 | 564 | 1,150 | 2,692 | 99.7% | 848 | 474 | 980 | 2,302 | 85.5% | 130 | 90 | 170 | 390 | 14.5% |

平成30年度報告資料

2. 延長保育

| 拠点名 | H31.3登録人数 | | | | | 全園 児比 率 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------|---------|----|------|----|---------------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | H31.3登録人数 | | | | | | 乳児 | 幼児 | 乳児 | 幼児 | 乳児 | 幼児 | 乳児 | 幼児 | 乳児 | 幼児 | 乳児 | 幼児 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4.5歳 | 計 | | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | 児 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 葛西 | おひさま保育園 | 2 | 7 | 5 | 15 | 29 | 19.9% | 8 | 20 | 6 | 19 | 8 | 20 | 7 | 19 | 7 | 20 | 8 | 20 | 9 | 20 | 9 | 20 | 9 | 20 | 9 | 20 | 9 | 20 | 9 | 20 | 9 | 20 | 9 | 20 | | |
| 2 | 新堀 | おひさま保育園 | 6 | 2 | 6 | 9 | 23 | 21.3% | 6 | 17 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 | 7 | 19 |
| 3 | 東小松川 | おひさま保育園 | 2 | 3 | 3 | 5 | 13 | 12.0% | 3 | 7 | 3 | 7 | 4 | 7 | 3 | 8 | 3 | 7 | 4 | 7 | 3 | 7 | 4 | 7 | 3 | 7 | 4 | 7 | 3 | 7 | 4 | 7 | 3 | 7 | 4 | 7 | 3 | 7 |
| 4 | 鹿骨 | おひさま保育園 | 4 | 4 | 4 | 8 | 20 | 13.3% | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 | 7 | 12 |
| 5 | 北葛西 | おひさま保育園 | 1 | 3 | 6 | 11 | 21 | 14.7% | 3 | 17 | 3 | 17 | 4 | 18 | 4 | 18 | 4 | 18 | 3 | 16 | 3 | 16 | 3 | 16 | 3 | 16 | 3 | 16 | 3 | 16 | 3 | 16 | 3 | 16 | 3 | 16 | 3 | 16 |
| 6 | 葛西第二 | おひさま保育園 | 2 | 1 | 4 | 8 | 15 | 12.1% | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 | 4 | 12 |
| 7 | 春江 | おひさま保育園 | 3 | 1 | 1 | 11 | 16 | 10.5% | 1 | 10 | 1 | 11 | 1 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 3 | 9 | 3 | 11 | 3 | 11 | 3 | 11 | 3 | 11 | 3 | 11 | 3 | 11 | 3 | 11 | 3 | 11 | 3 | 11 |
| 8 | 東小岩 | おひさま保育園 | 1 | 3 | 4 | 12 | 20 | 17.4% | 2 | 13 | 2 | 14 | 2 | 12 | 2 | 11 | 3 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 | 2 | 11 |
| 9 | 西篠崎 | おひさま保育園 | 1 | 1 | 6 | 6 | 21 | 17.2% | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 | 1 | 10 |
| 10 | 西小岩 | おひさま保育園 | 3 | 6 | 6 | 14 | 29 | 17.7% | 8 | 20 | 10 | 22 | 10 | 22 | 11 | 22 | 11 | 22 | 10 | 21 | 9 | 21 | 9 | 20 | 9 | 20 | 9 | 19 | 9 | 19 | 9 | 19 | 9 | 19 | 9 | 19 | 9 | 19 |
| 11 | 松江 | おひさま保育園 | 5 | 3 | 1 | 7 | 16 | 13.7% | 5 | 6 | 6 | 6 | 7 | 6 | 8 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 6 | 7 | 6 | 8 | 6 | 7 | 6 | 8 | 6 | 7 | 6 | 8 | 6 | 7 | 6 | 8 | 6 | 7 |
| 12 | 松本 | おひさま保育園 | 3 | 2 | 1 | 3 | 9 | 6.6% | 3 | 5 | 3 | 6 | 3 | 6 | 3 | 5 | 4 | 5 | 4 | 5 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | |
| 13 | 清新 | おひさま保育園 | 3 | 4 | 8 | 13 | 28 | 20.7% | 10 | 21 | 10 | 21 | 9 | 21 | 9 | 22 | 9 | 21 | 9 | 20 | 8 | 21 | 8 | 21 | 8 | 21 | 7 | 21 | 6 | 21 | 6 | 21 | 6 | 21 | 6 | 21 | 6 | 21 |
| 14 | 小松川 | おひさま保育園 | 4 | 4 | 6 | 7 | 21 | 16.0% | 6 | 11 | 6 | 12 | 6 | 12 | 6 | 13 | 6 | 13 | 6 | 12 | 6 | 10 | 7 | 11 | 7 | 13 | 7 | 13 | 7 | 13 | 7 | 13 | 7 | 13 | 7 | 13 | 7 | 13 |
| 15 | 南葛西 | おひさま保育園 | 5 | 2 | 5 | 12 | 24 | 20.9% | 6 | 16 | 6 | 16 | 7 | 16 | 7 | 16 | 7 | 15 | 7 | 16 | 7 | 15 | 7 | 16 | 7 | 16 | 7 | 16 | 7 | 16 | 7 | 16 | 7 | 16 | 7 | 16 | 7 | 16 |
| 16 | 西葛西 | おひさま保育園 | 5 | 4 | 5 | 12 | 26 | 18.8% | 8 | 17 | 9 | 17 | 9 | 16 | 9 | 16 | 10 | 17 | 10 | 17 | 9 | 16 | 9 | 16 | 9 | 16 | 9 | 16 | 9 | 16 | 9 | 16 | 9 | 16 | 9 | 16 | 9 | 16 |
| 17 | 中葛西 | おひさま保育園 | 4 | 1 | 8 | 8 | 21 | 15.1% | 4 | 16 | 5 | 18 | 5 | 18 | 6 | 19 | 4 | 19 | 4 | 18 | 4 | 18 | 5 | 18 | 5 | 17 | 6 | 17 | 6 | 17 | 6 | 17 | 6 | 17 | 6 | 17 | 6 | 17 |
| 18 | 松島 | おひさま保育園 | 2 | 1 | 5 | 7 | 15 | 12.8% | 3 | 13 | 3 | 13 | 3 | 13 | 3 | 13 | 3 | 13 | 3 | 13 | 2 | 12 | 2 | 12 | 2 | 12 | 2 | 12 | 2 | 12 | 2 | 12 | 2 | 12 | 2 | 12 | 2 | 12 |
| 19 | 清新第二 | おひさま保育園 | | 4 | 2 | 4 | 10 | 8.9% | 4 | 6 | 5 | 6 | 5 | 6 | 5 | 6 | 5 | 6 | 5 | 6 | 5 | 6 | 5 | 6 | 4 | 6 | 4 | 6 | 4 | 6 | 4 | 6 | 4 | 6 | 4 | 6 | 4 | 6 |
| 20 | 北小岩 | おひさま保育園 | 2 | 2 | 3 | 4 | 11 | 9.6% | 3 | 6 | 3 | 6 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 | 3 | 7 |
| 21 | 南篠崎 | おひさま保育園 | 1 | 1 | 1 | 6 | 9 | 8.5% | 1 | 3 | 1 | 3 | 1 | 3 | 1 | 5 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 |
| | 計 | | 58 | 58 | 89 | 176 | 381 | 14.2% | 354 | 368 | 378 | 385 | 387 | 380 | 364 | 374 | 374 | 384 | 377 | 374 | 364 | 374 | 374 | 384 | 377 | 374 | 384 | 377 | 384 | 377 | 384 | 377 | 384 | 377 | 384 | 377 | 382 | |

平成30年度報告資料

4. 子育てひろば、保育所体験

| 拠点名 | 子育て広場、保育所体験 実施回数 参加人数 | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 葛西 おひさま保育園 | 2 | 51 | 2 | 48 | 2 | 47 | 2 | 126 | 2 | 31 | 2 | 68 | 2 | 58 | 2 | 68 | 2 | 32 | 2 | 39 | 2 | 62 | 2 | 63 | 24 | 693 | |
| 2 新堀 おひさま保育園 | 2 | 13 | 2 | 13 | 2 | 19 | 2 | 24 | 2 | 12 | 2 | 22 | 2 | 10 | 2 | 24 | 1 | 20 | 1 | 14 | 2 | 32 | 2 | 8 | 22 | 211 | |
| 3 東小松川 おひさま保育園 | 2 | 23 | 2 | 30 | 2 | 20 | 2 | 28 | 1 | 5 | 2 | 12 | 2 | 42 | 1 | 2 | 1 | 4 | 1 | 24 | 1 | 14 | 1 | 15 | 18 | 219 | |
| 4 鹿骨 おひさま保育園 | 1 | 2 | 1 | 5 | 2 | 17 | 1 | 4 | 1 | 0 | 3 | 10 | 2 | 6 | 2 | 22 | 2 | 6 | 2 | 8 | 2 | 20 | 2 | 7 | 21 | 107 | |
| 5 北葛西 おひさま保育園 | 2 | 38 | 2 | 48 | 2 | 39 | 2 | 52 | 2 | 53 | 2 | 42 | 2 | 61 | 2 | 41 | 3 | 37 | 3 | 40 | 3 | 43 | 2 | 39 | 27 | 533 | |
| 6 葛西第二 おひさま保育園 | 1 | 8 | 2 | 6 | 2 | 5 | 2 | 16 | 1 | 8 | 2 | 9 | 2 | 12 | 2 | 9 | 2 | 7 | 2 | 13 | 2 | 8 | 2 | 18 | 22 | 119 | |
| 7 春江 おひさま保育園 | | | | 1 | 15 | 2 | 17 | 2 | 31 | 2 | 16 | 2 | 40 | 1 | 27 | 1 | 22 | 1 | 31 | 1 | 26 | 2 | 50 | | | 15 | 275 |
| 8 東小岩 おひさま保育園 | 2 | 4 | 2 | 8 | 2 | 8 | 3 | 26 | 2 | 13 | 2 | 37 | 3 | 62 | 2 | 13 | 2 | 12 | 2 | 8 | 2 | 9 | 2 | 10 | 26 | 210 | |
| 9 西篠崎 おひさま保育園 | 1 | 0 | 1 | 22 | 2 | 24 | 3 | 32 | 2 | 11 | 3 | 21 | 1 | 21 | 2 | 27 | 1 | 19 | 1 | 5 | 3 | 4 | 1 | 11 | 21 | 197 | |
| 10 西小岩 おひさま保育園 | 1 | 2 | 2 | 16 | 2 | 17 | 2 | 22 | 1 | 10 | 2 | 27 | 2 | 34 | 2 | 25 | 2 | 23 | 2 | 22 | 2 | 21 | 2 | 23 | 22 | 242 | |
| 11 松江 おひさま保育園 | 2 | 3 | 2 | 8 | 2 | 18 | 2 | 37 | 2 | 17 | 2 | 17 | 2 | 29 | 2 | 30 | 2 | 52 | 2 | 24 | 2 | 51 | 2 | 35 | 24 | 321 | |
| 12 松本 おひさま保育園 | 1 | 4 | 1 | 0 | 1 | 4 | | | | | 2 | 57 | 4 | 102 | 3 | 72 | | | 4 | 8 | 3 | 6 | | | 19 | 253 | |
| 13 清新 おひさま保育園 | 1 | 10 | 2 | 34 | 2 | 62 | 2 | 55 | 1 | 36 | 2 | 70 | 3 | 128 | 2 | 62 | | | 2 | 28 | 2 | 54 | 1 | 42 | 20 | 581 | |
| 14 小松川 おひさま保育園 | 1 | 5 | 2 | 14 | 2 | 18 | 3 | 25 | 1 | 16 | 2 | 35 | 3 | 41 | 2 | 48 | 2 | 41 | 2 | 15 | 2 | 31 | 1 | 2 | 23 | 291 | |
| 15 南葛西 おひさま保育園 | 2 | 5 | 2 | 0 | 2 | 3 | 2 | 7 | 2 | 2 | 2 | 4 | 2 | 16 | 2 | 7 | 2 | 6 | 2 | 3 | 2 | 3 | 1 | 0 | 23 | 56 | |
| 16 西葛西 おひさま保育園 | | | 2 | 24 | 2 | 49 | 2 | 49 | 1 | 23 | 1 | 26 | 1 | 44 | 1 | 38 | 2 | 38 | 2 | 38 | 2 | 30 | 1 | 22 | 16 | 381 | |
| 17 中葛西 おひさま保育園 | 1 | 0 | 2 | 51 | 2 | 40 | 2 | 42 | 2 | 12 | 2 | 44 | 2 | 46 | 2 | 40 | 2 | 19 | 2 | 54 | 2 | 32 | 2 | 24 | 23 | 404 | |
| 18 松島 おひさま保育園 | 2 | 1 | 2 | 7 | 2 | 10 | 2 | 13 | 2 | 5 | 2 | 14 | 2 | 22 | 2 | 7 | 2 | 16 | 2 | 13 | 2 | 17 | 2 | 15 | 24 | 140 | |
| 19 清新第二 おひさま保育園 | 1 | 1 | 1 | 5 | 1 | 3 | 1 | 4 | 1 | 4 | 1 | 6 | 1 | 12 | 1 | 1 | 1 | 9 | 1 | 1 | 1 | 7 | 1 | 4 | 12 | 57 | |
| 20 北小岩 おひさま保育園 | 2 | 6 | 1 | 2 | 2 | 8 | 1 | 10 | | | 2 | 25 | | | 2 | 14 | | | 2 | 20 | 2 | 12 | | | 14 | 97 | |
| 21 南篠崎 おひさま保育園 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 18 | 2 | 24 | 2 | 10 | 2 | 34 | 2 | 29 | 10 | 115 |

平成30年度報告資料

9. 職員

| 拠点名 | 正規職員(人) | | | | | | | | | | 非常勤職員(人) | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|---------|------|-----------------------|-----|------------------------|------------------------|-----|-----|----|----------|-----------------------|----|------------------------|------------------------|-----|------------------------|------------------------|------|----|----|----|----|----|
| | 年度末 | | 平均年齢 | 勤続年数 法人 所属園 年度末 | | 採用 年間(H30/4~H31/3末) | 退職 年間(H30/4~H31/3末) | 産休 | 年度末 | | 平均年齢 | 勤続年数 法人 所属園 年度末 | | 採用 年間(H30/4~H31/3末) | 退職 年間(H30/4~H31/3末) | 産休 | 採用 年間(H30/4~H31/3末) | 退職 年間(H30/4~H31/3末) | | | | | | |
| | 男性 | 女性 | | 男性 | 女性 | | | | 男性 | 女性 | | 合計 | 合計 | | | | | | | | | | | |
| | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | | | | | | |
| 1 | 葛西 | おひさま保育園 | 2 | 19 | 21 | 35.0 | 6.0 | 3.0 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 | 8 | 42.0 | 6.0 | 6.0 | 3 | 1 | 5 | 4 | |
| 2 | 新堀 | おひさま保育園 | 2 | 16 | 18 | 34.0 | 5.0 | 3.0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 9 | 9 | 51.0 | 4.0 | 4.0 | 4 | 3 | 5 | 5 | |
| 3 | 東小松川 | おひさま保育園 | 2 | 17 | 19 | 32.0 | 5.0 | 3.0 | 3 | 3 | | | | | 10 | 10 | 57.0 | 10.0 | 10.0 | | | 3 | 3 | |
| 4 | 鹿骨 | おひさま保育園 | 1 | 20 | 21 | 35.0 | 5.0 | 3.0 | 3 | 4 | | | | | 10 | 10 | 51.0 | 6.0 | 6.0 | 3 | 1 | 6 | 5 | |
| 5 | 北葛西 | おひさま保育園 | 2 | 23 | 25 | 34.0 | 6.0 | 4.0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 | 13 | 13 | 52.0 | 8.0 | 8.0 | | 4 | 2 | 6 | |
| 6 | 葛西第二 | おひさま保育園 | 1 | 20 | 21 | 33.0 | 5.0 | 3.0 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 11 | 11 | 48.0 | 6.0 | 6.0 | 2 | 1 | 3 | 3 | |
| 7 | 春江 | おひさま保育園 | 1 | 20 | 21 | 37.0 | 6.0 | 3.0 | 3 | 4 | | | | | 10 | 10 | 49.0 | 4.0 | 4.0 | 5 | 1 | 8 | 5 | |
| 8 | 東小岩 | おひさま保育園 | 1 | 20 | 21 | 32.0 | 6.0 | 4.0 | 3 | 4 | 1 | 1 | 4 | | 10 | 10 | 58.0 | 9.0 | 9.0 | | 1 | 3 | 5 | |
| 9 | 西篠崎 | おひさま保育園 | 1 | 19 | 20 | 33.0 | 4.0 | 3.0 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | | 8 | 8 | 46.0 | 5.0 | 5.0 | 2 | 2 | 5 | 3 | |
| 10 | 西小岩 | おひさま保育園 | 2 | 22 | 24 | 32.0 | 6.0 | 4.0 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | | 13 | 13 | 53.0 | 7.0 | 7.0 | 1 | | 4 | 3 | |
| 11 | 松江 | おひさま保育園 | 1 | 19 | 20 | 30.0 | 5.0 | 4.0 | 4 | | 1 | 1 | 1 | | 13 | 14 | 52.0 | 7.0 | 7.0 | | | 4 | | |
| 12 | 松本 | おひさま保育園 | 2 | 17 | 19 | 33.0 | 4.0 | 3.0 | 2 | | | | | | 12 | 12 | 52.0 | 6.0 | 6.0 | 1 | 1 | 3 | 1 | |
| 13 | 清新 | おひさま保育園 | 2 | 18 | 20 | 32.0 | 4.0 | 3.0 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | | 10 | 11 | 48.0 | 5.0 | 5.0 | 1 | 2 | 4 | 5 | |
| 14 | 小松川 | おひさま保育園 | 2 | 21 | 23 | 31.0 | 6.0 | 3.0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | | 8 | 8 | 52.0 | 5.0 | 5.0 | 3 | 1 | 4 | 2 | |
| 15 | 南葛西 | おひさま保育園 | 2 | 18 | 20 | 31.0 | 6.0 | 3.0 | 1 | 4 | | | | | 11 | 11 | 45.0 | 4.0 | 4.0 | 3 | 4 | 4 | 8 | |
| 16 | 西葛西 | おひさま保育園 | 2 | 19 | 21 | 34.0 | 6.0 | 2.0 | 2 | 4 | | | | | 9 | 9 | 53.0 | 4.0 | 4.0 | 1 | | 3 | 4 | |
| 17 | 中葛西 | おひさま保育園 | 2 | 22 | 24 | 34.0 | 5.0 | 2.0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 10 | 10 | 48.0 | 3.0 | 3.0 | 2 | 2 | 5 | 3 | |
| 18 | 松島 | おひさま保育園 | 1 | 18 | 19 | 34.0 | 6.0 | 3.0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | | 10 | 10 | 49.0 | 3.0 | 3.0 | 2 | 1 | 3 | 3 | |
| 19 | 清新第二 | おひさま保育園 | 2 | 18 | 20 | 35.0 | 5.0 | 2.0 | 1 | 1 | | | 2 | | 7 | 7 | 48.0 | 1.0 | 1.0 | 4 | 3 | 5 | 4 | |
| 20 | 北小岩 | おひさま保育園 | 1 | 16 | 17 | 37.0 | 7.0 | 2.0 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | 16 | 16 | 52.0 | 2.0 | 2.0 | | 2 | 3 | 3 | |
| 21 | 南篠崎 | おひさま保育園 | 1 | 17 | 18 | 36.0 | 7.0 | 1.0 | 3 | 2 | | | | | 8 | 8 | 51.0 | 1.0 | 1.0 | 11 | 6 | 14 | 8 | |
| | | | 33 | 399 | 432 | 34 | 5 | 3 | 48 | 47 | 17 | 16 | 25 | | 2 | 216 | 218 | 50 | 5 | 5 | 48 | 36 | 96 | 83 |

平成30年度報告資料

10.研修

※外部研修は園長会主催研修を含む

| 拠点名 | 職員数 | | | | 園内研修回数 | 研修内容(具体的な内容を複数記載) | 外部研修回数 | 研修参加人数 | 研修内容(具体的な内容を複数記載) |
|-----------------|-----|-----|----|-----|--------|-------------------|--------|---------------------------------------|-------------------|
| | 園長 | 副園長 | 主任 | 副主任 | | | | | |
| 1 葛西 おひさま保育園 | 1 | 1 | 1 | 2 | 15 | 2 | 56 | 防災研修、感染症講習会、保育実践研修、 | |
| 2 新堀 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 4 | 14 | 36 | 51 | 乳児保育、保育園交流研修、仕事の進め方、 子どもの発達理解と関わり方 | |
| 3 東小松川 おひさま保育園 | 1 | 1 | 1 | 3 | 15 | 29 | 48 | 乳児保育・感染症・危機管理・発達障害 | |
| 4 鹿骨 おひさま保育園 | 1 | 2 | 2 | 4 | 16 | 36 | 51 | 乳児研修、幼児研修、 | |
| 5 北葛西 おひさま保育園 | 1 | 2 | 3 | 4 | 16 | 45 | 68 | 発達障害・食物アレルギー・玩具研修・子どもの発達 | |
| 6 葛西第二 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 3 | 17 | 28 | 46 | 乳児保育・幼児保育・危機管理・仕事の進め方 | |
| 7 春江 おひさま保育園 | 1 | 2 | 2 | 6 | 17 | 34 | 52 | 食べる機能の発達について・乳児保育の大切さ等 | |
| 8 東小岩 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 5 | 16 | 53 | 87 | 課題のある児・アレルギー・保育内容・仕事の進め方 | |
| 9 西篠崎 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 5 | 16 | 53 | 87 | 課題のある児・アレルギー・保育内容・仕事の進め方 | |
| 10 西小岩 おひさま保育園 | 1 | 1 | 3 | 15 | 18 | 31 | 46 | 職場コミュニケーション・防災・危機管理等 | |
| 11 松江 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 5 | 15 | 35 | 66 | 一人ひとりを大切にする具体的な保育・乳児保育 | |
| 12 松本 おひさま保育園 | 1 | 1 | 3 | 10 | 14 | 29 | 51 | 乳幼児の遊び、乳幼児の食事、仕事の進め方 | |
| 13 清新 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 14 | 16 | 27 | 44 | 乳児保育 子どもの関わり、指導スキル向上等 | |
| 14 小松川 おひさま保育園 | 1 | 1 | 4 | 10 | 16 | 31 | 40 | 0.1.2歳児の保育・危機管理・防災研修 | |
| 15 南葛西 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 2 | 16 | 23 | 50 | 保育環境 アタッチメント 感染症 危機管理 | |
| 16 西葛西 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 8 | 17 | 37 | 63 | 「子どもが主体的に遊ぶには」「発達障害」 | |
| 17 中葛西 おひさま保育園 | 1 | 2 | 2 | 8 | 17 | 36 | 74 | 保育指針・環境・危機管理・感染症・アレルギー | |
| 18 松島 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 7 | 13 | 31 | 62 | 発達支援、気になる子の保育、保育環境、リスクマネジメント、等 | |
| 19 清新第二 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 2 | 15 | 19 | 27 | 新保育指針について・特別支援保育について | |
| 20 北小岩 おひさま保育園 | 1 | 1 | 2 | 3 | 13 | 29 | 40 | 卒園後の子ども達、リーダー層研修、療育見学 | |
| 21 南篠崎 おひさま保育園 | 1 | 1 | 3 | 5 | 12 | 39 | 46 | 危機管理、保育士を開くことで質の向上を目指す | |

平成30年度報告資料

11.実習性、職業体験、ボランティア

| | 実習生 | | 職業体験 | | ボランティア | | | |
|----|--------|---------|--------|--------|--------|--------|-----|----|
| | 受け入れ校数 | 受け入れ人数 | 受け入れ校数 | 受け入れ人数 | 実施回数 | 受け入れ人数 | | |
| 1 | 葛西 | おひさま保育園 | 4 | 6 | 3 | 14 | 24 | 4 |
| 2 | 新堀 | おひさま保育園 | 3 | 3 | 2 | 6 | 15 | 16 |
| 3 | 東小松川 | おひさま保育園 | 4 | 4 | 2 | 10 | 1 | 2 |
| 4 | 鹿骨 | おひさま保育園 | 4 | 8 | 3 | 11 | 1 | 1 |
| 5 | 北葛西 | おひさま保育園 | 6 | 7 | | | 5 | 5 |
| 6 | 葛西第二 | おひさま保育園 | 5 | 7 | 1 | 4 | 8 | 4 |
| 7 | 春江 | おひさま保育園 | 4 | 6 | 2 | 21 | 1 | 4 |
| 8 | 東小岩 | おひさま保育園 | 3 | 3 | 4 | 8 | | |
| 9 | 西篠崎 | おひさま保育園 | 6 | 7 | 1 | 5 | 6 | 6 |
| 10 | 西小岩 | おひさま保育園 | 3 | 5 | 3 | 8 | 1 | 1 |
| 11 | 松江 | おひさま保育園 | 5 | 5 | 4 | 13 | | |
| 12 | 松本 | おひさま保育園 | 3 | 5 | 2 | 5 | 8 | 11 |
| 13 | 清新 | おひさま保育園 | 4 | 6 | 3 | 15 | 7 | 7 |
| 14 | 小松川 | おひさま保育園 | 6 | 7 | 1 | 3 | 10 | 3 |
| 15 | 南葛西 | おひさま保育園 | 6 | 6 | 3 | 6 | | |
| 16 | 西葛西 | おひさま保育園 | 6 | 10 | 3 | 15 | 2 | 3 |
| 17 | 中葛西 | おひさま保育園 | 4 | 4 | 3 | 12 | 2 | 1 |
| 18 | 松島 | おひさま保育園 | 2 | 2 | 2 | 83 | 5 | 2 |
| 19 | 清新第二 | おひさま保育園 | 4 | 10 | 2 | 6 | 2 | 2 |
| 20 | 北小岩 | おひさま保育園 | 2 | 4 | 2 | 6 | | |
| 21 | 南篠崎 | おひさま保育園 | 3 | 3 | | | 5 | 11 |
| | 計 | | 87 | 118 | 46 | 251 | 103 | 83 |

危機管理部会

1. 事業計画

- ①重大事故について→保育所における事故や怪我への防止対策や対処方法（救急救命、AED 等含）」および「危険予測の意識強化」を図る。
- ②防犯・防災について→防犯、防災に対する基本的な考えを把握し防犯、防災対策（避難訓練、備蓄品等）に努め、現状に即した対応を進めていく。
- ③感染症について→学校保健法に定められている「感染症」や「食中毒」等による感染拡大への予防および対応への「マニュアル整備」と「意識強化」を図る。

2. 実施内容

- ①消防署等による救急救命やAED等の講習への参加及び園内研修の実施。
「プール・水遊びマニュアル」及び、熱中症に関するプールにおける実施基準を策定。
入水前のチェック項目の作成（法人同一基準）。
- ②法人防災総合訓練の実施。災害用伝言ダイヤル（171）の体験利用（年2回）等を実施。
アレルギー児メッセージベスト・備蓄の充実。引取りカード取扱の標準化。
- ③感染拡大への情報の共有。「自己健康管理」と「意識強化」。
「感染症」「プール」「薬品」マニュアルの見直しと整備。

3. 評価

- ①救命救急（AED）研修を実施し、プールに関する統一基準を設定したことで、危機管理意識を持って夏の遊びを行うことが出来た。園による実施基準の差が無くなり法人としての基準を設けることが出来た。
- ②法人防災総合訓練では震度6を想定、破損個所有・要救助者有・散歩中のクラスの応援・近隣園との連携等をプログラムにして全園で実施。法人本部との連絡体制も確認できた。
- ③マニュアルの見直しを通し、安全管理の再確認と法人内での対応の違いを修正出来た。
全園の職員が危機管理意識を高める事が出来た。
水害に対する対応がまとめられていないので、継続して検討する。

4. 資料

防犯・防災

- ・救命救急研修（AEDの取扱い）の実施
- ・法人防災総合訓練の実施（年1回）
- ・災害伝言ダイヤル訓練の実施（年2回）
- ・アレルギー児非常食の充実
- ・メッセージベスト常備
- ・防犯訓練の実施

感染症

- ・感染症マニュアルの見直しと園内研修の実施
- ・薬品取扱いマニュアルの見直し

プール活動に関わる内容

- ・「プール・水遊びマニュアル」
- ・「熱中症に関するプール実施の目安」
- ・「おひさま保育園のプール実施について」保護者周知
- ・プール管理日誌の統一
- ・プール入水チェック項目の統一
- ・監視員用ビブス・笛・帽子の準備

プール・水遊びマニュアル

目次

はじめに

教育・保育施設などにおける事故防止及び
事故発生時の対応のためのガイドライン・・・・・・・・P1

<プール使用時の安全対策及び注意事項>

1. プール使用の条件・・・・・・・・P3
2. プール管理の手順
3. 職員配置人数・・・・・・・・P3
4. 子どもの健康管理
5. プール遊び前の準備
6. プール遊び終了後
7. プール使用時の注意事項・・・・・・・・P4
8. 事故発生時の対応

はじめに

保育園で深刻なプール遊び中の事故が毎年発生していることから、社会福祉法人えどがわの「プール・水遊びのマニュアル」を作成しました。痛ましい事故が起こらないよう各おひさま保育園においてはこれをもとに各園の実情に合わせた内容で工夫をして下さい。また、職員全員での話し合いや園内研修等での注意喚起をお願いします。

身体発達や情緒の安定、治療的な有効性もあり、保育園では水遊び、プール遊びは、ほとんどの園で実施されています。誰もが、海や川、水深の深い園外のプールにおいては、溺死の危険性を意識していますが、乳幼児においては、数センチの水深や、洗面器でさえ溺水、溺死の原因になりうることを、常に保育者全員が意識しているでしょうか。

せっかく子どもたちが楽しみにしているプールや水遊びで、悲しい事故がおひさま保育園で起こらないよう、願いを込めてこのマニュアルを作成いたしました。子どもの安全を最優先するという意識を管理者と職員が日頃から共有し、事故を未然に防ぐため、プール・水あそびに関わる職員は見落としがちなリスクや注意すべきポイントについて、正しく理解し安全管理に務めて下さい。

マニュアルは、作成途中や完成時、また作成にかかわった人が一番、危機意識、危機察知能力が高くなります。各園に応じた簡易ハンドマニュアルを、できれば保育者自身が作成し、職員会議や園内研修で共通認識を持っていただき、少なくとも毎年度、反省とハンドマニュアルの改訂を行い、またそれを周知する会議や研修を持つことが大切です。

社会福祉法人えどかわ

熱中症に関するプール実施の目安について

平成 30 年 8 月 14 日
おひさま園長会 危機管理部会

今年、異常気象で連日 35℃を上回る暑日が続いています。東京では青梅市で 40℃を観測し、学校行事や各イベントの中止等相次いでおります。保育園では夏の遊びの中心であるプール・水遊びの実施について各園判断で実施していますが、園児の安全を最優先に考え、プール及び園庭の設置環境に合わせた総合的な判断が必要となります。園の状況により、全園統一にすることは難しいですが、判断目安を設置しましたので下記を参考にしてください。

尚、プール周囲に日陰と風の通り道を作ることで気温・水温・地面の温度がかなり違います。環境設定に限界はありますが、各園工夫をし安全を第一に実施の判断をして下さい。

判断目安

- ・夏散歩・園庭遊び ⇒ 30度を超える日・光化学スモック警報発令時
- ・プール・水遊び ⇒ 暑さ指数 31℃（危険）の場合もしくは
水温+気温=65℃以上の場合を目安に
各園の設置環境等総合的に見て施設長が判断する

（上記以外でも、園の状況によっては危険な場合もありますので目安にしてください。）

注意事項

- ・園庭やプールは出来る限り日影を作り、水温の上昇を避ける。（水温 30℃を超えると危険）
水温と気温の差が無いと、体に熱がこもる為熱中症のリスクが上がる。
- ・プールの入水前後は必ず水分補給をする。
- ・プール入水時間は 1 クラス 15 分以内が望ましい。
（プールサイドでの待機時間・園庭での水遊び時間等の考慮もすること）
- ・体温に合わせて「朝食抜き、睡眠不足、体調、疲労、薬の服用、嘔吐・下痢症状」等が大きく関係する為、保護者の合意があっても入水前の状態を良く観察し、保育士が総合的に判断すること。
（判断に困ったときは必ず園長・主任に相談する。自己判断しないこと。）

参 考

平成 30 年 8 月現在の資料

- ・厚労省「事故防止及び事故発生時対応マニュアル」では、暑さ指数が高い時は中止。
- ・東京都教育委員会の通知では気温 35℃以上水温 34℃以上は危険としている。
- ・文科省「水泳指導の手引」2014 では水温 23℃以上が望ましいとし、上限を提示していない。

他県の地域や行政では「水温+気温」= 65℃以上は中止、暑さ指数 31℃以上（危険）の場合は中止等、地域や、プール設置環境、入水時間等の条件により基準は様々。

* 上記を参考にし、保育園の温度・湿度・設置環境や子どもの健康状態を総合的に見て、園長が危険と判断した時は中止としてください。

環境省 暑さ指数(WBGT)とは？

暑さ指数 (WBGT (湿球黒球温度) : Wet Bulb Globe Temperature) は、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度 (°C) で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数 (WBGT) は 人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

日常生活に関する指針

| 温度基準 (WBGT) | 注意すべき生活活動の目安 | 注意事項 |
|-----------------|-------------------|---|
| 危険 (31°C以上) | すべての生活活動でおこる危険性 | 高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。 |
| 厳重警戒 (28~31°C※) | | 外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。 |
| 警戒 (25~28°C※) | 中等度以上の生活活動でおこる危険性 | 運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。 |
| 注意 (25°C未満) | 強い生活活動でおこる危険性 | 一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。 |

※ (28~31°C) 及び (25~28°C) については、それぞれ 28°C以上 31°C未満、25°C以上 28°C未満を示します。

日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3」(2013) より

運動に関する指針

| 気温 (参考) | 暑さ指数 (WBGT) | 熱中症予防運動指針 | |
|---------|-------------|-----------------|---|
| 35°C以上 | 31°C以上 | 運動は原則中止 | WBGT31°C以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。 |
| 31~35°C | 28~31°C | 厳重警戒 (激しい運動は中止) | WBGT28°C以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。 |
| 28~31°C | 25~28°C | 警戒 (積極的に休息) | WBGT25°C以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。 |
| 24~28°C | 21~25°C | 注意 (積極的に水分補給) | WBGT21°C以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。 |
| 24°C未満 | 21°C未満 | ほぼ安全 (適宜水分補給) | WBGT21°C未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。 |

(公財) 日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2013) より

30 年度 法人合同防災訓練 実施報告

平成 30 年 11 月 10 日
おひさま園長会 危機管理部会
山岡・神宮・橘田

| | |
|--------|--|
| 実施日時 | 平成 30 年 10 月 25 日 (木) 10 : 00 ~ |
| 参加園 | 法人事務局 (報告受付) おひさま保育園 22 園 (仮) 新田おひさま保育園は引継ぎ中の為人数確認と本部報告のみ |
| 訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・震度 6 を想定した避難訓練及び自衛消防組織の編成 ・ライフライン被害・切断 ・園舎破損個所有 (各園設定) ・要救助者有 (左足大腿骨骨折) ・園外保育クラス有 (1 クラス散歩) ・法人報告 (iphone 及びメッセージ) ・近隣保育園との電話連絡及び救援 (徒歩・自転車で現地に行く) |
| 訓練参加状況 | <p>報告書提出園数・・・21 / 22 園</p> <p>園外保育実施園数・・・20 園</p> <p>要救助者設定実施園数・・・21 園</p> <p>破損個所有設定実施園数・・・21 園</p> <p>他園との電話連絡実施園数・・・16 園</p> <p>他園へ救援実施園数・・・3 園</p> |
| 反省 | <ul style="list-style-type: none"> ・法人本部へは繋がらなかった為、時間がかかった。 ・法人事務局も人手の必要な保育園の応援など、保育園と連携して取り組めたら良い。 ・区の PHS を利用しては？ (現在はつながり難く黒電話が一番繋がり易いとのこと) ・時間の経過と共に記入できる書式が良い。法人への必要な連絡は「現在状況の報告」で良い。各園では時間経過と共に人数確認しなければいけない。(各園にある物を利用) ・職員が園の住所と電話番号が言えない。(個人携帯で番号を知らず連絡出来なかった。) ・さらしでのおんぶが出来なかった。(習慣付いていない為) ・おんぶ紐が足りず、リュックを逆さまに背負い代用した。 ・けが人の搬送は大地震の場合厳しい状況。付き添いも大人一人を支えるのに救護 1 人は適切ではない。応急処置やけが人の痛み緩和、止血方法等習得したい。 ・情報収集としてラジオ等も付けてみれば良かった。 ・声の掛け合いが少なく意識が薄く感じた。 ・乳児は上履きを履かずに避難しようとしていた。 ・園庭で遊んでいるクラスが多く、避難指示を出す前に避難を終えている状態だった。 ・画像を送る方法が分からず手間取った。 ・散歩に iphone を持ち出していた為、台数が足りなかった。 ・BCP の見直しと修正をする。 ・職員は指示待ち状態だったので、各自が出来る事を考えるようにしたい。また、BCP を理解している職員は少なかった。意識改善が課題。 |

平成30年度報告資料

5、感染症(登園許可数) ※インフルエンザはA、B同一とする

| 拠点名 | 1 | 数 | 2 | 数 | 3 | 数 | その他 | 数 | 合計 |
|-----------------|------------|----|---------|----|-------------|----|-----------------|----|-----|
| 1 葛西 おひさま保育園 | インフルエンザ | 94 | 伝染性紅斑 | 22 | 溶連菌感染症・手足口病 | 34 | 突発性発疹・ヘルパンギーナ | 35 | 185 |
| 2 新堀 おひさま保育園 | インフルエンザ | 55 | 伝染性紅斑 | 31 | 溶連菌 | 19 | アデノウイルス・手足口病 | 12 | 117 |
| 3 東小松川 おひさま保育園 | インフルエンザ | 16 | 溶連菌感染症 | 16 | 手足口病 | 9 | りんご病他 | 7 | 48 |
| 4 鹿骨 おひさま保育園 | 溶連菌感染症 | 41 | 手足口病 | 40 | インフルエンザ | 29 | 感染性胃腸炎、アデノウイルス他 | 27 | 137 |
| 5 北葛西 おひさま保育園 | インフルエンザ | 45 | 流行性角結膜炎 | 27 | 溶連菌感染症 | 24 | 咽頭結膜炎、急性胃腸炎他 | 60 | 156 |
| 6 葛西第二 おひさま保育園 | インフルエンザ | 26 | 流行性角結膜炎 | 20 | ヘルパンギーナ | 15 | 溶連菌感染症他 | 51 | 112 |
| 7 春江 おひさま保育園 | インフルエンザ | 52 | 伝染性紅斑 | 31 | 溶連菌感染症 | 11 | 手足口病・ヘルパンギーナ他 | 37 | 131 |
| 8 東小岩 おひさま保育園 | インフルエンザ | 71 | 手足口病 | 15 | 感染性胃腸炎 | 12 | 溶連菌感染症・咽頭結膜炎他 | 29 | 127 |
| 9 西篠崎 おひさま保育園 | インフルエンザ | 75 | 流行性耳下腺炎 | 26 | 流行性胃腸炎 | 25 | 溶連菌感染症他 | 19 | 145 |
| 10 西小岩 おひさま保育園 | インフルエンザ | 50 | 手足口病 | 4 | 水痘 | 3 | 溶連菌感染症他 | 52 | 111 |
| 11 松江 おひさま保育園 | 溶連菌感染症 | 58 | インフルエンザ | 22 | 感染性胃腸炎 | 13 | ヘルパンギーナ他 | 32 | 125 |
| 12 松本 おひさま保育園 | インフルエンザ | 51 | 溶連菌感染症 | 27 | 感染性胃腸炎 | 17 | 手足口病・ヘルパンギーナ他 | 47 | 142 |
| 13 清新 おひさま保育園 | インフルエンザ | 82 | 感染症胃腸炎 | 37 | ヘルパンギーナ | 28 | 溶連菌、アデノウイルス他 | 44 | 191 |
| 14 小松川 おひさま保育園 | インフルエンザ | 30 | 伝染性紅斑 | 25 | 感染症胃腸炎 | 16 | アデノウイルス他 | 98 | 169 |
| 15 南葛西 おひさま保育園 | 感染性胃腸炎 | 28 | インフルエンザ | 21 | ヘルパンギーナ | 20 | 溶連菌感染症他 | 20 | 89 |
| 16 西葛西 おひさま保育園 | インフルエンザ | 55 | 突発性発疹 | 9 | ヘルパンギーナ | 5 | 溶連菌感染症・りんご病他 | 33 | 102 |
| 17 中葛西 おひさま保育園 | 伝染性紅斑 | 42 | インフルエンザ | 37 | 溶連菌感染症 | 19 | アデノ、胃腸炎、突発他 | 69 | 167 |
| 18 松島 おひさま保育園 | インフルエンザ | 52 | 手足口病 | 27 | 溶連菌感染症 | 10 | プール熱、感染性胃腸炎他 | 34 | 123 |
| 19 清新第二 おひさま保育園 | インフルエンザ | 41 | 感染性胃腸炎 | 18 | ヘルパンギーナ | 17 | 溶連菌感染症等 | 17 | 93 |
| 20 北小岩 おひさま保育園 | 溶連菌 | 30 | 手足口病 | 29 | インフルエンザ | 21 | ヘルパンギーナ | 13 | 93 |
| 21 南篠崎 おひさま保育園 | インフルエンザ | 46 | 感染性胃腸炎 | 21 | 手足口病 | 8 | | | 75 |
| おひさま保育園 感染症 上位数 | 1 | | 2 | | 3 | | | | |
| | インフルエンザ感染症 | | 溶連菌感染症 | | 感染性胃腸炎 | | | | |

平成30年度報告資料

6. AL

| | 拠点名 | AL単品(1品のみ) | | | | | AL複合(2品以上) | | | | | AL合計 | エピソード等処方預かり | | | | | | |
|----|--------------|------------|----|----|----|----|------------|----|----|----|----|------|-------------|---|----|----|----|----|----|
| | | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 計 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | | 5歳 | 計 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 |
| 1 | 葛西 おひさま保育園 | | 1 | 2 | 3 | | 6 | | 3 | 1 | 1 | | 5 | | | | | | |
| 2 | 新堀 おひさま保育園 | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | | 4 | | | | | | |
| 3 | 東小松川 おひさま保育園 | 2 | | 1 | | | 3 | 1 | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 |
| 4 | 鹿骨 おひさま保育園 | 3 | 1 | 1 | | | 5 | | 1 | | 1 | | 2 | | | | | | |
| 5 | 北葛西 おひさま保育園 | 3 | | 1 | 1 | | 5 | 1 | 2 | | 1 | | 4 | | | 1 | 1 | 2 | |
| 6 | 葛西第二 おひさま保育園 | 1 | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 春江 おひさま保育園 | 2 | | | | 1 | 3 | 1 | | | | 2 | 3 | | | | | 1 | 1 |
| 8 | 東小岩 おひさま保育園 | 3 | | | | | 3 | 1 | | 1 | | | 3 | | | | | | |
| 9 | 西篠崎 おひさま保育園 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 5 | | | | | | | | 1 | 1 | | | 2 |
| 10 | 西小岩 おひさま保育園 | 1 | | 2 | 1 | | 4 | 2 | | | 1 | 1 | 4 | | | | | 1 | 1 |
| 11 | 松江 おひさま保育園 | 2 | 1 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 松本 おひさま保育園 | 2 | | | | | 2 | | | 1 | | | 1 | | | | | | |
| 13 | 清新 おひさま保育園 | 4 | 2 | 3 | | 1 | 10 | 1 | | 1 | | | 2 | | | | | | |
| 14 | 小松川 おひさま保育園 | 5 | 2 | | | 1 | 8 | | 2 | 1 | | | 3 | | | 1 | | | 1 |
| 15 | 南葛西 おひさま保育園 | 1 | 1 | | 3 | | 5 | 1 | | | | | 1 | | | | | | |
| 16 | 西葛西 おひさま保育園 | 1 | 1 | | 2 | | 4 | | 1 | | | | 1 | | | 1 | | | |
| 17 | 中葛西 おひさま保育園 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 8 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 12 | | | 1 | | | 1 |
| 18 | 松島 おひさま保育園 | 2 | 1 | | 1 | | 4 | | | | | | 4 | | | | | | |
| 19 | 清新第二 おひさま保育園 | 1 | 1 | 1 | | | 3 | | | 2 | | | 2 | | | | | | 5 |
| 20 | 北小岩 おひさま保育園 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 4 | | | | 1 | 1 | 5 | | | | | | |
| 21 | 南篠崎 おひさま保育園 | 2 | 1 | | | 1 | 4 | | | | | 2 | 6 | | | | | | |

| | |
|-----------------------------------|--|
| <p>次年度への課題</p> <p>31年度実施したい内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新方法を手軽に操作できるようにしたい。(iphone で出来たら良い) ・保護者への一斉メール配信を検討する。(31年度4月を目標) 事務局 ・年に1回合同訓練のタイミングで備蓄の確認をすると良い。(テント、トイレ、発電機、光器等は実際に作動させてみる) ・アレルギー児非常食・補食を各園に備蓄する。取りまとめ：山岡園長 ・メッセージベストを各園に整備する。取りまとめ：神宮園長 (アレルギー児の確認をする。) ・近隣や保護者へ「総合訓点実施中」の周知をする。(掲示など) ・一斉放送設備の無い保育園は、設備に代わる物があると安心。 ・保育園以外の避難場所(第二・第三避難場所)での引き渡し訓練を実施したい。実際にその場へ行き、危険な場所の確認や長時間避難できるのか、何を持ち出すのが良いのかなど確認すべき。また、保護者への安心材料にもなる。 ・第二、第三避難場所の検討。近隣に保育施設があれば、長時間避難となることを考えると、園児にとっては過ごし易いのでは? トイレ・遊具・園児への大人の理解と保護者の安心等メリットが多い。(例：清新第二おひさま⇄清新おひさま保育園) ・自衛消防組織の編成をするので、保護者への周知は別として、伝言ダイヤルの録音・HPに園児避難情報の掲載の作業を職員がする必要があった。(利用期間外ではあるが・・・) ・散歩先が他おひさま保育園に近い場合は、一時避難場所として提供してほしい。 |
| <p>その他意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局への連絡方法は2パターン位あると良い。 (今回はライフライン被害・遮断設定であった為、iphone のみの連絡としました。) ・実施内容については様々な意見有。まずは、この内容で全園がしっかりと臨場感と緊張感を持って職員が自ら考えて対応出来るようになることが先。全園の平均化が取れたところで次のステップとして、時期や時間帯、内容を検討していきたい。 ・防災頭巾の持ち出しをどのように考えるか? (園内・散歩時) ・近隣おひさま保育園への電話連絡や応援に行ってみたことで意識の変化があった。事務局も参加してほしい。(男手が必要になることが予想される。) ・園外散歩の際の安全確保。 (その場に留まるのか、他の避難場所へ行くのが良いのか、各園確認しておくが良い。) ・他園のBCPを見てみたい。 ・「引き渡し訓練」と「法人合同防災訓練」を同時に行うのはどうか? 今は、定着しておらず、余裕の無い保育園もある。職員が迅速・冷静に対応出来ないと、保護者に不安を与えてしまう可能性あり。無理に一緒にやる必要は無い。実施可能な保育園はそのように計画しても良いのでは? ・水害訓練は小学校や近隣施設のアポを取らないと訓練できないので難しい。 可能な範囲で実施する。(施設の許可が取れなければ、入口前まで行ってみる等。) ・日時を知らせずに行っても良い。(合同訓練とは別に毎月の訓練で実施して下さい。) ・近隣園にかなり距離がある為、連携は難しい。自園での対策を考える必要がある。 ・園長不在時の訓練も必要。 |

| | |
|---------------------|--|
| <p>その他 意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・散歩の経路は災害時も考えて複数ルートを頭に入れておくと良い。 ・物資の保管場所の検討が必要。 ・他保育園がどのような訓練を実施しているのか知りたい。 (神宮園長が現在各園を回っていますので、まとまり次第報告します。) ・職員の怪我した姿を心配する園児が多く、臨場感を持って訓練が出来た。子どもたちにも緊張感を与えられて良かった。 ・地震からの津波の想定で訓練したい。(各園の年間計画を見直してみましよう。) ・地域差もあるので訓練の話し合いを詰めると良い。(時間が取ればG園長会にて) |
|---------------------|--|

～全体を通して～

報告書を提出して頂いたことで、各園の状況や不安なども見えてきました。法人全体として整える事、各園単位で準備することを明確に出来たら、園長先生方の不安も少しは軽減されると思います。今回、各園の電話連絡と散歩の設定を新たに取り入れましたが、皆さんが課題を見つけられたことは良かったです。また、先日の東小岩おひさま保育園隣家の火災時への応援もスムーズに出来ました。いかに、緊急時の想定や訓練必要性と、冷静な判断が大切か実感しました。

今回は園長先生が午後に不在だったため、近隣園への救援の参加は少なかったですが、次回は是非行ってみてください。なお、各園の人員体制や状況、環境があり、表記訓練が実施できなかった保育園もあります。報告として数字を出しただけですので、あまり気にしないで下さい。

(新田は人数報告と法人報告のみの参加でした。)

訓練では本部へ電話が繋がらず慌ててしまった園もあったようですが、緊急連絡でなければ報告なので慌てることはありません。園長先生は現場での園児・職員の安全確保を最優先に行動しましょう。自衛消防隊長ですので、その場を離れることなく、冷静で迅速な判断が出来るよう日々の訓練で身につけましょう。

今年度は計画の準備と周知が遅くなり、皆様にご迷惑をお掛けしました。次年度は反省を踏まえ、より職員が意識出来る訓練にしたいと思います。ご協力ありがとうございました。

危機管理部会
神宮・橋田

キャリアアップ研修部会

1. 事業計画

- ①法人えどがわ必須研修 立案と実施
- ②おひさま保育園間の交流研修 立案と実施
- ③副主任選考 問題作成と選考

2. 実施内容

- ①8階層に分かれマネジメント、乳幼児保育の研修を受講。各自置かれている立場、求められている力を理解し組織力と保育力の向上を図る。
- ②おひさま保育園の保育の標準化を目指す足掛かりとして、職員が他園の保育を経験し改善点を感じ、自園の保育に反映させていく。
- ③副主任選考基準問題の一部作成及び副主任選考への参加。

3. 評価、今後の予定

- ①業者による研修は社会と人としてのマインドスキルアップを図った。今年度より保育の実践に役立つために幼児保育、乳児保育について講師を迎え学んだ。職層によっては人数が多く、その職層にとどまる期間が長い職員もいることを考慮した受講内容にした。どの研修も職員には好評で法人の一員として職務に励む気持ちの後押しができた。
- ②交流研修は各園2名程度実施し報告書を全園で共有した。参加者には好評で他園の良いところを自園で取り組みたいという意欲ある報告が多かった。報告書を読むことで他園の保育の一端が分かるという意見も多かった。
- ③選考問題を作成し選考試験実施 13名が合格した。

4. 資料

別紙参照

法人キャリアアップ研修 報告

| 職層 | 総人数 | 参加 | 研修内容 | 日時 | 場所 | 感想と研修を活かして |
|---------|-----|----|--|-----------------------|----------|---|
| 新任 | 32 | 32 | エールライフ フレッシュマン 基礎講座 <ul style="list-style-type: none"> ・フレッシュマンに期待されていることを自ら考え、具体的な行動を考える ・第一印象の大切さ、社会時としての基礎を学ぶ | 6月4日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・新人だからこそ自分から進んで行いたい ・第一印象の大切さがわかった ・どんなに心で思っても行動しないと相手に伝わらないので、伝えていきたい |
| 入職2・3年目 | 105 | 20 | エールライフ スペシャリストス キル発見 <ul style="list-style-type: none"> ・自らのやってきたことの振り返りをし、自分の強みを発見 ・好きなことと出来る子とは違う ・スペシャリストスキル自己分析 | 6月12日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなアイディアを出して子どもたちと楽しいいう気持ちを共有していく ・モチベーションアップのために自分の良いところを伸ばしてよいサイクルを作る |
| | | 30 | エールライフ スペシャリストス キル発見 <p style="text-align: center;">同上</p> | 6月22日 14:00～17:00 | G/パレス403 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己分析をしたことで自分の良い点と出来ない点に気づくことができた ・日々の経験、過去の経験を大切に良いサイクルを作っていきたい |
| | | 24 | エールライフ 仕事の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・事例（上司からの依頼）で仕事を受ける基本 ・仕事の進め方で重要な報・連・相とPDCAサイクルについて ・仕事のゴールは上司の頭の中 | 6月25日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークをする中で自分の足りない部分を見つめられた。 ・報・連・相の大切さを改めて感じ、今後はきちんと行いたい ・自分の勝手なゴールではなく上司とゴールを共有する事等今後の仕事の姿勢を考えさせられた |
| | | 24 | エールライフ 仕事の進め方 <p style="text-align: center;">同上</p> | 6月29日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・アクノリッジメントの大切さが印象に残った ・報・連・相は1回だけではなく何回も繰り返すようにする ・自己判断で仕事を行わない ・自分だけではなく組織の改善にもつながるのでミスの報告も怠らない |
| 入職4年目以降 | 106 | 20 | エールライフ ストレス耐性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスのメカニズム ・不安の解消、解決方法 ・批判、失敗、他人の依存の乗り越え方 ・悪しき習慣からの脱出 | 11月6日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分と向き合うことができて良かった ・自分のモチベーションをコントロールしていきたい ・ストレスは個々で向き合っ解決していく ・5W2Hを考えていく |
| | | 23 | エールライフ タイムマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール管理の自己チェック ・実務業務に置き換えて ・時間・行動管理ノテクニックについて | 11月12日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・今まで自分のタイムマネジメントを反省した ・仕事の進行状況の書き出し、隙間時間の活用 ・余裕を持って期限までに進めたい |

法人キャリアアップ研修 報告

| 職層 | 総人数 | 参加 | 研修内容 | 日時 | 場所 | 感想と研修を活かして |
|---------|-----|----|--|--|--------------------|--|
| 入職4年目以降 | 106 | 18 | 乳児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・乳児の心の育ちと保育環境 ・保育指針の中の乳児でいわれていること ・保育の自分の癖を振り返ろう | 10月10日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的信頼感と応答的保育について学べてよかった ・子どもにとって一対一の関わってもらっていると実感する人数など考えさせられた ・子どもを待たせない保育を工夫したい ・一方的に刺激を受けて育つ危険性を聞きその通りだと思った ・これは？と思うことは流さず考える工夫をしたい |
| | | 19 | 乳児保育 同上 | 10月16日 14:00～17:00 | 事務局 | |
| | | 25 | 幼児保育 子どもが主体的に遊ぶための援助の仕方 | 11月8日 15:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・忍耐力は想像力であることが印象に残った ・事例で子どもの遊びをみたことで「主体的に」ということがはっきりと見えてきた ・子どもが遊び込めるような環境をていきょうしたい |
| クラスリーダー | 80 | 20 | エールライフ コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・伝達する場合の重要なこと ・相手に伝える時の原則 ・コミュニケーションはキャッチボール ・愛で伝えるメッセージ | 10月31日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションで大切なことは伝える側だけでなく話を聞く側の態度や反応であると分かった ・伝え方によって相手も大きく変化すると知った ・愛(1)メッセージをで伝えたい |
| | | 31 | 乳児保育 幼児保育 子どもが主体的に遊ぶための援助の仕方 | 11月27日 14:00～17:00 11月22日 18:00～20:00 | 事務局 Gパレス403 | <ul style="list-style-type: none"> ・どの園も似たような悩みを抱えていると思った ・一人ひとりを大切に保育をしたい ・間(待つ)をとる保育の大切さを改めて感じた ・理想の保育室づくりは楽しかった ・初心に帰れた ・保育の振り返りの重要性、時代が変わり、今求められていることがデータから深く知ることができた ・マシュマロテストは興味深かった ・大人の「させる」を減らしたい |
| 副主任 | 49 | 20 | エールライフ コーチング <ul style="list-style-type: none"> ・コーチングの必要性 ・コーチングの3原則と3基本スキルについて ・相手の心の扉を開かせるには・・・ | 10月29日 14:00～17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・コーチングとティ칭ングの違いが分かった ・今までの後輩の指導の仕方を振り返ることができた。 ・アクブリッジメントを意識しながら相談しやすくする ・人によって対応を変えながらフォローしたい |

法人キャリアアップ研修 報告

| 職層 | 総人数 | 参加 | 研修内容 | 日時 | 場所 | 感想と研修を活かして |
|-----|-----|------|--|-----------------------|---------|---|
| 副主任 | 49 | 19 | 乳児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・保育についての疑問や悩み ・問われ続ける保育の保育士の仕事 ・乳児の発達と保育の課題 ・副主任の役割 ・理想の着替えをしやすい保育室 | 12月11日 14:00~17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが過ごす環境の大切さを実感した ・0~2歳までの成長の過程がすごく分かりやすく、楽しかった。 |
| | | 9+6 | 幼児保育 新保育指針について <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に遊ぶとは ・保育指針の中の10の姿や保育要録等について ・「見える化」の効果 ・保育の事例から | 11月14日 18:00~20:00 | Gパレス402 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがワクワク楽しさを感じ、自分で考えて遊びたいと思って取り組むことが大切だと思った ・ワクワクしながら保育環境を準備したい ・子どもとたくさん楽しみたい |
| 主任 | 19 | 20+1 | エールライフ リーダーシップ <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップの定義は集団をある方向へ動かそうとする社会的影響力のプロセス ・リーダーシップの要素とは ・自らのリーダーシップ分析 | 11月16日 14:00~17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップの難しさを感じた ・目指す園の目標保達成するために時には言いにくいことも伝えていく ・次の自分になる人を育成したい |
| 副園長 | 10 | 7 | エールライフ ソーシャルスタイル <ul style="list-style-type: none"> ・パーソナリティに合わせた対応 ・ソーシャルスタイルの分析・特徴 ・タイプに合わせた対応実践 | 11月28日 14:00~17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・人にはいろいろなタイプがあり、相手をどうにかするのではなく、伝える工夫でより良い関係が築けると知った ・ソーシャルスタイルを活用したい |
| 園長 | 22 | 21 | エールライフ チームワーク <ul style="list-style-type: none"> ・チームワークの大切さを実践 ・組織の成立要件 ・健全な組織とは | 11月28日 14:00~17:00 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・法人えどがわという組織全体を意識し、その中で自分は何をするか常に考える ・ビジョンの統一の大切さ ・コンセンサスの重要性和伝え方の難しさを実践で実感した。 |

給食部会

1. 事業計画

- ①食育活動の充実
- ②食に関する職員の意識の向上、改善
- ③給食評価
- ④食育課程見直し

2. 実施内容

上記内容について

- ①4歳児クラス対象で枝豆種まき5月に実施、収穫7月～8月、きな粉作り9月～10月実施
味噌作り1月～2月実施。
5歳児クラス対象対象で味噌汁作り6月～7月実施予定。
魚の解体体験を全園が11月から2月に実施
- ②子どもに対しての関わり方、マナーなどのアンケートを集計し、もったも多かった。
ベスト3下記参照（約400名分）
- ③試食アンケートを行った。
- ④次年度の食育課程の栄養士食育の欄を見直した。

3. 評価

上記内容について

- ①味噌づくりや魚の解体を通して色々な食材を知ることによって食べる意欲につながり食への意識が高まった。
- ②アンケートを通して職員が何を悩んでいるか、給食をどのように考えているかが把握することが出来た。
これから各園の給食会議でアンケートを基に一つずつ話し合い共通理解していこうと思う。
- ③大半の保護者からは「美味しい」と好評だった。改善点としては、味付けの安定、栄養価と金額に合わせお楽しみデザートを増やす、保護者試食時間に合わせた提供方法を考えていきたい。今後も変わらず「美味しい給食作り」を目指す。
- ④毎年、食育課程の見直しや確認をすることによって食に対する意識を持ち共通理解が出来た

4. 資料

・職員アンケート

《おひさま保育園 給食についてのアンケート》

社会福祉法人えどがわ
おひさま保育園 給食部会

●子どもにとって給食とは？

- 1,先生や友達と一緒に食べる楽しい時間
- 2,マナーを知る場
- 3,食材により季節感を味わう

●食べさせ方の工夫をしていることは？

- 1,無理に食べさせず少しでも食べられたら褒め次へ繋げる
- 2,食べる意欲が出るような言葉かけをする
- 3,絵本や紙芝居などの教材を使って食に興味を持たせる

●保育園の給食で「おや？」と思ったことはありますか？

(例えば・・・食べる順番、マナー、素材など、何でも思った事など)

- 1,完食について
- 2,食事の時間や切り上げ方
- 3,食事のマナーについて

●その他

- ・三角食べ
- ・手を合わせての頂きます
- ・はしの使用開始
- ・デザートに関すること

・保護者アンケート

～試食についてのアンケート～

【良かった点】

- ・全体的に薄味だが、しっかりだしが効いていた。薄味を参考にしたい。
- ・思っていたよりボリュームがあり、バランスが良いと思った。
- ・食材の品目数も多く、自宅で食べない食材も口にできるのでありがたい。
- ・野菜が食べやすい大きさだった。

【改善点】

- ・子どもがアレルギー食を食べているので試食させてほしかった。
- ・せっかくの試食が冷めていた。
- ・副菜の味付けが少し濃いように感じた。
(カレー風味)
- ・デザートがあると嬉しい。

要支援部会

1. 事業計画

- ①法人としての要支援（発達支援・虐待）マニュアルを作成する。
- ②要支援の実態把握と対応・予防策及び関連機関の連携を図る。

2. 実施内容

- ①各園アンケート実施（虐待及び発達支援各園実態調査）
- ②発達相談なないろ連携打ち合わせ
- ③鹿本育成室打ち合わせ・見学依頼
- ④発達支援コーディネーター育成基礎研修計画
- ⑤法人虐待防止チェックリスト作成
- ⑥法人報告用シート作成
- ⑦おひさま保育園契約の心理士と今後の方向性について打ち合わせ
- ⑧家庭支援センター訪問（今後の連携について）

3. 評価

- ①各園アンケートを実施した事により、関わり方に悩む園が多く発達支援に関して、職員に学ぶ機会が必要と感じた。
- ②保護者が発達相談を望んだ際、園と家庭が共に支援を進められるよう発達相談なないろに連携をお願いした。
- ③①をもとに鹿本育成室に見学依頼をしたところ、療育見学及びコーディネーター基礎講座の機会を得た。
- ④11月鹿本育成室にて基礎講座実施，療育見学会各地区に分かれて実施（小岩・葛西・鹿本）来年度も引き続き各園におひさま保育園発達支援コーディネーターを配置し、研修や実践を重ね、コーディネーターのスキルアップをはかる。
- ⑤江戸川区児童虐待防止ガイドをもとに、チェックリストを作成。
- ⑥各園、虐待に繋がりそうな園児がいる為、保護者の気になる行動や園児の身体的な面で気になる事があった場合チェックし、法人に報告するシートを作成。（2日間連絡がなく、あきらかに理由のわからない欠席についても同様）
- ⑦現在、臨床心理士と契約している園が 園。今後は全園に配属出来るよう、計画していく予定ではあるが、全園配属となると臨床心理士の数が足りないのも現状である。また、臨床心理士が講師を行う大学の実習生を受け入れる等、今後に繋がる取り組みの計画を来年度は進めていく。
- ⑧家庭支援センターと今後、どのように連携出来るか話し合い、関係機関が集まる地域連絡会のような場を検討していると伺った。連絡会を行う事で地域の連携や多方面から考えていく

4. 資料



※虐待の疑いがある。または判断しにくい場合でも保護者が育児不安を抱えている・放棄迄はいかないが傾向がある等の場合もこちらのチェックリストを使用し、法人へ報告をお願い致します。

3 保育園・幼稚園等での気づき

＜保護者の様子＞

- 乳幼児・1歳6カ月・3歳児等の健診、予防接種などが未受診、その説明を避ける
- 登降園の時間が不規則であり、その理由がはっきりしない
- 登園の際、ケガや発熱、病気があっても手あてをせずに登園させる
- 降園時刻にたびたび遅れる、年長のきょうだいやあらかじめ届け出のある人以外の他人に迎えにいかせその理由がはっきりしない
- 無断欠席、無断遅刻が多い、長期間の無断欠席があり、連続している
- 子どもを欠席させ、家に置き去りにしたまま保護者が外出をする
- 提出物や準備物などがいつも用意されていない、または不足している
- 子どもの扱いが乱暴である、イライラとした態度があからさまである
- 子どもに対する情緒的な働きかけが乏しい、子どもへの態度が物を扱うような様子
- 表情の険しいときが多い、もしくは無表情なことが多い
- 子どものことより保護者自身のことを話したがる
- 子どもの家庭での様子を聞いても、迷惑そうな態度や曖昧な返事をする
- 子どものケガや傷についてたずねても、曖昧な返答で不合理・虚偽と思われる
- この子はかわいくない、本当はほしくなかったなど拒否的感情を子どもの前で公言する
- 祖父母と不仲である
- 夫婦仲が良くない
- 保護者が経済的に不安定
- ひとり親家庭に、親の異性の友人が頻繁に出入りする、または同居している
- 親の不規則な生活時間に、子どもをつき合わせる

＜子どもの様子＞

- 親が迎えに来て嬉しそうな表情や態度を見せない、帰りたくないという様子が見える
- 迎えに来た親の言動を異常なほど気にする
- 身体に触れられることを極端に嫌がる
- 同年齢の子と比較して身長体重の増加が極端に少ない、体重の増加が止まり、痩せが著しい
- 給食をむさぼるように食べ、おかわりを繰り返す、他の子の食事に手をだす
- 衣服が身体のサイズ、季節に合っていない
- 衣服や身体が不潔、排泄のふきとりが不十分、異臭がする
- の中の汚れが目立つ、むし歯が多い
- の中に傷や出血がある
- 低体重・低身長である
- 多数の未処置のむし歯がある
- 雰囲気が暗く、喜怒哀楽の表情が少なく他児との交流が少ない
- 職員の自然な働きかけに対して、おびえた表情や防衛的な構えをする
- 他児に対し、乱暴で攻撃的、全般的に行動が落ち着かず、衝動的、奇声を発することがある
- ケガについて聞くと、話題を避ける、答えようとしない、黙りこむ、ウソをいう
- 基本的な生活習慣が身につけていない、遊びをあまり知らない
- 常に職員の色顔を伺う、極端にきき分けがよい、子どもらしさに欠け、大人のような振る舞いがある

おひさま保育園

歳児 男・女

(報告事項)

玩具・教材・教室事業部会

1. 事業計画

- ①社会福祉法人えどがわ おひさま保育園として、子どもの発達と遊びの連続性に基づく推奨玩具・教材の指針を策定する。
- ②平成30年度は、人間形成の基礎となる乳児の推奨玩具・絵本の的を絞り、活動していく。

2. 実施内容

- ①各園の玩具について、現状把握のため、発達に応じた動作に関する使用玩具のアンケートを作成、実施した。
- ②玩具について、楽しみ方や保育活動の中での活かし方を再認識するため、子どもの発達に応じた玩具に特化している玩具業者による研修を企画、部会担当が参加した。
- ③各園で玩具業者による研修を行い、その後アンケートの作成、実施した。※資料参照(1)
- ④乳児（1歳児）の発達MAPを作成。※資料参照(2)

3. 評価

- ①アンケートを記載したことで、各園の乳児担当職員は、動作と玩具について振り返る機会となった。
- ②子どもの発達と遊びの連続性について指針の策定に向け、アンケート結果を分析し1歳児の発達MAPを策定した。※資料参照(1)
- ③玩具業者による研修を受講し、保育の中での玩具の活かし方等を再発見する機会となった。その後各園で研修を行い玩具についての知識を深め、発達に応じた遊び方を学ぶ機会を持つことが出来た。※資料参照(2)
- ④発達MAPの策定・研修を基に1歳児の発達に即した玩具として「チェーンリング、トング」がよいのではないかという意見になった。

4. 資料

●各園で玩具業者による研修を行った様子



I T C 部会

1. 事業計画

- ①ブルーオーシャンシステムの実用化と周知
- ②職員のITスキルの向上
- ③環境整備（業務負担軽減）

2. 実施内容

- ①各園の副主任を担当にし実用にあたり問題点を上げ年間8回の研修を行い、内容・解決策を周知した。
- ②研修を通し各園担当者が自園にフィードバックを行いスキル向上を図っている。
- ③10月より全園本格導入した。（ペーパーレスも含め）
 ※「共通確認事項」「簡易マニュアル」を作成（管理者用, 職員用）。
 ※勤怠システム勤次郎資料を作成。
- ④各園の進捗状況アンケートを行った。

3. 評価

- ①副主任を推進者として年間8回の研修を行い内容周知や解決をしてきた為、作業手順などの不明点は解消してきており、日常の書類においては浸透している。しかし、システムの精査や修正は今後も必要。
- ②研修での内容把握は出来るが自園にフィードバックの時間の確保や研修で聞いたように話せないなどの理由により上手く出来ないという園が多かった。
- ③10月より本格始動した。「共通確認事項」は研修毎に加筆し、「管理職用簡易マニュアル」とE v a l u eにも載せ職員がいつでも閲覧できるように設定した。
 また、勤怠システム勤次郎のマニュアルは作成出来なかったが、資料を作成し「共通認識事項」と同様に閲覧できるようにした。

4. 資料

ブルーオーシャン共通認識事項/管理職簡易マニュアル/進捗状況アンケート

The slide displays three main components:

- Blue Ocean Common Recognition Items:** A document with a blue header and a logo.
- Blue Ocean Management Staff Simple Manual:** A document with a blue header and a logo.
- Blue Ocean Progress Status Survey (2019):** A survey form with a table of questions and a legend.

| 質問 | 回答 | 割合 |
|--|----------|----------|
| Q1. 登録簿の取、保護簿の用紙はパネルをタッチしていますか？（画面の扉裏に入っていますか） | はい / いいえ | はい: 100% |
| Q2. カリキュラム作成（手帳・用紙・通知）していますか？ | はい / いいえ | はい: 100% |
| Q3. 日誌（各クラス・証簿、記録）半端子チェック表は作成済みですか？ | はい / いいえ | はい: 100% |
| Q4. 事故報告書・セリハットの作成はしていますか？ | はい / いいえ | はい: 100% |

勤怠システム勤次郎 資料①

This is the first page of the manual for the 'Kinsairo' system. It includes a title, a table of contents, and introductory text explaining the system's purpose and how to use it. The text is in Japanese and provides detailed instructions for users.

勤怠システム勤次郎 資料②

This is the second page of the manual for the 'Kinsairo' system. It contains sections titled '各園次郎の質問/確認' (Questions/Confirmations for each garden) and '研修について' (About the training). It provides answers to common questions and details about the training process.

広報・イメージアップ部会

1. 事業計画

社会福祉法人えどがわを魅力ある法人にする。
 ①職員に対するコーポレートブランディング
 ②ホームページの更なる充実
 ③外向け掲示板のメンテナンスの徹底

2. 実施内容

①法人章やスローガンが身近に感じられるようパソコン、タブレット端末の壁紙を統一する。
 ②子どもたちの様子を外部に伝えるため、毎月2園の動画をホームページから配信を開始。
 ホームページのブログについて、各園の現状把握のため、アンケートを実施。アンケート結果をもとに部会で話し合い、更新回数、内容等をまとめたホームページブログ更新マニュアルを作成した。
 ③昨年度より掲示内容を統一したが、定着していないため、各園の現状を把握中。

3. 評価

①各園のパソコン・タブレット端末の壁紙を統一は、法人章やスローガン等が職員にとって少しでも身近なものになるよう続けていく。
 ②動画の配信は定着し、各園の様子や雰囲気を知るツールとなりつつある。
 ホームページの更新については、標準化という視点から見るとまだバラつきがあるが、更新マニュアルの更なる浸透を目指し、各園に対し新年度に新規採用職員や必要な職員に向けての説明や指導を促している。
 ③各園の掲示内容を把握し、情報発信ツールとしての継続活用に向け、改めて確認文書を作成。今後も掲示内容の統一を図っていく。

4. 資料

○パソコン・タブレット端末 壁紙の統一



○掲示板内容統一の確認文書

外部向け掲示板について

外部向け掲示板の活用について、浸透してきているが、掲載内容について若干の差異があるため、再確認です。

■地域に各園の様子を周知するため、行事や日常保育写真の掲示をしていますか？
 →月に1回程度更新（A3程度の大きさ）します。
 保護者向けに行事の後に掲示している掲示物やブログに掲載した写真等で可能です。

■タイトルマグネットごとに掲示をしていますか？

| | |
|----------|-----------------|
| 1 保育園の様子 | 行事や日常保育写真の掲示 |
| 2 今月の予定 | 園だより等（抜粋可） |
| 3 子育てひろば | 子育てひろば日程等 |
| 4 お知らせ | 地域に向けた法人からのお知らせ |
| 5 地域情報 | 外部より掲示依頼があったもの等 |

※上記1, 2, 3, 4の掲示については、必須です。

× 掲示してはいけないもの ×

- ・ 地域のクラブチームの勧誘ポスターやお店のチラシなど
- ・ 自治体が発行していないもの

■ 掲示の管理は副園長・主任が行います。